

工事番号		第 号										(様式 - 1)
課 長		係 長		担 当 者		設 計 者	委 託	検 算 者		係 員		
令和 7 ・ 8 年度 上原水源地非常用発電機室建設工事												金抜設計書
安曇野市穂高 上原水源地												
設 計 大 要								施 工 方 法		請 負		
・ 発電機室築造工 一式 ・ 建築電気設備工事 一式 ・ 仮設工事 一式 ・ 場内付帯工事 一式								施 工 期 間		日 間		
								起 工 年 月 日				
								竣 工 年 月 日		令和8年4月30日		
								契 約 保 証 方 法		金銭的保証		
								この設計書で施工機械・仮設材の規格・数量、調査条件等の記載及び 「人、h、l、%、日、時」の単位により見積りのための参考数量を示した ものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものでは ありません。 ただし、指定した場合を除きます。				

起 工 理 由

災害等により大規模な停電が発生した際、水道水の供給に大きな支障が生じないよう自家発電設備の設置を行いたい。

請	負	対	象	額	円				
		工	事	価	格	円			
		消	費	税	等	相	当	額	円

(建築経費)

工 事 費 総 括 表

施設別	工 種 別	規 模 及 び 形 状 寸 法			備 考
			金 額	金 額	
	直接工事費				
	建築主体工事				
	建築電気設備工事				
	計				
	共通費				
	共通仮設費	積み上げ仮設			
		率仮設			
	現場管理費				
	一般管理費				
	計				
	合計(工事価格)				
	消費税相当額				
	総合計(工事費)				

共通仮設費(積上げ仮設)

設計書

1. 工事計画概要

揚重機械費

交通誘導警備員

共通仮設費(積上げ仮設)

設計書

[illegible]

第 1 号 積上げ仮設

第 1 号 積上げ仮設

[illegible]

建築工事

設計書

1. 工事計画概要

発電機室棟 建築物 RC造地上1階建

建築面積 61.56m²

延床面積 61.56m²

最高高さ 5.73m

1. 自家発棟
第 1 号 直接仮設工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 2 号 土工事

[illegible]

令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事

1. 自家発棟

第 3 号 コンクリート工事

内 訳 書

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位							摘 要	代価 番号
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額		
	捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スランプ [°] 15	m3	2.5							
	土間コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ [°] 15	m3	0.6							
	基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ [°] 15	m3	38.7							
	機械基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ [°] 15	m3	4.1							
	上部コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ [°] 18	m3	57.2							
	構造体強度(温度)補正	6N/mm2	m3	101							
	コンクリート打設手間	捨てコン 手作業	m3	2.5							
	コンクリート打設手間	ベースコン ポンプ [°] 打設	m3	9.2							
	コンクリート打設手間	耐圧版コン 手作業	m3	0.2							
	コンクリート打設手間	土間スラブ・構造土間スラブコン ポンプ [°] 打設	m3	13.1							
	コンクリート打設手間	その他基礎部コン ポンプ [°] 打設	m3	16.9							
	コンクリート打設手間	機械基礎コン 手作業	m3	4.1							
	コンクリート打設手間	1階コン ポンプ [°] 打設	m3	57.2							

1. 自家発棟
第 3 号 コンクリート工事

[illegible]

令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事

1. 自家発電棟

第 4 号 型枠工事

内 訳 書

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位							摘 要	代価 番号
				数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額		
	普通型枠	基礎部	m2	133							
	普通型枠	上部	m2	5.4							
	打放し型枠	B種 上部	m2	310							
	打放し型枠	C種 上部	m2	111							
	型枠運搬費		m2	559							
	ボ'ト'型枠	マンホール 600Φ L=200	か所	1							
	開口箱抜き	壁 Φ75 t180 紙スリーブ	か所	1							
	開口箱抜き	壁 Φ350 t180 紙スリーブ	か所	1							
	開口箱抜き	壁 W300xH250 t180	か所	2							
	開口箱抜き	壁 W310xH310 t180	か所	2							
	打継目地棒		m	29.6							

1. 自家発棟
第 4 号 型枠工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 5 号 鉄筋工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 6 号 防水工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 7 号 屋根工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 8 号 金属工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 9 号 左官工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 10 号 金属製建具工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 11 号 塗装・吹付工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 12 号 内外装工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 13 号 外構工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 14 号 配管切り回し工事

[illegible]

1. 自家発棟
第 14 号 配管切り回し工事

[illegible]

建築電気設備工事

設計書

1. 工事計画概要

電灯分岐

コンセンスト分岐

令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事

1. 自家発棟

設計書

[illegible]

1. 自家発棟
第1-1号 電灯設備 電灯分岐

1. 自家発棟
第1-1号 電灯設備 電灯分岐

1. 自家発棟
第1-1号 電灯設備 電灯分岐

1. 自家発棟
第1-2号 電灯設備 コンセント分岐

1. 自家発棟
第1-2号 電灯設備 コンセント分岐

1. 自家発棟
第1-2号 電灯設備 コンセント分岐

令和 7 年 度

代 価 表

(週休2日・月単位)

安 曇 野 市

水道事業実務必携	令和 7 年度	月刊 刊行物	2025 年 5 月
土木工事標準積算基準書	令和 6 年度	季刊 刊行物	2025 年 春
建設機械等損料表	令和 6 年度	長野県単価	2025 年 5 月

一 位 代 価 総 括 表

番号	名 称	形 状 寸 法	単位				
				金 額	摘 要	金 額	摘 要
1	鉄筋工(一般構造物)	SD345 D13	t		10t未満		
2	機械掘削積込工(補助労力あり)	BH0.28m3	m3		管路土工		
3	機械埋戻工	BH0.28m3 タンパ 発生土	m3		管路土工		
4	機械埋戻工	BH0.8m3 タンパ 砂	m3		管路土工		
5	土砂運搬工	10t-10.6～14.0km以下 山積0.80m3	m3		DID区間なし 管路土工		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

1	鉄筋工（一般構造物）	SD345	D13	1	t	当り単価表	10t未満
名 称		形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工		一般構造物	1.150	t			土木コスト情報P8, 土木施工単価P9(週休2日・月単位)
異形棒鋼		SD345 D13mm	1.030	t			建物P16 長野, 積資P20 長野
計		1 t 当り					

2

機械掘削積込工(補助労力あり)

BH0.28m3

1

m3

当り単価表

管路土工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		1.900	人			県単価(週休2日・月単位)
普通作業員		5.000	人			県単価(週休2日・月単位)
バックホウ運転費(掘削・埋戻工)	山積 0.28m3 排ガス2次	11.100	時			第1号二位代価表
諸雑費		1.000	式			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

3 機械埋戻工 BH0.28m3 タンパ 発生土 1 m3 当り単価表 管路土工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		2.500	人			県単価（週休2日・月単位）
普通作業員		6.800	人			県単価（週休2日・月単位）
バックホウ運転費(掘削・埋戻工)	山積 0.28m3 排ガス2次	7.600	時			第1号二位代価表
タンパー運転工(埋戻工)	60～80kg	3.000	日			第2号二位代価表
諸雑費		1.000	式			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

4

機械埋戻工

BH0.8m3 タンパ 砂

1 m3

当り単価表

管路土工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		2.500	人			県単価（週休2日・月単位）
普通作業員		6.800	人			県単価（週休2日・月単位）
バックホウ運転費(掘削・埋戻工)	山積 0.80m3 排ガス2次	4.500	時			第3号二位代価表
タンパー運転工(埋戻工)	60～80kg	3.000	日			第2号二位代価表
洗滌砂		126.000	m3			地区単価
諸雑費		1.000	式			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

5 土砂運搬工 10t-10.6～14.0km以下 山積0.80m3 1 m3 当り単価表 DID区間なし 管路土工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転工	オンロード・ディーゼル 10t車	3.800	日			第4号二位代価表
諸雑費		1.000	式			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

二 位 代 価 総 括 表

p.8

番号	名 称	形 状 寸 法	単位				
				金 額	摘 要	金 額	摘 要
1	バックホウ運転費	BH0.28m3 排対第2次	時		管路土工 掘削積込工 埋戻工		
2	タンパー運転工	60～80kg	日		管路土工 埋戻工		
3	バックホウ運転費	BH0.8m3 排対第2次	時		管路土工 掘削積込工 埋戻工		
4	ダンプトラック運転工	10t車 オンロード・ディーゼル	日		管路土工		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

1 バックホウ運転費

BH0.28m3

排对第2次

1

当り単価表

管路土工 掘削積込工 埋戻工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手		0.160	人			県単価（週休2日・月単位）
軽油		5.900	リットル			県単価
バックホウ機械損料	クローラ型 山積0.28(0.2)m3 排ガス2次型	1.000	時			機損 P.02-10
諸雑費		1.000	式			
計	1 当り					

2

タンパー運転工

60～80kg

1

日

当り単価表

管路土工 埋戻工

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		1.000	人			県単価（週休2日・月単位）
ガソリン	スタント レギュラー	5.000	ℓ			県単価
タンパ(ランマ)賃料	60～80kg	1.380	供用日			建物P805 関東, 積資P282 関東(賃貸期間1ヶ月以上 35%割引)
諸雑費		1.000	式			
計	1 日 当 り					

3	バックホウ運転費	BH0.8m3	排対第2次	1	時	当り単価表	管路土工 掘削積込工 埋戻工
名	称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊運転手			0.160	人			県単価（週休2日・月単位）
軽油			15.000	ℓ			県単価
バックホウ機械損料	クローラ型 山積0.8(0.6)m3 排ガス2次型		1.000	時			機損 P.02-12
諸雑費			1.000	式			
計		1 時 当り					

[illegible]

記号	名称	摘要	数量	単位	備考
4	コンクリート工事				
	捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スランプ 15	247	m3	
	土間コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ 15	064	m3	
	基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ 15	3871	m3	
	機械基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ 15	410	m3	
	上部コンクリート	FC-24N/mm2 スランプ 18	5719	m3	52.31+4.88
	構造体強度(温度)補正	6N/mm2	10064	m3	
	コンクリート打設手間	捨てコン 手作業	247	m3	
	コンクリート打設手間	ベースコン ポンプ打設	921	m3	
	コンクリート打設手間	耐圧版コン 手作業	021	m3	
	コンクリート打設手間	土間スラブ・構造土間スラブコン ポンプ打設	1306	m3	0.64+12.42
	コンクリート打設手間	その他基礎部コン ポンプ打設	1687	m3	38.71-9.21-0.21-12.42
	コンクリート打設手間	機械基礎コン 手作業	410	m3	
	コンクリート打設手間	1階コン ポンプ打設	5719	m3	
	コンクリートポンプ圧送費	ベースコン 30m3未満 基本料金共	100	回	
	コンクリートポンプ圧送費	土間スラブ・構造土間スラブコン 30m3未満 基本料金共	100	回	
	コンクリートポンプ圧送費	その他基礎部コン 30m3未満 基本料金共	100	回	
	コンクリートポンプ圧送費	1階コン 50m3以上100m3未満	5719	m3	
	コンクリートポンプ基本料	1階コン 50m3以上100m3未満	100	回	
	4 - 計				

記号	名称	摘要	数量	単位	備考
5	型枠工事				
	普通型枠	基礎部	133.42	m ²	
	普通型枠	上部	5.37	m ²	425.58-309.67-110.54
	打放し型枠	B種 上部	309.67	m ²	157.92+151.75
	打放し型枠	C種 上部	110.54	m ²	33.93+76.61
	型枠運搬費		559.00	m ²	
	ホト型枠	マンホール 600Φ L=200	1	か所	
	開口箱抜き	壁 Φ75 t180 紙スリーブ	1	か所	
	開口箱抜き	壁 Φ350 t180 紙スリーブ	1	か所	
	開口箱抜き	壁 W300xH250 t180	2	か所	
	開口箱抜き	壁 W310xH310 t180	2	か所	
	打継目地棒		29.58	m	
	化粧目地棒	軒先	41.68	m	
	化粧目地棒	壁	99.81	m	
	5 - 計				

記号	名称	摘要	数量	単位	備考
6	鉄筋工事				
	異形鉄筋	SD295 D10	213	t	※4%込み
	異形鉄筋	SD295 D13	737	t	※4%込み
	異形鉄筋	SD295 D16	041	t	※4%込み
	異形鉄筋	SD345 D19	270	t	※4%込み
	スクラップ [△] 控除	(12.61-12.13) x 70%	▲034	t	
	鉄筋加工組立費		1213	t	
	鉄筋運搬費		1213	t	
	カス圧接	SD345 D19-D19	135-	か所	
	屋根床版出隅部 溶接金網	φ 6-100×100 材工共	900	m ²	
	6 - 計				

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	1

【 躯体材料別集計表 】 - No. 1

場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	備 考	算出数量×係数
根切り	機械 壺布併用掘	112.33	m3		
床付		47.71	m ²		
埋戻し	根切土流用	62.94	m3		
不用土処分	構外搬出適切処理	49.39	m3		
砕石地業	基礎下	3.13	m3		
砕石地業	土間下	5.35	m3		
平板載荷試験		1.00	か所		
捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スラフ 15	2.47	m3		
基礎部 土間コンクリート	FC-24N/mm2 スラフ 15	0.64	m3		
基礎部 機械基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スラフ 15	4.10	m3		
基礎部 基礎コンクリート	FC-24N/mm2 スラフ 15	38.71	m3		
上部 上部コンクリート	FC-24N/mm2 スラフ 18	52.31	m3		
基礎部 普通型枠		133.42	m ²		
上部 普通型枠		425.58	m ²		
開口箱抜き	壁 φ75 t180 紙スリーブ	1.00	か所		
開口箱抜き	壁 φ350 t180 紙スリーブ	1.00	か所		
開口箱抜き	壁 W300xH250 t180	2.00	か所		
開口箱抜き	壁 W310xH310 t180	2.00	か所		
ホイト型枠	マンホ-ル 600φ L=200	1.00	か所		
異形鉄筋	SD295 D10	2.133	t		2.051 x1.04
異形鉄筋	SD295 D13	7.368	t		7.085 x1.04
異形鉄筋	SD295 D16	0.412	t		0.396 x1.04
異形鉄筋	SD345 D19	2.701	t		2.597 x1.04
ガス圧接	SD345 D19-D19	135.00	か所		
屋根床版出隅部 溶接金網	φ6-100×100 材工共	9.00	m ²		

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 9

躯体部位別・階別集計表ー基礎小梁										No. 1	*基礎部 B:鉄筋 W:溶接 P:圧接 M:機械式継手 A:定着金物																
階	コンクリート(C)		型 枠(F)		SD	異形鉄筋										10	13	16	19	22	25	29	32	35	38	F/C	B/C
合計	4:FC-24, S=15 1.81		1:普通型枠		10.36	SD	B	0.292	0.002	0.113	0.029	0.148											5.72	0.161			
* BF	4:FC-24, S=15 1.81		1:普通型枠		10.36	SD	B	0.292	0.002	0.113	0.029	0.148										5.72	0.161				

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	17

【 躯体内訳計算書（算出根拠） - 土工事】 - No. 1

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
70		根切り	機械 壺布併用掘	0.60	m3	根切関連 - 根切（壺布掘）
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式	コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ
落し込み 土間			5.02x0.40x0.30x1 = 0.60			計 算 式

No.	コメント	場所 部位 細 目	摘 要		数 量	単位	項 目 区 分		
90200		根切り	機械 壺布併用掘		111.73	m3	根切関連 - 根切（壺布掘）		
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式		コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ		
F1:ID=141305253等		矩形	1.36x5.53x2.00x2	= 30.08	FB1:ID=141361726		矩形	1.11x3.53x1.35x1	= 5.29
F1:ID=141305255等-1		凸凹	1.36x12.63x2.00x2	= 68.71	FS1:ID=142020706		矩形	0.35x3.53x2.22x1	= 2.74
-2			1.36x2.00x1.00x-4	= -10.88	FS1:ID=142020707		矩形	0.35x3.53x1.58x1	= 1.95
F1:ID=141305271		矩形	1.36x3.53x2.00x1	= 9.60	FS1:ID=142020708		矩形	0.35x3.53x1.49x1	= 1.84
ハンドホール(底盤):ID=141361730		矩形	1.26x2.30x0.80x1	= 2.32	土間コンクリート:ID=141478034		矩形	0.11x3.80x0.19x1	= 0.08

No.	コ メ ン ト	場 所 ・ 部 位 細 目		摘 要	数 量	単 位	項 目 区 分	
93202		床付			47.71	m ²	根切関連 - 床付	
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式		コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式
布基礎		AUTO	44.00x1.00x1	= 44.00	基礎小梁		AUTO	2.49x1.00x1
底盤		AUTO	1.22x1.00x1	= 1.22				= 2.49

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
93200		埋戻し	根切土流用	62.94	m3	根切関連 - 埋戻（根切土）
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式	コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ
根切数量 累計		AUTO	1.00x1.00x112.33x1 = 112.33	地中容積		1.00x1.00x49.39x-1 = -49.39

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
93201		不用土処分	構外搬出適切処理	49.39	m3	根切関連 - 不用土（場外）
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式	コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ
根切数量 残り		AUTO	1.00x1.00x49.39x1 = 49.39			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
60		地中容積		0.41	m3	根切関連 - 地中容積
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式	コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ
落し込み 土間 ｺ			5.02x0.20x0.15x1 = 0.15	落し込み 土間 地		5.02x0.35x0.15x1 = 0.26

		場所・部位									
No.	コメント	細 目		摘 要		数 量		単位	項 目 区 分		
93199		地中容積				48.98		m3	根切関連 - 地中容積		
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ		計 算 式		コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ		計 算 式	
F1:ID=141305253等-1		(CONC)	4.5300 (m2) x0.25x2	=	2.27				(地業)	1.2200 (m2) x0.11x1	= 0.13
-2		(地業)	5.2000 (m2) x0.11x2	=	1.14				(空m3)	1.0300 (m2) x0.95x1	= 0.98
F1:ID=141305255等-1		(CONC)	11.6300 (m2) x0.25x2	=	5.82	FB1:ID=141361726-1			(CONC)	1.8100 (m2) x1.00x1	= 1.81
-2		(地業)	14.2000 (m2) x0.11x2	=	3.12	-2			(地業)	2.4900 (m2) x0.11x1	= 0.27
F1:ID=141305271-1		(CONC)	4.5300 (m2) x0.25x1	=	1.13	C1:ID=141305257等			(CONC)	0.3600 (m2) x1.00x3	= 1.08
-2		(地業)	5.2000 (m2) x0.11x1	=	0.57	C1A:ID=141305260			(CONC)	0.3600 (m2) x1.00x1	= 0.36
FG1:ID=141305266等-1		(CONC)	1.2200 (m2) x1.25x2	=	3.05	C2:ID=141305262等			(CONC)	0.3600 (m2) x1.00x2	= 0.72
-2		(CONC)	0.3100 (m3) x-2	=	-0.62	ハンドホールの(壁):ID=141361731等			(CONC)	0.0700 (m2) x0.95x2	= 0.13
FG1:ID=141305267-1		(CONC)	1.9900 (m2) x1.25x1	=	2.49	FS1:ID=142020706-1			(CONC)	20.0200 (m2) x0.25x1	= 5.01
-2		(CONC)	0.5000 (m3) x-1	=	-0.50	-2			(地業)	20.0500 (m2) x0.10x1	= 2.01
FG2:ID=141305269-1		(CONC)	1.9900 (m2) x1.25x1	=	2.49	FS1:ID=142020707-1			(CONC)	15.0200 (m2) x0.25x1	= 3.76
-2		(CONC)	0.5000 (m3) x-1	=	-0.50	-2			(地業)	15.0200 (m2) x0.10x1	= 1.50
FG11:ID=141305264等-1		(CONC)	1.6400 (m2) x1.25x2	=	4.10	FS1:ID=142020708-1			(CONC)	14.5800 (m2) x0.25x1	= 3.65
-2		(CONC)	0.4100 (m3) x-2	=	-0.82	-2			(地業)	14.6100 (m2) x0.10x1	= 1.46
FG12:ID=141305270-1		(CONC)	1.6400 (m2) x1.25x1	=	2.05	FG2 土間下増打部:ID=141691			(CONC)	0.7200 (m2) x0.15x1	= 0.11
-2		(CONC)	0.4100 (m3) x-1	=	-0.41	土間コンクリート:ID=141478034-1			(CONC)	3.2800 (m2) x0.01x1	= 0.03
ハンドホールの(底盤):ID=141361730		(CONC)	1.0400 (m2) x0.20x1	=	0.21	-2			(地業)	3.8400 (m2) x0.10x1	= 0.38

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
10		平板載荷試験		1.00	か所	その他
コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ	計 算 式	コ メ ン ト		メ ッ セ ー ジ
			1 = 1.00			計 算 式

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	18

【 躯体内訳計算書（算出根拠） - 土工事】 - No. 2

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
20		ボイド型枠	マンホールの 600φ L=200	1.00	か所	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		1	= 1.00			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
30		屋根床版出隅部 溶接金網	φ6-100×100 材工共	9.00	m ²	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		1.50x1.50x4	= 9.00			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
40		捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スラフ' 15	0.09	m3	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
落し込み 土間		5.02x0.35x0.05x1	= 0.09			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
50		砕石地業	基礎下	0.27	m3	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
落し込み 土間		5.02x0.53x0.10x1	= 0.27			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
80		開口箱抜き	壁 φ75 t180 紙スリーブ	1.00	か所	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		1	= 1.00			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
90		開口箱抜き	壁 φ350 t180 紙スリーブ	1.00	か所	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		1	= 1.00			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
100		開口箱抜き	壁 W300xH250 t180	2.00	か所	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		2	= 2.00			計 算 式

No.	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
110		開口箱抜き	壁 W310xH310 t180	2.00	か所	その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
		2	= 2.00			計 算 式

布基礎	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
1層		捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スラフ' 15	2.20	m3	(44.00m2 x 0.05) その他
2層		砕石地業	基礎下	2.64	m3	(44.00m2 x 0.06) その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
F1:ID=141305256		1.20x11.83x1	= 14.20	F1:ID=141305254		1.20x4.33x1 = 5.20
F1:ID=141305253		1.20x4.33x1	= 5.20	F1:ID=141305255		1.20x11.83x1 = 14.20
F1:ID=141305271		1.20x4.33x1	= 5.20			

底盤	コメント	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
1層		捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スラフ' 15	0.06	m3	(1.22m2 x 0.05) その他
2層		砕石地業	基礎下	0.07	m3	(1.22m2 x 0.06) その他
コ メ ン ト		メッセージ	計 算 式		コ メ ン ト	メッセージ
ハンドホール(底盤):ID=141361730		0.90x1.50x1	= 1.35	ハンドホール(底盤):ID=141361730		1.30x0.10x-1 = -0.13

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	19

【 躯体内訳計算書（算出根拠） - 土工事】 - No. 3

基礎 小梁	コ メ ン ト	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
1層		捨てコンクリート	FC-18N/mm2 スランプ' 15	0.12	m3	(2.49m2 x 0.05) その他
2層		砕石地業	基礎下	0.15	m3	(2.49m2 x 0.06) その他
コ メ ン ト		メッセー	計 算 式		コ メ ン ト	メッセー
FB1：ID=141361726			4.53x0.55x1 = 2.49			計 算 式

土間	コ メ ン ト	場所・部位 細 目	摘 要	数 量	単位	項 目 区 分
1層		砕石地業	土間下	5.35	m3	(53.52m2 x 0.10) その他
コ メ ン ト		メッセー	計 算 式		コ メ ン ト	メッセー
FS1：ID=142020706			3.87x5.18x1 = 20.05		FS1：ID=142020708	2.82x5.18x1 = 14.61
FS1：ID=142020707			2.90x5.18x1 = 15.02		土間コンクリート：ID=141478034	1.01x3.80x1 = 3.84

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	20

【 躯体内部計算書（算出根拠） - 布基礎 】 - No. 1 *基礎部

階 名 *	コメント	配置位置							
BF			(Y1+85:X1-415~X3+415), (Y2-85:X1-415~X3+415)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
F1	2	$2.91 \times 2 = 5.82$	$6.32 \times 2 = 12.64$	SD13	$(117.54 \times 0.995/1000) \times 2 = 0.234$				
C 5.82		1.000x0.250x11.63x1 = 2.91	0.250x11.63x1 = 2.91	ベース筋 X	45	1.00			1.00
F 12.64 F/C 2.17			0.250x11.63x1 = 2.91	ベース筋 長手	6	12.09			11.63 0.46
B 0.234 B/C 0.040			1.000x0.250x1 = 0.25						
			1.000x0.250x1 = 0.25						

階 名 *	コメント	配置位置							
BF			(X1+85:Y1+85~Y2-85), (X2:Y1+85~Y2-85)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
F1	2	$1.13 \times 2 = 2.26$	$2.26 \times 2 = 4.52$	SD13	$(65.94 \times 0.995/1000) \times 2 = 0.132$				
C 2.26		1.000x0.250x4.53x1 = 1.13	0.250x4.53x1 = 1.13	ベース筋 X	24	1.00			1.00
F 4.52 F/C 2.00			0.250x4.53x1 = 1.13	ベース筋 長手	6	6.99			6.53 0.46
B 0.132 B/C 0.058									

階 名 *	コメント	配置位置							
BF			(X3-85:Y1+85~Y2-85)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
F1	1	$1.13 \times 1 = 1.13$	$2.26 \times 1 = 2.26$	SD13	$(65.94 \times 0.995/1000) \times 1 = 0.066$				
C 1.13		1.000x0.250x4.53x1 = 1.13	0.250x4.53x1 = 1.13	ベース筋 X	24	1.00			1.00
F 2.26 F/C 2.00			0.250x4.53x1 = 1.13	ベース筋 長手	6	6.99			6.53 0.46
B 0.066 B/C 0.058									

階 名	倍数								
BF	1	配置からの送り数量							
型枠(1:普通型枠)		)							
ハンドホーシ(1:30x0.20x-1		=	-0.26						

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	21

躯体内部計算書（算出根拠）－ 底盤 】－ No. 1													*基礎部			
階 名 *		コメント		配置位置												
BF				(X3+812・Y1+1860)												
リストNo.		倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)		型枠(1:普通型枠)		鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
ハンドホール(底盤)		1	0.21x1 = 0.21		0.58x1 = 0.58		SD10		(13.60x0.560/1000)x1=0.008							
C 0.21			0.80x1.30x0.200x1 = 0.21		1.30x0.200x1 = 0.26		主力筋 上端 通し筋		4	1.15			0.80		0.35	
F 0.58 F/C 2.76					0.80x0.200x2 = 0.32		主力筋 下端 通し筋		4	0.95			0.80		0.15	
B 0.025 B/C 0.119							配力筋 上端 通し筋		2	1.30			1.30			
							配力筋 下端 通し筋		2	1.30			1.30			
							SD13		(16.64x0.995/1000)x1=0.017							
							主力筋 上端 通し筋		4	1.26			0.80		0.46	
							主力筋 下端 通し筋		4	0.95			0.80		0.15	
							配力筋 上端 通し筋		3	1.30			1.30			
							配力筋 下端 通し筋		3	1.30			1.30			

物件名称	積算No.	階数	建築面積	延床面積	印刷日
令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 22

【 躯体内設計算書（算出根拠）－基礎梁】－ No. 1

*:基礎部 圧接欄太字:機械式継手 端部A:定着金物

階名*	コメント	配置位置	(Y1+85:X1+210～X2) , (Y2-85:X1+210～X2)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
FG1	2	$1.22x1 = 2.44$	$6.98x2 = 13.96$	SD10		$(1.75x0.560/1000)x2=0.002$			
C 2.44		0.350x0.900x3.49x1 = 1.10	1.80x3.49x1 = 6.28	幅止筋	5	0.35			0.35
F 13.96 F/C 5.72		0.350x0.250x3.49x-1 = -0.31	3.49x0.25x-2 = -1.75	SD13		$(110.84x0.995/1000)x2=0.220$			
B 0.426 B/C 0.175		0.250x0.350x3.49x1 = 0.31	0.25x3.49x2 = 1.75	スターラップ筋	19	2.50			2.50
		0.100x0.350x3.49x1 = 0.12	0.10x3.49x2 = 0.70	腹筋	2	3.55			3.49+ 0.03+ 0.03
				打増部 補助スターラップ	19	1.63			0.85+ 0.39+ 0.39
				打増部 補助スターラップ	19	1.33			0.55+ 0.39+ 0.39
				SD16		$(26.70x1.560/1000)x2=0.084$			
				打増部 コーナ補強	4	4.45			3.49+ 0.48+ 0.48
				打増部 幅方向補強	2	4.45			3.49+ 0.48+ 0.48
				SD19		$(26.76x2.250/1000)x2=0.120$			
				主筋 上1 通し筋	3	4.46 19 0.5			3.79+ 0.67
				主筋 下1 通し筋	3	4.46 19 0.5			3.79+ 0.67

階名*	コメント	配置位置	(Y2-85:X2～X3-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
FG1	1	$1.99x1 = 1.99$	$11.38x1 = 11.38$	SD10		$(2.45x0.560/1000)x1=0.001$			
C 1.99		0.350x0.900x5.69x1 = 1.79	1.80x5.69x1 = 10.24	幅止筋	7	0.35			0.35
F 11.38 F/C 5.72		0.350x0.250x5.69x-1 = -0.50	5.69x0.25x-2 = -2.85	SD13		$(175.30x0.995/1000)x1=0.174$			
B 0.327 B/C 0.164		0.250x0.350x5.69x1 = 0.50	0.25x5.69x2 = 2.85	スターラップ筋	30	2.50			2.50
		0.100x0.350x5.69x1 = 0.20	0.10x5.69x2 = 1.14	腹筋	2	5.75			5.69+ 0.03+ 0.03
				打増部 補助スターラップ	30	1.63			0.85+ 0.39+ 0.39
				打増部 補助スターラップ	30	1.33			0.55+ 0.39+ 0.39
				SD16		$(39.90x1.560/1000)x1=0.062$			
				打増部 コーナ補強	4	6.65			5.69+ 0.48+ 0.48
				打増部 幅方向補強	2	6.65			5.69+ 0.48+ 0.48
				SD19		$(39.96x2.250/1000)x1=0.090$			
				主筋 上1 通し筋	3	6.66 19 1.0			5.99 0.67
				主筋 下1 通し筋	3	6.66 19 1.0			5.99 0.67

階名*	コメント	配置位置	(Y1+85:X2～X3-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
FG2	1	$1.99x1 = 1.99$	$11.38x1 = 11.38$	SD10		$(2.45x0.560/1000)x1=0.001$			
C 1.99		0.350x0.900x5.69x1 = 1.79	1.80x5.69x1 = 10.24	幅止筋	7	0.35			0.35
F 11.38 F/C 5.72		0.350x0.250x5.69x-1 = -0.50	5.69x0.25x-2 = -2.85	SD13		$(175.30x0.995/1000)x1=0.174$			
B 0.367 B/C 0.184		0.250x0.350x5.69x1 = 0.50	0.25x5.69x2 = 2.85	スターラップ筋	30	2.50			2.50
		0.100x0.350x5.69x1 = 0.20	0.10x5.69x2 = 1.14	腹筋	2	5.75			5.69+ 0.03+ 0.03
				打増部 補助スターラップ	30	1.63			0.85+ 0.39+ 0.39
				打増部 補助スターラップ	30	1.33			0.55+ 0.39+ 0.39
				SD16		$(39.90x1.560/1000)x1=0.062$			
				打増部 コーナ補強	4	6.65			5.69+ 0.48+ 0.48
				打増部 幅方向補強	2	6.65			5.69+ 0.48+ 0.48
				SD19		$(57.56x2.250/1000)x1=0.130$			
				主筋 上1 通し筋	3	6.66 19 1.0			5.99 0.67
				主筋 上2 端中部トッパ	2	5.23			4.27+ 0.29+ 0.67
				主筋 下1 通し筋	3	6.66 19 1.0			5.99 0.67
				主筋 下2 端部トッパ	3	2.38			1.42+ 0.67+ 0.29

階名*	コメント	配置位置	(X1+85:Y1+210～Y2-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
FG11	1	$1.63x1 = 1.63$	$9.35x1 = 9.35$	SD10		$(2.10x0.560/1000)x1=0.001$			
C 1.63		0.350x0.900x4.68x1 = 1.47	1.80x4.68x1 = 8.42	幅止筋	6	0.35			0.35
F 9.35 F/C 5.74		0.350x0.250x4.53x-1 = -0.40	4.53x0.25x-2 = -2.27	SD13		$(145.98x0.995/1000)x1=0.145$			
B 0.280 B/C 0.172		0.350x0.250x0.08x-2 = -0.01	0.08x0.25x-4 = -0.08	スターラップ筋	25	2.50			2.50
		0.250x0.350x4.68x1 = 0.41	0.25x4.68x2 = 2.34	腹筋	2	4.74			4.68+ 0.03+ 0.03
		0.100x0.350x4.68x1 = 0.16	0.10x4.68x2 = 0.94	打増部 補助スターラップ	25	1.63			0.85+ 0.39+ 0.39
				打増部 補助スターラップ	25	1.33			0.55+ 0.39+ 0.39
				SD16		$(33.84x1.560/1000)x1=0.053$			
				打増部 コーナ補強	4	5.64			4.68+ 0.48+ 0.48
				打増部 幅方向補強	2	5.64			4.68+ 0.48+ 0.48
				SD19		$(36.12x2.250/1000)x1=0.081$			
				主筋 上1 通し筋	3	6.02			4.68+ 0.67+ 0.67
				主筋 下1 通し筋	3	6.02			4.68+ 0.67+ 0.67

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 24

【 躯体内部計算書（算出根拠） - 基礎小梁 】 - No. 1 *: 基礎部 圧接欄太字: 機械式継手 端部A: 定着金物

階 名 *		コメント	配置 位置	(X2+3250:Y1+85~Y2-85)									
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)		型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
FB1	1		$1.81 \times 1 = 1.81$	$10.36 \times 1 = 10.36$	SD10		$(3.85 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.002$						
C 1.81		0.350x0.750x5.18x1	= 1.36	1.50x5.18x1	= 7.77	吊筋 下2	4	0.35			0.35		
F 10.36 F/C 5.72		0.250x0.350x5.18x1	= 0.45	0.25x5.18x2	= 2.59	幅止筋	7	0.35			0.35		
B 0.292 B/C 0.161					SD13		$(113.89 \times 0.995 / 1000) \times 1 = 0.113$						
					スターラップ筋	27	2.20				2.20		
					腹筋	2	5.24				5.18+ 0.03+ 0.03		
					打増部 補助スターラップ	27	1.63				0.85+ 0.39+ 0.39		
					SD16		$(18.42 \times 1.560 / 1000) \times 1 = 0.029$						
					打増部 コーナ補強	2	6.14				5.18+ 0.48+ 0.48		
					打増部 幅方向補強	1	6.14				5.18+ 0.48+ 0.48		
					SD19		$(65.96 \times 2.250 / 1000) \times 1 = 0.148$						
					主筋 上1 通し筋	4	5.94				5.18+ 0.38+ 0.38		
					主筋 下1 通し筋	4	6.52				5.18+ 0.67+ 0.67		
					主筋 下2 中央トッ	4	4.03				3.45+ 0.29+ 0.29		

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 25

【 躯体内訳計算書（算出根拠）－ 柱 】 － No. 1

*:基礎部 圧接欄太字:機械式継手 端部A:定着金物

階 名 *	コメント	配置 位置	(X1+210:Y1+210), (X1+210:Y2-210), (X3-210:Y2-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C1	3	0.600x0.600x1.00x1 = 0.36	2.40x1.00x1 = 2.40	<i>SD13</i>		<i>(24.00x0.995/1000)x3=0.072</i>			
C	1.08			コア部 フープ筋	10	2.40			2.40
F	7.20 F/C 6.67			<i>SD19</i>		<i>(16.80x2.250/1000)x3=0.114</i>			
B	0.186 B/C 0.172			主筋 基礎柱 通し筋	12	1.40			1.25+ 0.15

階 名 *	コメント	配置 位置	(X3-210:Y1+210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C1A	1	0.600x0.600x1.00x1 = 0.36	2.40x1.00x1 = 2.40	<i>SD13</i>		<i>(24.00x0.995/1000)x1=0.024</i>			
C	0.36			コア部 フープ筋	10	2.40			2.40
F	2.40 F/C 6.67			<i>SD19</i>		<i>(16.80x2.250/1000)x1=0.036</i>			
B	0.062 B/C 0.172			主筋 基礎柱 通し筋	12	1.40			1.25+ 0.15

階 名 *	コメント	配置 位置	(X2:Y1+210), (X2:Y2-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C2	2	0.600x0.600x1.00x1 = 0.36	2.40x1.00x1 = 2.40	<i>SD13</i>		<i>(24.00x0.995/1000)x2=0.048</i>			
C	0.72			コア部 フープ筋	10	2.40			2.40
F	4.80 F/C 6.67			<i>SD19</i>		<i>(16.80x2.250/1000)x2=0.072</i>			
B	0.124 B/C 0.172			主筋 基礎柱 通し筋	12	1.40			1.25+ 0.15

階 名	コメント	配置 位置	(X1+210:Y1+210), (X1+210:Y2-210), (X3-210:Y2-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C1	3	0.600x0.600x4.84x1 = 1.74	2.40x4.84x1 = 11.62	<i>SD13</i>		<i>(141.60x0.995/1000)x3=0.423</i>			
C	5.22			中央部 フープ筋	43	2.40			2.40
F	34.86 F/C 6.68			コア部 フープ筋	5	2.40			2.40
B	0.834 B/C 0.160			2重H00P <i>SD19</i>	11 12	2.40 5.07 19 1.0			2.40 4.19 0.88

階 名	コメント	配置 位置	(X3-210:Y1+210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C1A	1	0.600x0.600x4.84x1 = 1.74	2.40x4.84x1 = 11.62	<i>SD13</i>		<i>(141.60x0.995/1000)x1=0.141</i>			
C	1.74			中央部 フープ筋	43	2.40			2.40
F	11.62 F/C 6.68			コア部 フープ筋	5	2.40			2.40
B	0.278 B/C 0.160			2重H00P <i>SD19</i>	11 12	2.40 5.07 19 1.0			2.40 4.19 0.88

階 名	コメント	配置 位置	(X2:Y1+210), (X2:Y2-210)						
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
C2	2	0.600x0.600x4.84x1 = 1.74	2.40x4.84x1 = 11.62	<i>SD13</i>		<i>(141.60x0.995/1000)x2=0.282</i>			
C	3.48			中央部 フープ筋	43	2.40			2.40
F	23.24 F/C 6.68			コア部 フープ筋	5	2.40			2.40
B	0.556 B/C 0.160			2重H00P <i>SD19</i>	11 12	2.40 5.07 19 1.0			2.40 4.19 0.88

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 26

【 躯体内設計算書（算出根拠）－ 梁 】 － No. 1

*:基礎部 圧接欄太字・機械式継手 端部A:定着金物

階 名	コメント	配置位置	(Y1+85:X1+210～X2) , (Y2-85:X1+210～X2)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G1	2	$0.79x2 = 1.58$	$5.76x2 = 11.52$	SD10	(8.85x0.560/1000)x2=0.010				
C 1.58		0.350x0.650x3.49x1	1.65x3.49x1	腹筋	2	3.55			3.49+ 0.03+ 0.03
F 11.52 F/C 7.29				幅止筋	5	0.35			0.35
B 0.216 B/C 0.137				SD13	(38.00x0.995/1000)x2=0.076				
				スターラップ筋	19	2.00			2.00
				SD19	(28.83x2.250/1000)x2=0.130				
				主筋 上1 通し筋	3	5.15	19	0.5	4.39+ 0.76
				主筋 下1 通し筋	3	4.46	19	0.5	3.79+ 0.67

階 名	コメント	配置位置	(Y2-85:X2～X3-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G1	1	$1.29x1 = 1.29$	$9.39x1 = 9.39$	SD10	(13.95x0.560/1000)x1=0.008				
C 1.29		0.350x0.650x5.69x1	1.65x5.69x1	腹筋	2	5.75			5.69+ 0.03+ 0.03
F 9.39 F/C 7.28				幅止筋	7	0.35			0.35
B 0.163 B/C 0.126				SD13	(60.00x0.995/1000)x1=0.060				
				スターラップ筋	30	2.00			2.00
				SD19	(42.03x2.250/1000)x1=0.095				
				主筋 上1 通し筋	3	7.35	19	1.0	6.59 0.76
				主筋 下1 通し筋	3	6.66	19	1.0	5.99 0.67

階 名	コメント	配置位置	(Y1+85:X2～X3-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G2	1	$1.29x1 = 1.29$	$9.39x1 = 9.39$	SD10	(13.95x0.560/1000)x1=0.008				
C 1.29		0.350x0.650x5.69x1	1.65x5.69x1	腹筋	2	5.75			5.69+ 0.03+ 0.03
F 9.39 F/C 7.28				幅止筋	7	0.35			0.35
B 0.173 B/C 0.134				SD13	(60.00x0.995/1000)x1=0.060				
				スターラップ筋	30	2.00			2.00
				SD19	(46.79x2.250/1000)x1=0.105				
				主筋 上1 通し筋	3	7.35	19	1.0	6.59 0.76
				主筋 上2 端部トッパ	1	2.38			1.42+ 0.67+ 0.29
				主筋 上2 端部トッパ	1	2.38			1.42+ 0.29+ 0.67
				主筋 下1 通し筋	3	6.66	19	1.0	5.99 0.67

階 名	コメント	配置位置	(X1+84:Y1+210～Y1+2850) , (X3-84:Y1+210～Y1+2850)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G11	2	$0.56x2 = 1.12$	$4.06x2 = 8.12$	SD10	(6.44x0.560/1000)x2=0.008				
C 1.12		0.350x0.650x2.46x1	1.65x2.46x1	腹筋	2	2.52			2.46+ 0.03+ 0.03
F 8.12 F/C 7.25				幅止筋	4	0.35			0.35
B 0.170 B/C 0.152				SD13	(32.00x0.995/1000)x2=0.064				
				スターラップ筋	14	2.00			2.00
				スターラップ筋 2重巻き	2	2.00			2.00
				SD19	(21.67x2.250/1000)x2=0.098				
				主筋 上1 通し筋	3	3.83	19	0.5	3.07+ 0.76
				主筋 下1 通し筋	3	3.14	19	0.5	2.47+ 0.67
				主筋 下1 通し筋 増分	1	0.76			0.76

階 名	コメント	配置位置	(X1+84:Y1+2850～Y2-210) , (X3-84:Y1+2850～Y2-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G11	2	$0.56x2 = 1.12$	$4.06x2 = 8.12$	SD10	(6.44x0.560/1000)x2=0.008				
C 1.12		0.350x0.650x2.46x1	1.65x2.46x1	腹筋	2	2.52			2.46+ 0.03+ 0.03
F 8.12 F/C 7.25				幅止筋	4	0.35			0.35
B 0.170 B/C 0.152				SD13	(32.00x0.995/1000)x2=0.064				
				スターラップ筋	14	2.00			2.00
				スターラップ筋 2重巻き	2	2.00			2.00
				SD19	(21.67x2.250/1000)x2=0.098				
				主筋 上1 通し筋	3	3.83	19	0.5	3.07 0.76
				主筋 下1 通し筋	3	3.14	19	0.5	2.47 0.67
				主筋 下1 通し筋 増分	1	0.76			0.76

階 名	コメント	配置位置	(X2:Y1+210～Y1+2850)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
G12	1	$0.56x1 = 0.56$	$4.06x1 = 4.06$	SD10	(6.44x0.560/1000)x1=0.004				
C 0.56		0.350x0.650x2.46x1	1.65x2.46x1	腹筋	2	2.52			2.46+ 0.03+ 0.03
F 4.06 F/C 7.25				幅止筋	4	0.35			0.35
B 0.085 B/C 0.152				SD13	(32.00x0.995/1000)x1=0.032				
				スターラップ筋	14	2.00			2.00
				スターラップ筋 2重巻き	2	2.00			2.00
				SD19	(21.67x2.250/1000)x1=0.049				

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 27

【 躯体内訳計算書（算出根拠）－ 梁 】				－ No. 2		*:基礎部 圧接欄太字:機様式継手 端部A:定着金物			
			主筋 上1 通し筋	3	3.83	19	0.5	3.07+ 0.76	
			主筋 下1 通し筋	3	3.14	19	0.5	2.47+ 0.67	
			主筋 下1 通し筋 増分	1	0.76			0.76	

階 名		コ メ ン ト	配 置 位置	(X2:Y1+2850～Y2-210)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
1														
	リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)											
	G12	1		$0.56 \times 1 = 0.56$		$4.06 \times 1 = 4.06$	SD10	(6.44x0.560/1000) x1=0.004						
	C 0.56		0.350x0.650x2.46x1	= 0.56	1.65x2.46x1	= 4.06	腹筋	2	2.52			2.46+	0.03+	0.03
	F 4.06 F/C 7.25						幅止筋	4	0.35			0.35		
	B 0.085 B/C 0.152						SD13	(32.00x0.995/1000) x1=0.032						
							スターラップ筋	14	2.00			2.00		
							スターラップ筋 2重巻き	2	2.00			2.00		
							SD19	(21.67x2.250/1000) x1=0.049						
							主筋 上1 通し筋	3	3.83	19	0.5	3.07		0.76
							主筋 下1 通し筋	3	3.14	19	0.5	2.47		0.67
							主筋 下1 通し筋 増分	1	0.76				0.76	

階 名		倍 数	配置からの送り数量											
1		1												
	型枠 (1:普通型枠)		)											
EW18	5.69x0.18x-1	=	-1.02	W18	5.69x0.18x-1	=	-1.02							

階 名		倍 数	配置からの送り数量											
1		1												
	型枠 (1:普通型枠)		)											
CS1	9.18x0.16x-2	=	-2.94	S1	3.49x0.16x-2	=	-1.12	S1	5.69x0.16x-2	=	-1.82			
CS1A	2.94x0.16x-4	=	-1.88	S1	2.19x0.16x-8	=	-2.80							

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 28

【 躯体内部計算書（算出根拠） - 小梁 】 - No. 1 *:基礎部 圧接欄太字:機械式継手 端部A:定着金物

階 名	コメント	配置位置										
1		(Y1+2850: X1+85~X2)										
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
B1	1	$0.70 \times 1 = 0.70$	$5.81 \times 1 = 5.81$	SD10		$(47.16 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.026$						
C 0.70		0.300x0.600x3.87x1	1.50x3.87x1	スターラップ筋	21	1.80			1.80			
F 5.81 F/C 8.30				腹筋	2	3.93			3.87+	0.03+	0.03	
B 0.092 B/C 0.131				幅止筋	5	0.30			0.30			
				SD19		$(29.52 \times 2.250 / 1000) \times 1 = 0.066$						
				主筋 上1 通し筋	3	5.21			3.87+	0.67+	0.67	
				主筋 下1 通し筋	3	4.63			3.87+	0.38+	0.38	

階 名	コメント	配置位置										
1		(Y1+2850: X2~X3-85)										
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
B1	1	$1.09 \times 1 = 1.09$	$9.11 \times 1 = 9.11$	SD10		$(72.26 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.040$						
C 1.09		0.300x0.600x6.07x1	1.50x6.07x1	スターラップ筋	32	1.80			1.80			
F 9.11 F/C 8.36				腹筋	2	6.28			6.07+	0.03+	0.03+	0.15
B 0.131 B/C 0.120				幅止筋	7	0.30			0.30			
				SD19		$(40.59 \times 2.250 / 1000) \times 1 = 0.091$						
				主筋 上1 通し筋	3	6.91 19 1.0			6.24		0.67	
				主筋 下1 通し筋	3	6.62 19 1.0			6.24		0.38	

階 名	倍数	配置からの送り数量										
1	1											
型枠(1:普通型枠)												
S1	3.87x0.16x-2	=	-1.24	S1	6.07x0.16x-2	=	-1.94					

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-駆	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 29

【 躯体内訳計算書（算出根拠）－ 床版 】－ No. 1 *基礎部

階 名	コメント	配置位置										
BF		(X3+550・Y1+1860)										
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
ハンド・ホール (スラブ)	1	$0.17x1 = 0.17$	$1.56x1 = 1.56$	SD10	$(10.92x0.560/1000)x1=0.006$							
C 0.17		0.90x0.92x0.200x1 = 0.17	0.90x0.92x1 = 0.83	主 力 筋 上 端 通 し 筋	3	0.90			0.90			
F 1.56 F/C 9.18			0.92x0.200x2 = 0.37	主 力 筋 下 端 通 し 筋	3	0.90			0.90			
B 0.017 B/C 0.100			0.90x0.200x2 = 0.36	配 力 筋 上 端 通 し 筋	3	0.92			0.92			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	3	0.92			0.92			
				SD13	$(10.92x0.995/1000)x1=0.011$							
				主 力 筋 上 端 通 し 筋	3	0.90			0.90			
				主 力 筋 下 端 通 し 筋	3	0.90			0.90			
				配 力 筋 上 端 通 し 筋	3	0.92			0.92			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	3	0.92			0.92			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X2+1100・Y1-545)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS1	1	$1.60x1 = 1.60$	$11.75x1 = 11.75$	SD10	$(200.21x0.560/1000)x1=0.112$							
C 1.60		0.91x10.98x0.160x1 = 1.60	0.91x10.98x1 = 9.99	主 力 筋 上 端 通 し 筋	28	1.26			0.91+ 0.35			
F 11.75 F/C 7.34			10.98x0.160x1 = 1.76	主 力 筋 下 端 通 し 筋	56	1.06			0.91+ 0.15			
B 0.187 B/C 0.117				配 力 筋 上 端 通 し 筋	3	11.93			10.98+ 0.30+ 0.30+ 0.35			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	6	11.63			10.98+ 0.15+ 0.15+ 0.35			
				SD13	$(75.02x0.995/1000)x1=0.075$							
				主 力 筋 上 端 通 し 筋	28	1.37			0.91+ 0.46			
				主 力 方 向 先 片 持 補 強	2	12.22			10.98+ 0.39+ 0.39+ 0.46			
				主 力 方 向 元 片 持 補 強	1	12.22			10.98+ 0.39+ 0.39+ 0.46			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X2+1100・Y2+545)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS1	1	$1.60x1 = 1.60$	$11.75x1 = 11.75$	SD10	$(200.21x0.560/1000)x1=0.112$							
C 1.60		0.91x10.98x0.160x1 = 1.60	0.91x10.98x1 = 9.99	主 力 筋 上 端 通 し 筋	28	1.26			0.91	0.35		
F 11.75 F/C 7.34			10.98x0.160x1 = 1.76	主 力 筋 下 端 通 し 筋	56	1.06			0.91	0.15		
B 0.187 B/C 0.117				配 力 筋 上 端 通 し 筋	3	11.93			10.98+ 0.30+ 0.30+ 0.35			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	6	11.63			10.98+ 0.15+ 0.15+ 0.35			
				SD13	$(75.02x0.995/1000)x1=0.075$							
				主 力 筋 上 端 通 し 筋	28	1.37			0.91	0.46		
				主 力 方 向 先 片 持 補 強	2	12.22			10.98+ 0.39+ 0.39+ 0.46			
				主 力 方 向 元 片 持 補 強	1	12.22			10.98+ 0.39+ 0.39+ 0.46			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X1-545・Y1+1380), (X1-545・Y2-1380)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS1A	2	$0.44x2 = 0.88$	$3.27x2 = 6.54$	SD10	$(62.05x0.560/1000)x2=0.070$							
C 0.88		0.91x3.05x0.160x1 = 0.44	0.91x3.05x1 = 2.78	主 力 筋 上 端 通 し 筋	17	1.26			0.91+ 0.35			
F 6.54 F/C 7.43			3.05x0.160x1 = 0.49	主 力 筋 下 端 通 し 筋	17	1.06			0.91+ 0.15			
B 0.106 B/C 0.120				配 力 筋 上 端 通 し 筋	1	3.23			3.05		0.18	
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	6	3.23			3.05		0.18	
				SD13	$(18.05x0.995/1000)x2=0.036$							
				配 力 筋 上 端 通 し 筋	2	3.28			3.05		0.23	
				主 力 方 向 先 片 持 補 強	2	3.83			3.05+ 0.39+ 0.39			
				主 力 方 向 元 片 持 補 強	1	3.83			3.05+ 0.39+ 0.39			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X3+545・Y1+1380)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS1A	1	$0.44x1 = 0.44$	$3.27x1 = 3.27$	SD10	$(63.25x0.560/1000)x1=0.035$							
C 0.44		0.91x3.05x0.160x1 = 0.44	0.91x3.05x1 = 2.78	主 力 筋 上 端 通 し 筋	17	1.26			0.91	0.35		
F 3.27 F/C 7.43			3.05x0.160x1 = 0.49	主 力 筋 下 端 通 し 筋	17	1.06			0.91	0.15		
B 0.054 B/C 0.123				配 力 筋 上 端 通 し 筋	1	3.53			3.05+ 0.30		0.18	
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	6	3.38			3.05+ 0.15		0.18	
				SD13	$(18.83x0.995/1000)x1=0.019$							
				配 力 筋 上 端 通 し 筋	2	3.67			3.05+ 0.39		0.23	
				主 力 方 向 先 片 持 補 強	2	3.83			3.05+ 0.39+ 0.39			
				主 力 方 向 元 片 持 補 強	1	3.83			3.05+ 0.39+ 0.39			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X3+545・Y2-1380)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS1A	1	$0.44x1 = 0.44$	$3.27x1 = 3.27$	SD10	$(63.25x0.560/1000)x1=0.035$							
C 0.44		0.91x3.05x0.160x1 = 0.44	0.91x3.05x1 = 2.78	主 力 筋 上 端 通 し 筋	17	1.26			0.91	0.35		
F 3.27 F/C 7.43			3.05x0.160x1 = 0.49	主 力 筋 下 端 通 し 筋	17	1.06			0.91	0.15		
B 0.054 B/C 0.123				配 力 筋 上 端 通 し 筋	1	3.53			3.05	0.30+ 0.18		
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	6	3.38			3.05	0.15+ 0.18		
				SD13	$(18.83x0.995/1000)x1=0.019$							
				配 力 筋 上 端 通 し 筋	2	3.67			3.05	0.39+ 0.23		

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	30

【 躯体内訳計算書（算出根拠） - 床版 】 - No. 2				*基礎部		
			主力方向 先 片持補強	2 3.83	3.05+ 0.39+ 0.39	
			主力方向 元 片持補強	1 3.83	3.05+ 0.39+ 0.39	

階 名		コメント	配置 位置										
1			(X1-545:Y1-545)										
リストNo.		倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS2		1	$0.13x1 = 0.13$	$1.13x1 = 1.13$	SD10		$(13.99x0.560/1000)x1=0.008$						
C	0.13		0.91x0.91x0.160x1 = 0.13	0.91x0.91x1 = 0.83	主力筋 上端 通し筋	1	1.26			0.91		0.35	
F	1.13 F/C 8.69			0.91x0.160x1 = 0.15	主力筋 下端 通し筋	6	1.06			0.91		0.15	
B	0.023 B/C 0.177			0.91x0.160x1 = 0.15	配力筋 上端 通し筋	1	0.91			0.91			
					配力筋 下端 通し筋	6	0.91			0.91			
					SD13		$(14.70x0.995/1000)x1=0.015$						
					主力筋 上端 通し筋	2	1.37			0.91		0.46	
					配力筋 上端 通し筋	2	0.91			0.91			
					主力方向 先 片持補強	2	1.69			0.91+	0.39+	0.39	
					主力方向 元 片持補強	1	1.69			0.91+	0.39+	0.39	
					配力方向 先 片持補強	2	1.69			0.91+	0.39+	0.39	
					配力方向 元 片持補強	1	1.69			0.91+	0.39+	0.39	

階 名		コメント	配置位置										
1			(X3+545:Y1-545)										
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS2	1	$0.13x1 = 0.13$	$1.13x1 = 1.13$	SD10			$(15.24x0.560/1000)x1=0.009$						
C	0.13	0.91x0.91x0.160x1	= 0.13	0.91x0.91x1	= 0.83	主力筋 上端 通し筋	1	1.26		0.91		0.35	
F	1.13 F/C 8.69			0.91x0.160x1	= 0.15	主力筋 下端 通し筋	6	1.06		0.91		0.15	
B	0.025 B/C 0.192			0.91x0.160x1	= 0.15	配力筋 上端 通し筋	1	1.26		0.91+	0.35		
						配力筋 下端 通し筋	6	1.06		0.91+	0.15		
						SD13		$(15.62x0.995/1000)x1=0.016$					
						主力筋 上端 通し筋	2	1.37		0.91		0.46	
						配力筋 上端 通し筋	2	1.37		0.91+	0.46		
						主力方向 先 片持補強	2	1.69		0.91+	0.39+	0.39	
						主力方向 元 片持補強	1	1.69		0.91+	0.39+	0.39	
						配力方向 先 片持補強	2	1.69		0.91+	0.39+	0.39	
						配力方向 元 片持補強	1	1.69		0.91+	0.39+	0.39	

階 名		コメント	配置													
1			位置	(X1-545:Y2+545), (X3+545:Y2+545)												
リストNo.		倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)		型枠(1:普通型枠)		鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
CS2		2	$0.13x2 = 0.26$		$1.13x2 = 2.26$		SD10		$(15.24x0.560/1000)x2=0.018$							
C 0.26			0.91x0.91x0.160x1	= 0.13	0.91x0.91x1	= 0.83	主力筋 上端 通し筋		1	1.26			0.91+		0.35	
F 2.26 F/C 8.69					0.91x0.160x1	= 0.15	主力筋 下端 通し筋		6	1.06			0.91+		0.15	
B 0.050 B/C 0.192					0.91x0.160x1	= 0.15	配力筋 上端 通し筋		1	1.26			0.91			0.35
							配力筋 下端 通し筋		6	1.06			0.91			0.15
							SD13		$(15.62x0.995/1000)x2=0.032$							
							主力筋 上端 通し筋		2	1.37			0.91+		0.46	
							配力筋 上端 通し筋		2	1.37			0.91			0.46
							主力方向 先 片持補強		2	1.69			0.91+		0.39+	0.39
							主力方向 元 片持補強		1	1.69			0.91+		0.39+	0.39
							配力方向 先 片持補強		2	1.69			0.91+		0.39+	0.39
							配力方向 元 片持補強		1	1.69			0.91+		0.39+	0.39

階 名		コメント	配置															
1			位置	(X2-2108:Y1+1480)														
リストNo.		倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)		型枠(1:普通型枠)		鉄筋名称				本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
S1		1	$1.59x1 = 1.59$		$9.91x1 = 9.91$		SD10				$(220.48x0.560/1000)x1=0.123$							
C 1.59		F/C 6.23 B/C 0.100	2.56x3.87x0.160x1		= 1.59	2.56x3.87x1	= 9.91	主力筋 上端 通し筋		10	3.19			2.56+ 0.30+ 0.15+ 0.18				
F 9.91							主力筋 下端 通し筋		21	3.04			2.56+ 0.15+ 0.15+ 0.18					
B 0.159							配力筋 上端 通し筋		14	4.53			3.87+ 0.30+ 0.18+ 0.18					
							配力筋 下端 通し筋		14	4.38			3.87+ 0.15+ 0.18+ 0.18					
								SD13		$(36.63x0.995/1000)x1=0.036$								
								主力筋 上端 通し筋		11	3.33			2.56+ 0.39+ 0.15+ 0.23				

階 名		コメント	配置位置										
1			(X2+3208:Y1+1480)										
リストNo.		倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
S1		1	$2.49x1 = 2.49$	$15.54x1 = 15.54$	SD10		$(339.42x0.560/1000)x1=0.190$						
C 2.49		2.56x6.07x0.160x1 = 2.49		2.56x6.07x1 = 15.54	主力筋 上端 通し筋	16	3.19			2.56+	0.30+	0.15+	0.18
F 15.54 F/C 6.24					主力筋 下端 通し筋	32	3.04			2.56+	0.15+	0.15+	0.18
B 0.243 B/C 0.098					配力筋 上端 通し筋	14	6.90			6.07+	0.18+	0.30+	0.35
					配力筋 下端 通し筋	14	6.75			6.07+	0.18+	0.15+	0.35
					SD13		$(53.28x0.995/1000)x1=0.053$						
					主力筋 上端 通し筋	16	3.33			2.56+	0.39+	0.15+	0.23

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 31

【 躯体内部計算書（算出根拠） - 床版 】 - No. 3 *:基礎部

階 名	コメント	配置位置										
1		(X2-2108:Y2-1480)										
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
SI	1	$1.59 \times 1 = 1.59$	$9.91 \times 1 = 9.91$	SD10	(220.48 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.123							
C 1.59		2.56 \times 3.87 \times 0.160 \times 1 = 1.59	2.56 \times 3.87 \times 1 = 9.91	主 力 筋 上 端 通 し 筋	10	3.19			2.56 + 0.15 + 0.30 + 0.18			
F 9.91 F/C 6.23				主 力 筋 下 端 通 し 筋	21	3.04			2.56 + 0.15 + 0.15 + 0.18			
B 0.159 B/C 0.100				配 力 筋 上 端 通 し 筋	14	4.53			3.87 + 0.30 + 0.18 + 0.18			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	14	4.38			3.87 + 0.15 + 0.18 + 0.18			
				SD13	(36.63 \times 0.995 / 1000) \times 1 = 0.036							
				主 力 筋 上 端 通 し 筋	11	3.33			2.56 + 0.15 + 0.39 + 0.23			

階 名	コメント	配置位置										
1		(X2+3208:Y2-1480)										
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
SI	1	$2.49 \times 1 = 2.49$	$15.54 \times 1 = 15.54$	SD10	(339.42 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.190							
C 2.49		2.56 \times 6.07 \times 0.160 \times 1 = 2.49	2.56 \times 6.07 \times 1 = 15.54	主 力 筋 上 端 通 し 筋	16	3.19			2.56 + 0.15 + 0.30 + 0.18			
F 15.54 F/C 6.24				主 力 筋 下 端 通 し 筋	32	3.04			2.56 + 0.15 + 0.15 + 0.18			
B 0.243 B/C 0.098				配 力 筋 上 端 通 し 筋	14	6.90			6.07 + 0.18 + 0.30 + 0.35			
				配 力 筋 下 端 通 し 筋	14	6.75			6.07 + 0.18 + 0.15 + 0.35			
				SD13	(53.28 \times 0.995 / 1000) \times 1 = 0.053							
				主 力 筋 上 端 通 し 筋	16	3.33			2.56 + 0.15 + 0.39 + 0.23			

階 名 *	コメント	個別No.										
BF	マンホール 開口部補強	10										
リストNo.	倍数			鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
	1			SD13	(16.87 \times 0.995 / 1000) \times 1 = 0.017							
				周囲縦補強筋	4	1.45			0.60 + 0.46 + 0.39			
				周囲横補強筋	2	1.51			0.60 + 0.91			
				斜め補強筋	4	0.91			0.91			
				端部縦補強筋	2	1.45			0.60 + 0.46 + 0.39			
				端部縦補強筋	1	1.51			0.60 + 0.91			

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 32

【 躯体内部計算書（算出根拠） - 土間 】 - No. 1

*基礎部

階 名 *		コメント	配置 位置										
BF			(X2-2108:Y1+2850)										
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)		鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
FS1	1	5.01x1 = 5.01		SD13	(567.84x0.995/1000)x1=0.565								
C 5.01		3.87x5.18x0.250x1 = 5.01		主力筋 上端 通し筋	36	4.67				3.87+	0.39+	0.18+	0.23
F/C				主力筋 下端 通し筋	36	4.43				3.87+	0.15+	0.18+	0.23
B 0.565	B/C 0.113			配力筋 上端 通し筋	21	5.96				5.18+	0.39+	0.39	
				配力筋 下端 通し筋	21	5.48				5.18+	0.15+	0.15	

階 名 *		コメント		配置												
BF				位置		(X2+1625:Y1+2850)										
リストNo.		倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)				鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
FS1		1	3.76x1 = 3.76				SD13		(434.32x0.995/1000)x1=0.432							
C 3.76		F/C B 0.432 B/C 0.115	2.90x5.18x0.250x1		= 3.76		主力筋 上端 通し筋		36	3.49			2.90+ 0.18+ 0.18+ 0.23			
							主力筋 下端 通し筋		36	3.49			2.90+ 0.18+ 0.18+ 0.23			
							配力筋 上端 通し筋		16	5.96			5.18+ 0.39+ 0.39			
							配力筋 下端 通し筋		16	5.48			5.18+ 0.15+ 0.15			

階 名 *		コメント		配置 位置										
BF				(X3-1668:Y1+2850)										
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)				鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
FS1	1	3.65x1 = 3.65				SD13	(423.60x0.995/1000)	x1=0.421						
C 3.65		2.82x5.18x0.250x1		= 3.65		主力筋 上端 通し筋	36	3.62			2.82+	0.18+	0.39+	0.23
F/C						主力筋 下端 通し筋	36	3.38			2.82+	0.18+	0.15+	0.23
B 0.421 B/C 0.115						配力筋 上端 通し筋	15	5.96			5.18+	0.39+	0.39	
						配力筋 下端 通し筋	15	5.48			5.18+	0.15+	0.15	

階 名 *		コメント	配置 位置									
BF			(X2+2100:Y1-545)									
リストNo.	倍数	コンクリート(13:FC-24, S=15)		鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
土間コンクリート	1	0.49x1 = 0.49		SD10		(42.48x0.560/1000)x1=0.024						
C 0.49		0.91x3.60x0.150x1	= 0.49	主力筋 上端 通し筋	9	1.26			0.91+	0.35		
F/C				主力筋 下端 通し筋	9	1.06			0.91+	0.15		
B 0.073 B/C 0.149				配力筋 上端 通し筋	3	3.60			3.60			
				配力筋 下端 通し筋	3	3.60			3.60			
				SD13		(49.50x0.995/1000)x1=0.049						
				主力筋 上端 通し筋	10	1.37			0.91+	0.46		
				主力筋 下端 通し筋	10	1.06			0.91+	0.15		
				配力筋 上端 通し筋	3	3.60			3.60			
				配力筋 下端 通し筋	3	3.60			3.60			
				端部横補強筋	1	3.60			3.60			

階 名 *		コメント												
BF		落とし込み 土間		個別No. 20										
リストNo.	倍数	コンクリート (13:FC-24, S=15)		型枠 (1:普通型枠)		鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
	1	$0.15 \times 1 = 0.15$		$1.51 \times 1 = 1.51$		SD10		$(8.19 \times 0.560 / 1000) \times 1 = 0.005$						
C	0.15	5.020 x 0.200 x 0.150 x 1		= 0.15		(X+H) (X) 5.02 x 0.30 x 1 = 1.51	縦主筋 通し筋	13	0.63			0.63		
F	1.51 F/C 10.07						SD13		$(28.90 \times 0.995 / 1000) \times 1 = 0.029$					
B	0.034 B/C 0.227						端部横補強筋	3	5.02			5.02		
							横主筋 通し筋	1	5.02			5.02		
							縦主筋 通し筋	14	0.63			0.63		

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 33

【 躯体内部計算書（算出根拠）－ 壁 】 － No. 1 *基礎部

階 名 *	コメント	配置 位置	(Y1+1310:X3-85～X3+1110) , (Y1+2410:X3-85～X3+1110)						
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
BF									
ハンドホール(壁)	2	$0.26x2 = 0.52$	$2.58x2 = 5.16$	SD10	(25.14x0.560/1000)x2=0.028				
C 0.52		0.92x1.40x0.200x1 = 0.26	0.92x1.40x2 = 2.58	縦主筋 通し筋	6	2.05			1.40+ 0.30 0.35
F 5.16 F/C 9.92				横主筋 通し筋	6	1.52			0.92+ 0.30+ 0.30
B 0.090 B/C 0.173				幅止筋	6	0.20			0.20
				縦筋	6	0.42			0.42
				SD13	(31.42x0.995/1000)x2=0.062				
				縦主筋 通し筋	6	2.25			1.40+ 0.39 0.46
				横主筋 通し筋	8	1.70			0.92+ 0.39+ 0.39
				自由端横補強筋	2	1.70			0.92+ 0.39+ 0.39
				端部横補強筋	1	0.92			0.92

階 名 *	コメント	配置 位置	(X3+1110:Y1+1210～Y1+2510)						
リストNo.	倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
BF									
ハンドホール(壁)	1	$0.36x1 = 0.36$	$4.20x1 = 4.20$	SD10	(32.96x0.560/1000)x1=0.018				
C 0.36		1.30x1.40x0.200x1 = 0.36	1.30x1.40x2 = 3.64	縦主筋 通し筋	8	2.05			1.40+ 0.30 0.35
F 4.20 F/C 11.67			1.40x0.20x1 = 0.28	横主筋 通し筋	6	1.90			1.30+ 0.30+ 0.30
B 0.076 B/C 0.211			1.40x0.20x1 = 0.28	幅止筋	9	0.20			0.20
				縦筋	8	0.42			0.42
				SD13	(58.10x0.995/1000)x1=0.058				
				縦主筋 通し筋	8	2.25			1.40+ 0.39 0.46
				横主筋 通し筋	8	2.08			1.30+ 0.39+ 0.39
				自由端横補強筋	2	2.08			1.30+ 0.39+ 0.39
				コーナー補強筋	8	2.25			1.40+ 0.39 0.46
				端部横補強筋	1	1.30			1.30

階 名	コメント	配置 位置	(Y1:X1+210～X2)						
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
1									
EW18	1	$2.29x1 = 2.29$	$25.38x1 = 25.38$	SD10	(166.40x0.560/1000)x1=0.093				
C 2.29		3.49x4.10x0.180x1 = 2.58	3.49x4.10x2 = 28.62	縦主筋 通し筋	18	5.30			4.35+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 25.38 F/C 11.08		<1800x900>1,80x0,90x0,180x-1 = -0.29	<1800x900>1,80x0,90x-2 = -3.24	横主筋 通し筋	22	4.09			3.49+ 0.30+ 0.30
B 0.307 B/C 0.134				開口減分 縦主筋	-10	1.25			0.90 0.35
				開口減分 横主筋	-6	1.80			1.80
				幅止筋	24	0.18			0.18
				SD13	(215.40x0.995/1000)x1=0.214				
				縦主筋 通し筋	20	5.59			4.35+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	24	4.27			3.49+ 0.39+ 0.39
				開口減分 縦主筋	-10	1.36			0.90 0.46
				開口減分 横主筋	-6	1.80			1.80
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.82			0.90+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	2.72			1.80+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 斜補強筋	8	0.92			0.46+ 0.46

階 名	コメント	配置 位置	(X1:Y1+210～Y1+2850)						
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
1									
EW18	1	$1.92x1 = 1.92$	$21.34x1 = 21.34$	SD10	(144.00x0.560/1000)x1=0.081				
C 1.92		2.34x4.56x0.180x1 = 1.92	2.34x4.56x2 = 21.34	縦主筋 通し筋	12	5.76			4.81+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 21.34 F/C 11.11				横主筋 通し筋	24	2.94			2.34+ 0.30+ 0.30
B 0.246 B/C 0.128				幅止筋	24	0.18			0.18
				SD13	(165.82x0.995/1000)x1=0.165				
				縦主筋 通し筋	14	6.05			4.81+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	26	3.12			2.34+ 0.39+ 0.39

階 名	コメント	配置 位置	(X3:Y1+210～Y1+2850)						
リストNo.	倍数	コンクリート (8:FC-24, S=18)	型 枠 (1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
1									
EW18	1	$1.92x1 = 1.92$	$21.34x1 = 21.34$	SD10	(144.00x0.560/1000)x1=0.081				
C 1.92		2.34x4.56x0.180x1 = 1.92	2.34x4.56x2 = 21.34	縦主筋 通し筋	12	5.76			4.81+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 21.34 F/C 11.11				横主筋 通し筋	24	2.94			2.34+ 0.30+ 0.30
B 0.277 B/C 0.144				幅止筋	24	0.18			0.18
				SD13	(196.66x0.995/1000)x1=0.196				
				縦主筋 通し筋	14	6.05			4.81+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	26	3.12			2.34+ 0.39+ 0.39
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.88			0.50+ 0.46+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	2	1.22			0.30+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 斜補強筋	12	0.92			0.46+ 0.46
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.23			0.31+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	1.23			0.31+ 0.46+ 0.46

物件名称	積算No.	階数	建築面積	延床面積	印刷日
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 34

【 躯体内訳計算書（算出根拠）－ 壁 】 － No. 2

*基礎部

階名	コメント	配置位置	(X1:Y1+2850～Y2-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
EW18	1	$1.92x1 = 1.92$	$21.34x1 = 21.34$	SD10	(144.00x0.560/1000)	x1=0.087			
C 1.92		2.34x4.56x0.180x1 = 1.92	2.34x4.56x2 = 21.34	縦主筋 通し筋	12	5.76			4.81+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 21.34 F/C 11.11				横主筋 通し筋	24	2.94			2.34+ 0.30+ 0.30
B 0.263 B/C 0.137				幅止筋	24	0.18			0.18
				SD13	(183.02x0.995/1000)	x1=0.182			
				縦主筋 通し筋	14	6.05			4.81+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	26	3.12			2.34+ 0.39+ 0.39
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.23			0.31+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	1.23			0.31+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 斜補強筋	8	0.92			0.46+ 0.46

階名	コメント	配置位置	(X3:Y1+2850～Y2-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
EW18	1	$1.63x1 = 1.63$	$18.10x1 = 18.10$	SD10	(119.62x0.560/1000)	x1=0.067			
C 1.63		2.34x4.56x0.180x1 = 1.92	2.34x4.56x2 = 21.34	縦主筋 通し筋	12	5.76			4.81+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 18.10 F/C 11.10		<1800x900>1.80x0.90x0.180x-1 = -0.29	(1800x900)1.80x0.90x-2 = -3.24	横主筋 通し筋	24	2.94			2.34+ 0.30+ 0.30
B 0.233 B/C 0.143				開口減分 縦主筋	-10	1.25			0.90 0.35
				開口減分 横主筋	-6	1.80			1.80
				幅止筋	18	0.18			0.18
				SD13	(166.94x0.995/1000)	x1=0.166			
				縦主筋 通し筋	14	6.05			4.81+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	26	3.12			2.34+ 0.39+ 0.39
				開口減分 縦主筋	-10	1.36			0.90 0.46
				開口減分 横主筋	-6	1.80			1.80
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.82			0.90+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	2.72			1.80+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 斜補強筋	8	0.92			0.46+ 0.46

階名	コメント	配置位置	(Y2:X1+210～X2)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
EW18	1	$2.46x1 = 2.46$	$27.24x1 = 27.24$	SD10	(180.52x0.560/1000)	x1=0.107			
C 2.46		3.49x4.10x0.180x1 = 2.58	3.49x4.10x2 = 28.62	縦主筋 通し筋	18	5.30			4.35+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 27.24 F/C 11.07		<GB-1>0.69x1.00x0.180x-1 = -0.12	(GB-1)0.69x1.00x-2 = -1.38	横主筋 通し筋	22	4.09			3.49+ 0.30+ 0.30
B 0.338 B/C 0.137				開口減分 縦主筋	-4	1.35			1.00 0.35
				開口減分 横主筋	-6	0.69			0.69
				幅止筋	26	0.18			0.18
				SD13	(238.22x0.995/1000)	x1=0.237			
				縦主筋 通し筋	20	5.59			4.35+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	24	4.27			3.49+ 0.39+ 0.39
				開口減分 縦主筋	-6	1.46			1.00 0.46
				開口減分 横主筋	-6	0.69			0.69
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.92			1.00+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	1.61			0.69+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 斜補強筋	16	0.92			0.46+ 0.46
				開口補強筋 縦補強筋	4	1.00			0.08+ 0.46+ 0.46
				開口補強筋 横補強筋	4	1.00			0.08+ 0.46+ 0.46

階名	コメント	配置位置	(Y2:X2～X3-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
EW18	1	$4.20x1 = 4.20$	$46.66x1 = 46.66$	SD10	(312.64x0.560/1000)	x1=0.175			
C 4.20		5.69x4.10x0.180x1 = 4.20	5.69x4.10x2 = 46.66	縦主筋 通し筋	30	5.30			4.35+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 46.66 F/C 11.11				横主筋 通し筋	22	6.64			5.69+ 0.30+ 0.30+ 0.35
B 0.507 B/C 0.121				幅止筋	42	0.18			0.18
				SD13	(334.02x0.995/1000)	x1=0.332			
				縦主筋 通し筋	30	5.59			4.35+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	24	6.93			5.69+ 0.39+ 0.39+ 0.46

階名	コメント	配置位置	(Y1:X2～X3-210)						
1									
リストNo.	倍数	コンクリート(8:FC-24, S=18)	型枠(1:普通型枠)	鉄筋名称	本数	長さ	圧接	溶接	基本長 端部 端部 継手
W18	1	$2.58x1 = 2.58$	$28.66x1 = 28.66$	SD10	(208.16x0.560/1000)	x1=0.117			
C 2.58		5.69x4.10x0.180x1 = 4.20	5.69x4.10x2 = 46.66	縦主筋 通し筋	30	5.30			4.35+ 0.30+ 0.30+ 0.35
F 28.66 F/C 11.11		<SD-1>3.00x3.00x0.180x-1 = -1.62	(SD-1)3.00x3.00x-2 = -18.00	横主筋 通し筋	22	6.64			5.69+ 0.30+ 0.30+ 0.35
B 0.402 B/C 0.156				開口減分 縦主筋	-16	3.35			3.00 0.35
				開口減分 横主筋	-16	3.00			3.00
				幅止筋	26	0.18			0.18
				SD13	(286.90x0.995/1000)	x1=0.285			
				縦主筋 通し筋	30	5.59			4.35+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				横主筋 通し筋	24	6.93			5.69+ 0.39+ 0.39+ 0.46
				開口減分 縦主筋	-16	3.46			3.00 0.46

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	35

【 躯体内訳計算書（算出根拠）－ 壁 】 － No. 3					*基礎部	
			開口減分 横主筋	-16	3.00	3.00
			開口補強筋 縦補強筋	4	3.92	3.00+ 0.46+ 0.46
			開口補強筋 横補強筋	4	3.92	3.00+ 0.46+ 0.46
			開口補強筋 斜補強筋	16	0.92	0.46+ 0.46
			開口補強筋 縦補強筋	4	1.27	0.35+ 0.46+ 0.46
			開口補強筋 横補強筋	4	1.27	0.35+ 0.46+ 0.46

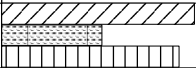
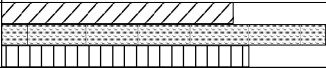
階 名 *		コメント														
BF		防液堤		個別No.	30											
リストNo.		倍数	コンクリート (4:FC-24, S=15)		型枠 (1:普通型枠)		鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
		1	0.43x1 = 0.43		5.72x1 = 5.72		SD10		(28.15x0.560/1000)x1=0.016							
C	0.43		5.200x0.150x0.550x1		(X-H) (X) 5.20x (H) 0.55x2 = 5.72		横主筋 通し筋		1	5.20			5.20			
F	5.72	F/C 13.30					縦主筋 通し筋		27	0.85			0.55		0.30	
B	0.021	B/C 0.049					SD13		(5.20x0.995/1000)x1=0.005							
							端部横補強筋		1	5.20			5.20			

物 件 名 称	積 算 No.	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	36

躯体内訳計算書（算出根拠）－ 雑 】 － No. 1												*基礎部				
階 名 *		コメント														
BF		機械基礎		個別No.40												
リストNo.		倍数	コンクリート (25・F0-24, S=15)		型 枠 (1:普通型枠)		鉄筋名称		本数	長さ	圧接	溶接	基本長	端部	端部	継手
		1	4.10x1 = 4.10		5.22x1 = 5.22		SD13		(219.17x0.995/1000)x1=0.218							
C	4.10		5.200x2.250x0.350x1		= 4.10		(X・H) (X) 5.20x (H) 0.35x2 = 3.64		横筋		27	3.73	2.95+ 0.39+ 0.39			
F	5.22	F/C 1.27					(Y・H) (Y) 2.25x (H) 0.35x2 = 1.58		縦筋		13	6.68	5.90+ 0.39+ 0.39			
B	0.218	B/C 0.053					つなぎ筋		2	15.81			14.90	0.91		

物 件 名 称	積 算 №	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日	
令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ	37

【躯体チェックリストー総括数量】

区 分	数 量				歩 掛 り			細太比(%)		構 成 比	(%)
	コンクリート(C)	型枠(F)	鉄筋(B)	継手(P)	F/C	B/C	P/B	13以下	13超		
総 合 計	95.76	559.00	12.129	135.0	5.84	0.127	11.1	75	25		
基 礎 部	43.45	133.42	5.113	21.0	3.07	0.118	4.1	73	27		(C) 45 (F) 24 (B) 42
地 下 部											(C) (F) (B)
地 上 部	52.31	425.58	7.016	114.0	8.14	0.134	16.2	77	23		(C) 55 (F) 76 (B) 58

【躯体チェックリストー面積当たり数量】

区 分	延 床 面 積 当 た り				
	C/S	F/S	B/S	使用値(S)	当該面積
総 合 計	1.56	9.08	0.197	61.56	延床
基 礎 部	0.71	2.17	0.083	61.56	基礎延床
地 下 部					地下延床
地 上 部	0.85	6.91	0.114	61.56	地上延床

【土エチェックリスト】

	掘削土量	根 切 り	鋤 取 り	埋戻土量	根切り土	搬 入 土	盛 土 量	根切り土	搬 入 土	不用土量	山 止 め
算 出 数 量	112.33	112.33		62.94	62.94					49.39	
/基礎延床面積 (61.56 m ²)	1.82	1.82		1.02	1.02					0.80	

	掘削面積	根 切 り	鋤 取 り	床付面積
算 出 数 量	99.72	99.72		47.71
/基礎延床面積 (61.56 m ²)	1.62	1.62		0.78

物 件 名 称	積 算 №	階 数	建 築 面 積	延 床 面 積	印刷日
令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 - 総合計	2502-01521-躯体	0B 1F 0P	61.56 m ²	61.56 m ²	ページ 38

【躯体チェックリスト-部位別数量】

区分	部 位	数 量				歩 掛 り			細 太 比 (%)		構 成 比 (%)	
		コンクリート(C)	型枠(F)	鉄筋(B)	継手(P)	F/C	B/C	P/B	13以下	13超		
総合計	独立基礎										(C) (F) (B)	
	布基礎	9.21	19.16	0.432		2.08	0.047		100		(C) 10 (F) 3 (B) 4	
	底盤	0.21	0.58	0.025		2.76	0.119		100		(C) (F) (B)	
	基礎梁	11.42	65.55	2.028	21.0	5.74	0.178	10.4	51	49	(C) 12 (F) 12 (B) 17	
	基礎小梁	1.81	10.36	0.292		5.72	0.161		39	61	(C) 2 (F) 2 (B) 2	
	柱	12.60	84.12	2.040	72.0	6.68	0.162	35.3	49	51	(C) 13 (F) 15 (B) 17	
	梁	7.52	42.06	1.062	36.0	5.59	0.141	33.9	41	59	(C) 8 (F) 8 (B) 9	
	小梁	1.79	11.74	0.223	6.0	6.56	0.125	26.9	30	70	(C) 2 (F) 2 (B) 2	
	床版	26.87	95.07	3.049		3.54	0.113		100		(C) 28 (F) 17 (B) 25	
	壁	20.23	225.14	2.760		11.13	0.136		100		(C) 21 (F) 40 (B) 23	
	階段										(C) (F) (B)	
	その他	4.10	5.22	0.218		1.27	0.053		100		(C) 4 (F) 1 (B) 2	
基礎部	独立基礎										(C) (F) (B)	
	布基礎	9.21	19.16	0.432		2.08	0.047		100		(C) 21 (F) 14 (B) 8	
	底盤	0.21	0.58	0.025		2.76	0.119		100		(C) (F) (B)	
	基礎梁	11.42	65.55	2.028	21.0	5.74	0.178	10.4	51	49	(C) 26 (F) 49 (B) 40	
	基礎小梁	1.81	10.36	0.292		5.72	0.161		39	61	(C) 4 (F) 8 (B) 6	
	柱	2.16	14.40	0.372		6.67	0.172		39	61	(C) 5 (F) 11 (B) 7	
	梁										(C) (F) (B)	
	小梁										(C) (F) (B)	
	床版	13.23	3.07	1.559		0.23	0.118		100		(C) 30 (F) 2 (B) 30	
	壁	1.31	15.08	0.187		11.51	0.143		100		(C) 3 (F) 11 (B) 4	
	階段										(C) (F) (B)	
	その他	4.10	5.22	0.218		1.27	0.053		100		(C) 9 (F) 4 (B) 4	

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	直接仮設工事												
	水盛りりかた	RC造	建㎡	61.56									
	墨出し	RC造(躯体・仕上)	延㎡	61.56									
	現寸型板	RC造	延㎡	61.56									
	外部枠組本足場(手すり先行式)	高さ12m未満 建地幅600mm 期間3箇月	架㎡	200.76									
	最上部安全手摺	枠組本足場用 期間3箇月	架m	41.44									
	垂直養生	養生シート張 期間3箇月	架㎡	200.76									
	内部枠組仕上げ足場	階高4.0~5.7m 期間1箇月	床㎡	61.56									
	コンクリート足場	期間1箇月	建㎡	61.56									
	養生	RC造(躯体・仕上)	延㎡	61.56									
	整理清掃	RC造	延㎡	61.56									
	竣工時清掃	RC造	延㎡	61.56									
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	躯体関連												
						軒先							
	フカシコンクリート	スラブ、壁、立上り FC-24N/mm2 スランブ°18	m3	4.88		0.09 0.06	0.68	2.78	0.24	スラブ° 1.03			4.88
	外部 打放型枠	B種	m2	157.92		4.35 2.73	138.98	11.86					157.92
	内部 打放型枠	B種	m2	151.75			138.39	HD 4.32	巾木 9.04				151.75
	軒天 打放型枠	C種	m2	33.93									
	スラブ° 打放型枠	C種	m2	76.61			75.56	1.05					76.61
	開口箱抜き	躯体より											
	打継目地棒		m	29.58									
	化粧目地棒	軒先	m	41.68									
	化粧目地棒	壁	m	99.81		70.73	29.08						99.81
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	防水工事												
	(外 部)												
	ベントナイト止水材	12x28	m	29.58									
	壁 打継目地シーリング*	PU-2 20x15	m	29.58									
	外壁 化粧目地シーリング*	縦 PU-2 20x15	m	70.73									
	外壁 化粧目地シーリング*	横 PU-2 20x15	m	29.08									
	金建廻り シーリング*	MS-2 15x10	m	15.38									
	金建廻り シーリング*	MS-2 10x5	m	3.60									
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	屋根工事												
	屋根 横葺き	t0.4 フッ素樹脂塗装鋼板	m2	102.91									
	ルーフィングシート	ゴムアスファルト系	m2	102.91									
	硬質木片セメント板	t25	m2	102.91									
	金属タルキ	t1.0 亜鉛メッキ	m2	102.91									
	棟包み	t0.4 屋根共材	m	12.80									
	軒先唐草	t1.5 アルミ押出材	m	25.60									
	ケラバ唐草	屋根共材	m	16.08									
	ケラバ水切り	t0.4 屋根共材	m	16.08									
	雪止めアングル 1段	L-50x50x4 亜鉛メッキ品	m	25.60									
	荷揚げ運搬		式	1.00									
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	左官工事												
	(外 部)												
	屋根 コンクリート直均し	木片セメント下	m2	102.91									
	犬走り、ハンドホール床 コンクリート直均し	素地	m2	4.04			2.89	1.15					4.04
	軒先 打放し面補修	B種	m2	7.08			4.35	2.73					7.08
	軒天 打放し面補修	B種 吹付下	m2	33.93									
	壁 打放し面補修	B種 吹付下	m2	138.98									
	基礎 打放し面補修	B種	m2	11.86									
	金建廻り 充填モルタル	防水剤入	m	15.38									
	(内 部)												
	床 コンクリート均し	コン面	m2	58.62									
	床 (ハンドホール) コンクリート直均し	コン面	m2	0.81									
	巾木、 打放し面補修	H=300	m	30.12									
	壁(ハンドホール) 打放し面補修	B種	m2	4.32									
	スラブ(ハンドホール) 打放し面補修	C種	m2	1.05									
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	鋼製建具												
	<ステンレス製建具>												
	GB-1 ステンレス枠ガラスブロック窓	W690xH1000 水切り 防火仕様	ヶ所	1.00									
	取付調整費	下請け諸経費・法定福利費共	式	1.00									
	運搬費		式	1.00									
	<鋼製建具>												
	SD-1 大型両開きフラッシュ戸	W3,000xH3,000 防火仕様 水切り、沓摺、標準金物一式	ヶ所	1.00									
	取付調整費	下請け諸経費・法定福利費共	式	1.00									
	運搬費		式	1.00									
	<ガラス>												
	ガラスブロック	145x145x95 目地シール共	個	24.00									
	クリーニング	片面	m2	0.69									
	計												

No.	名 称	形状寸法	単位	数量									
	塗装工事												
	(外 部)												
	軒天 複層塗材 RE	打放し面	m2	33.93									
	外壁、軒先 複層塗材 RE	打放し面	m2	146.06				4.35	2.73	138.98			146.06
	建具 耐候性塗料塗り	DP1級	m2	22.50									
	計												

[illegible]

積 算		外部拾い							備考
	名称	摘要	計 算 式						
	屋根 フツ……	t0.4							
	ゴムアス								
	硬質木片 t25		4.02	12.80	2.00		102.91	0.010	1.03
	コン直均し								
	増し打ち t10								
	金属タルキ	t1.0 @490							
	雪止めアングル		12.80	1.00	2.00		25.60		
	軒先唐草								
	複層塗材	H170							
	打放								
	補修		12.80	1.00	2.00		25.60	0.17x0.02	0.09
	フカン t20								
	ケラバ唐草								
	複層塗材								
	打放	H170	4.02	2.00	2.00		16.08	0.17x0.02	0.06
	補修								
	フカン t20								

積 算

	名称	摘要	計 算 式						備考
	棟包み								
			12.80			12.80			
	軒天								
	複層塗材		0.89	12.80	2.00	22.78			
	補修		0.89	3.13	4.00	11.14			
	打ち放し					33.93	0.020	0.68	
	フカン t20								
	外壁								
	複層塗材 RE		4.33	11.02	2.00	95.43			
	補修		4.33	5.92	2.00	51.27			
	打ち放し		0.88	5.92	0.50	5.21			
	フカン t20		(3.00)	3.00	1.00	(9.00)			
			(1.00)	0.69	1.00	(0.69)			
			(0.90)	1.80	2.00	(3.24)			
						138.98	0.020	2.78	

積 算

	名称	摘要	計 算 式						備考
	基礎								
	補修		0.35	11.02	2.00	7.71			
	打ち放し		0.35	5.92	2.00	4.14			
	フカシ t20					11.86	0.020	0.24	
	誘発化粧目地	縦	4.33	1.00	15.00	64.95			
	シール PU-2 20x10		0.88	2.00	8.00	14.08			
	ボンドブレイカー		(3.00)	2.00	1.00	(6.00)			
			(0.90)	1.00	1.00	(0.90)			
			(1.00)	2.00	1.00	(2.00)			
			0.15	2.00	2.00	0.60			
						70.73			
	誘発化粧目地	横	11.02	1.00	2.00	22.04			
	シール PU12 20x10		5.92	1.00	2.00	11.84			
			(3.00)	1.00	1.00	(3.00)			
			(1.80)	1.00	1.00	(1.80)			
						29.08			

積 算

	名 称	摘 要	計 算 式						備 考
	打継目地								
	シール PU-2 20x10		11.02	1.00	2.00	22.04			
	ペント止水板		5.92	1.00	2.00	11.84			
	12x28		(3.00)	1.00	1.00	(3.00)			
			(1.30)	1.00	1.00	(1.30)			
						29.58			
	軒先水切り目地								
	端末目地		12.80	1.00	2.00	25.60			
			4.02	2.00	2.00	16.08			
						41.68			
	犬走コンこて								
			0.85	3.40	1.00	2.89			
	ハンドホールカバー		1.00			1.00			
	天端コン直均し								
			1.10	1.30	1.00	1.43			
			(3.14)	0.09	1.00	(0.28)			
						1.15			

積 算

	名称	摘要	計 算 式						備考
	外部枠組足場								
	W600		4.74	12.80	2.00	121.34			
	養生		4.74	7.92	2.00	75.08			
			0.88	4.92	1.00	4.33			
						200.76			
	手すり		12.80	1.00	2.00	25.60			
			7.92	1.00	2.00	15.84			
						41.44			
	脚立足場								
		内部				61.56			

躯体 建具積算

[illegible]

数 量 計 算 書

配水管 φ16										
名	称	規	格	計	算	式	単	位	数	量
資	材									
				①		切管				
HIVP 直管										
		φ 16×4.0m		6		2		本		8
HIVP TS エルボ										
		φ 16×45°		4				本		4
HIVP TS ソケット										
		φ 16		6				個		6
伸縮継手										
		φ 16		2				個		2

φ 16mm切管集計表 (HIVP)														
切 管							組 合 せ 表				計 (m)	残管 (m)	切断 (口)	溝切り (口)
								乙切						
切 管	①						1	0.50	2.62	0.57	3.69	0.31	3	
	0.50						2	1.62	0.50		2.12	1.88	2	
	2.62						3							
	0.57						4							
	1.62						5							
	0.50						6							
							7							
							8							
							9							
							10							
							11							
							12							
							13							
							14							
							15							
							16							
							17							
							18							
							19							
							20							
							21							
							22							
							23							
							24							
							25							
							26							
							27							
							28							
							29							
							30							
							31							
							32							
							33							
	5.81						34							
	総乙切管延長							計				5.81	2.19	5
5.81														

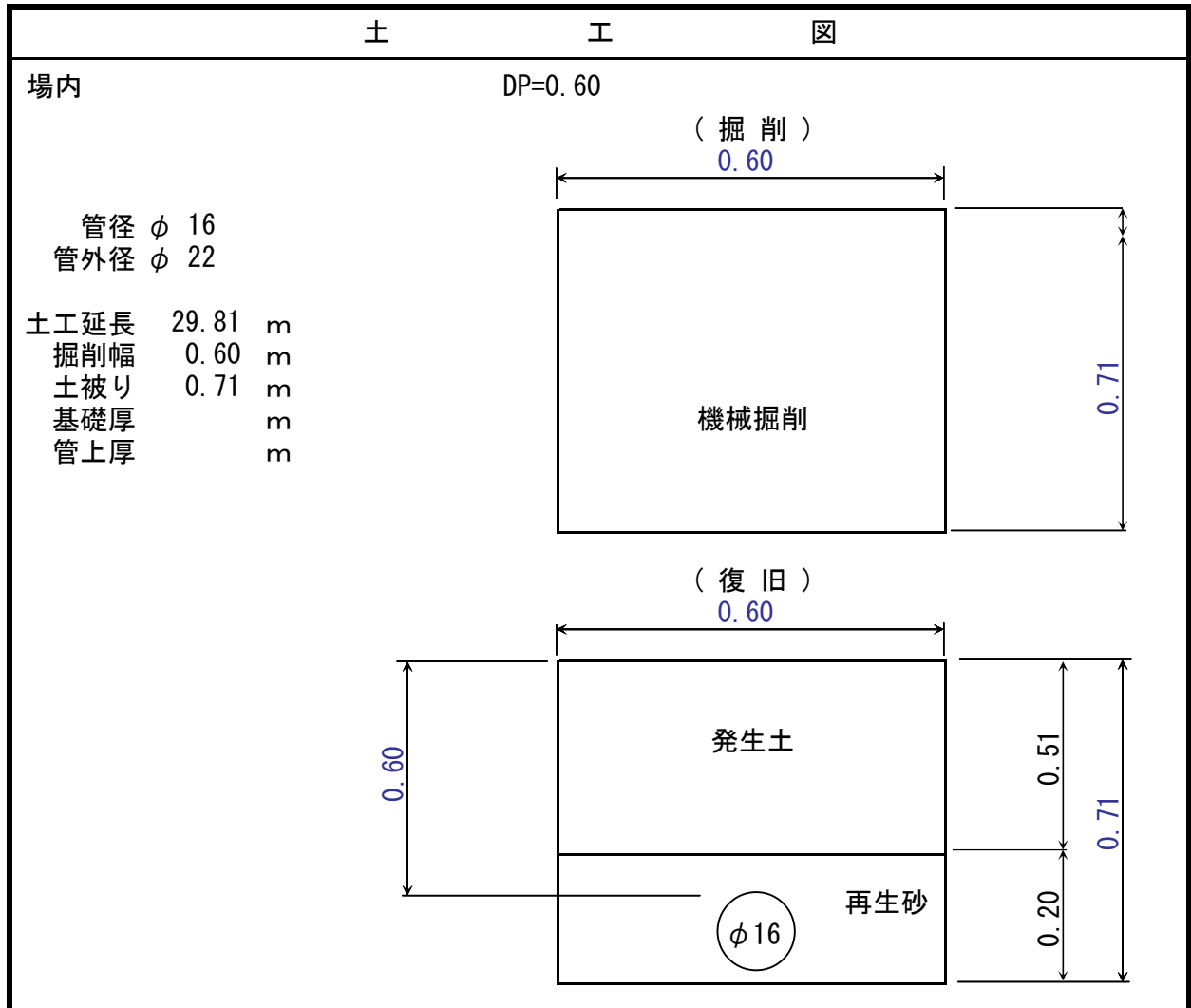
数 量 計 算 書

配水管 φ 16										
名	称	規	格	計	算	式	単	位	数	量
労務				①						
HIVP布設工				29.81			m		29.81	
塩ビ管切断工				5 + 2			口		7	
TS継手工				エルボ						

φ16 土工集計表

[illegible]

土工計算書



名 称	計 算 式	数 量
舗装版切断工 (As t≤10cm)		m
濁水処理工		m ³
舗装版取壊掘削積込工 (As t≤10cm)		m ²
機械掘削積込工	0.60 × 0.71 × 29.81	12.70 m ³
機械埋戻工 (再生砂)	(0.60 × 0.20 - $\pi/4$ × 0.02 × 0.02) × 29.81	3.57 m ³
機械埋戻工 (良質発生土)	(0.60 × 0.51) × 29.81	9.12 m ³
路盤工 t=20cm		m ²
上層路盤工 t=17cm		m ²
アスファルト舗装工 (機械・歩道・再密As・t=3cm)		m ²
残土処分工 (土砂)	12.70 - 9.12 / 0.90	2.57 m ³
残土処分工 (A s)		m ³

令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設土木工事

電気設備 数量調書

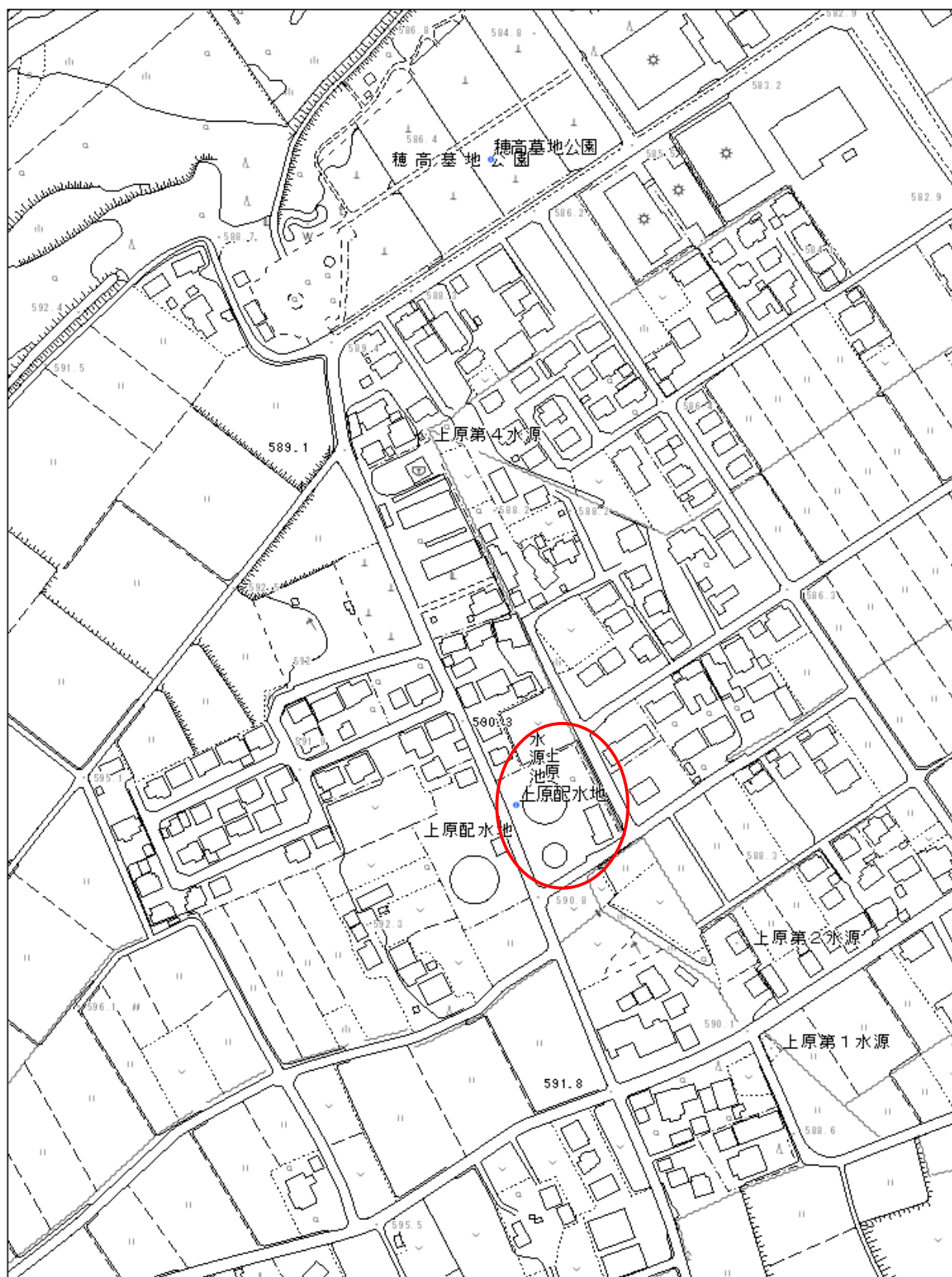
- 1 電灯設備 電灯分岐
- 2 電灯設備 コンセント分岐

[illegible]

数量算出表

[illegible]

位置図



令和 7 年度 上原水源地非常用発電機室建設工事

実施設計図

安曇野市

令和 7 年度 上原水源地非常用発電機室建設工事
図 面 目 録

図番	図 面 名 称	縮 尺	図番	図 面 名 称	縮 尺
A-01	特記仕様書 (1)	—			
A-02	特記仕様書 (2)	—			
A-03	特記仕様書 (3)	—			
A-04	特記仕様書 (4)	—			
A-05	特記仕様書 (5)	—			
A-06	特記仕様書 (6)	—			
A-07	特記仕様書 (7)	—			
A-08	案内図・配置図	1:200			
A-09	面積求積図、仕上表、平面図、建具表	1:50			
A-10	立面図、断面図	1:50			
A-11	矩計図	1:30			
A-12	部分詳細図	1:5、10、20			
A-13	配管切り回し図	1:200			
S-01	構造特記仕様書	—			
S-02	構造細目共通図 (建築構造物) (1)	—			
S-03	構造細目共通図 (建築構造物) (2)	—			
S-04	構造細目共通図 (建築構造物) (3)	—			
S-05	構造細目共通図 (建築構造物) (4)	—			
S-06	構造細目共通図 (建築構造物) (5)	—			
S-07	構造細目共通図 (建築構造物) (6)	—			
S-08	土質柱状図	1:50			
S-09	伏図・軸組図	1:100			
S-10	構造部材リスト	1:30、50、100			
S-11	架構配筋詳細図・雑詳細図	1:30			
AE-01	建築電気設備特記仕様書	—			
AE-02	建築設備図	1:50			

令和7年度上原水源地非常用発電機室建設工事

工事設計図

仕様書

I 工事概要
1. 工事場所安曇野市穂高8108-2

2. 工事種目

	建物名	構 造	階 数	建築面積	延床面積	備 考
1	自家発棟	鉄筋コンクリート造	地上1階	61.56㎡	61.56㎡	棟別新築

3. 工事範囲※「2. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「2. 工事種目」のうち の工事範囲は下表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2	仮設工事	
3	土工事	
4	地業工事	
5	鉄筋工事	
6	コンクリート工事	
7	鉄骨工事	
8	コンクリートブロック工	
9	防水工事	
10	石工事	
11	タイル工事	
12	木工事	
13	屋根及びいり工事	
14	金属工事	
15	左官工事	
16	建具工事	
17	カーテンウォール工事	
18	塗装工事	
19	内装工事	
20	ユニット及びその他の工事	

II 建築工事仕様
1. 共通仕様国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書・同指針（建築工編）」（令和4年版）」（以下、「様仕」という。）で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2. 特記仕様（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。（２）特記事項は、◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。（３）本工事は特記あるものを除き、安曇野市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。（４）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。（５）☐印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目が否かの判断基準は監督職員との協議による。（６）安曇野市環境基本計画について工事にあたっては、安曇野市環境基本計画(最新版)を充分に配慮し、設計書及び標準仕様書はもとより、環境に配慮した材料の仕様、廃棄物の発生抑制、アイドリングストップや省エネ機械の使用による省エネルギーの推進、低公害工事機械の使用、工事従業者への教育など、施工にあたって細心の注意を払うことにより、工事の環境への影響を極力少なくするように配慮すること。なお、具体的な計画を、施工計画書に記載し実施するものとする。（７）本工事における必要な諸手続等は原則として受注者において行うこと。（８）工事の着手前に工事概要等を近隣住民等に周知するなど、理解協力を求めること。また、工事車両の通行による道路の損傷には十分留意し、損傷が発生した場合は、道路管理者と協議のうえ受注者の責任において速やかに修復すること。（９）工事区域外に土砂等を散乱することがないように注意すること。また、道路を汚した場合は速やかに清掃すること。（10）作業時間、作業日、騒音振動等については、近隣住民に配慮し、関係法令を遵守することとし、事前に監督職員と協議の上、工事内容、施工条件等を考慮して決めること。特に建設業法、建設リサイクル法には留意のこと。（11）施設用途を十分に理解し、転倒防止、落下防止、衝突防止、足掛かり、指詰め防止、面取り等に配慮し、図示なくとも施工段階で考慮し安全性の高い施設になるよう努めること。（12）諸材料については必要に応じ見本品または現品を提出し、監督職員の承諾を受け使用のこと。ただし、JIS規格合格品等で監督職員がそれを確認できた場合はこの限りではない。（13）施工に必要な箇所は、監督職員の指示により適切な材料をもって養生を施し、急硬乾凍結破壊の防止をすること。（14）施工するにあたり建築、電気設備、機械設備等の取合いを十分に検討すること。（15）施工期間中の降雨等の排水については、任意仮設により水処理を行うこと。（16）施工にあたり、必要最小限の樹木の枝打ち伐採は工事に含む。（監督職員と協議、承諾のうえとする）（17）工事完了後検査不可能箇所の施工にあたっては、必要に応じ監督職員の立会いのもとに施工のこと。（18）工事完了後は速やかに工事現場内外の清掃、後片付け及び損傷箇所の復旧補修をし、監督職員の確認を受けること。（19）上記各事項に要する諸経費は全て受注者において負担する。（20）工事ゆえん引渡し後特記あるものを除き、工事の施工に起因した不具合が生じた場合は、木造建築物及び工作物1年間（受注者の故意又は重大な過失による場合、5年間）、木造以外の建築物及び工作物2年間(同、10年間)以内に、期日を定め補修工事とし、町係員の検査を受けること。（21）暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について①安曇野市が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。②上記により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。③発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。（22）新型コロナウイルスへの対応について①作業従事者（当該現場の作業に従事している者。全ての下請業者を含む）の体温及び健康状態の把握を毎日行い、健康管理を徹底すること。

2) 作業従事者に、感染の疑い又は濃厚接触した疑いのある者が判明した場合は、県保健所に相談の上、その指導に従い、自宅待機等適切な措置を講ずること。また、速やかに監督職員に報告すること。

3) 作業従事者に感染者又は濃厚接触者が判明した場合は、速やかに監督職員に報告すること。また、工事の継続・一時中止等その後の対応について速やかに検討し、発注者との協議を行うこと。

章項目特記事項

1各章共通事項①通用基準等◎建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 令和4年版）◎宮構工事写真撮影要領（令和5年版）による工事写真撮影ガイドブック建築工編／解体工事編◎建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説 令和5年版（国土交通省官庁官庁営繕部監修）②熱中症対策に資する現場管理費補正(試行)◎本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して現場管理費の補正を試行的に実施する対象工事である。熱中症リスク軽減対策として、遮光ネット（足場に設置するものに限る）、ドライミスト、暑さ指数計測装置の設置を予定し現場管理費の補正を求める場合は、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、設計変更により対応する。受注者は、事前（施工計画書等）に「熱中症リスク軽減に対する具体的対策内容」を記載し、竣工時に熱中症対策に資する現場管理の実績報告書を提出するものとする。③工事実績情報サービスへの登録※適用する（工事カルテ：請求金額500万以上）（1.1.4）④火災保険等工事目的物及び工事用材料（支給材料を含む）について、次により保険を付す。保険の種類 ・火災保険 ※建設工事保険（〇水災害特約を含む）保険期間 工事着手から工事目的物引渡し日まで⑤書面の書式及び取り扱い国土交通省公共建築工事標準書式による。（1.1.5）⑥品質計画◎建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1.2.2）※風速（V0=30m/s）※地表面粗度区分（ⅠⅡⅢⅣ）※積雪区分 建造令第1455号別表（26）⑦電気保安技術者◎適用する ・適用しない（1.3.4）8条件明示項目部分引渡し ・無 ・有 範囲（ ） （1.3.5）部分使用 ・無 ・有 範囲（ ） 使用開始時期：平成 年 月 イメージアップ ・行う（ ）⑧週休2日試行工事◎週休2日試行工事の対象工事◎発注者指定型本工事は、発注者指定型の週休2日試行工事である。そのため、当初設計時において、4週8休以上確保した場合の経費補正を行っており、設計変更時に現場の開所状況に応じた各経費の補正の見直しを行う。・施工者希望型本工事は、施工者希望型の週休2日試行工事である。そのため、設計変更時に現場の開所状況に応じた各経費の補正を行うものとする。⑩発生材の処理等※構外搬出適切処理（1.3.11）⑪環境配慮揮発性有機化合物を放散させる建築材料等（1.4.1）本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築、ユリア樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。⑫材料の品質等建築材料等（1.4.2）本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合はあらかじめ監督職員の承諾を受ける。材料・機材等の製造業者は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける(1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること(2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること(3)安定的な供給が可能であること(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。⑬特別な材料の工法（1.5.2）⑭技能士

鉄骨工事
コンクリートブロック工
押出成形ポリ板工事

防水工事

石工事
タイル工事
木工事
屋根及びいり工事
金属工事
左官工事
建具工事
カーテンウォール工事
塗装工事
内装工事
植栽工事
植栽工事

・実施する
・実施しない

15 見本施工の実施

16 化学物質の濃度測定

17 技術検査

18 完成図等

※作成する
様式等
建築主体原因
CADデータ
1
総合版製本
見開きA1製本
1
見開きA3製本
3
※製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事監理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。
※電気設備工事、機械設備工事、杭地業工事等が別途発注されている場合は総合版で提出すること。
※標仕1.7.2(b)(3)による、CADデータの提出は、CDにJww形式(SXF対称拡張線色・線種)で保存したものをも1部提出する。
安全に関する資料
※作成する 提出部数2部
なお、「建築物等の利用に関する説明書」は、建築物等の利用に関する説明書作成の手引き(国土交通省大臣官庁官庁営繕部計画課保全指導室)を参考に、安全に関する事項について作成すること。
※適用する ・適用しない(国庫補助事業による工事)
竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者(安曇野市の工事担当課)がこれを認めた場合に適用する。
電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする(図面関係、写真関係のみ)。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の諸経費(共通仮設費の率分)に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。
※作成する ・作成しない (1.7.2)
下記のことを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。
分類・規格
※カラー ※2L判
・半ビ判
・カラー半切木製パネル
324×400(mm)
※電子データ
(7インチ×9インチ)
電子データは、RGB各8ビット(フルカラー)、JPEG形式

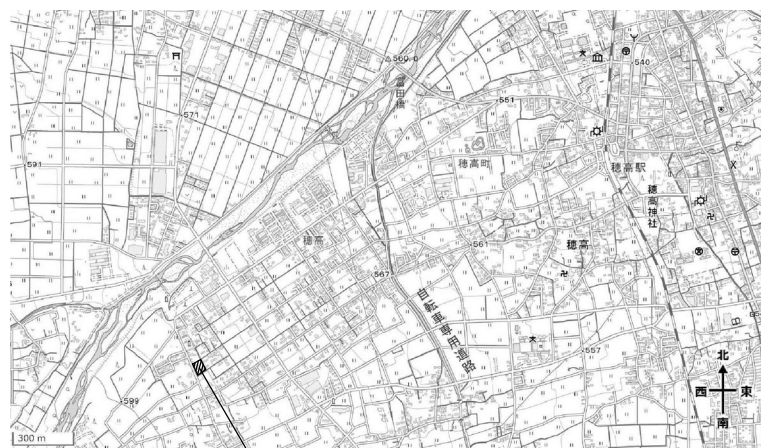
9 防水工事	1 アスファルト防水	耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※ パネル製造所の仕様による (8.5.3)(8.5.4) パネル幅の最小限度 (mm) (8.5.3)(8.5.4) ・ 300未満 (・ 図示)	保護層等の施工 (9.2.5) 平場の保護コンクリートの厚さ (9.2.5) こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 立上り部の保護工法 (9.2.5) ・ 乾式保護材 乾式保護材の材料 (・) (9.2.2) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え (屋内等) ・ れんが押え (・ 図示) れんがの材料 ・ JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) (9.2.2) 屋上排水溝の設置 (9.2.5) ・ 図示による	4 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表 9.5.1)(表 9.5.2) 種 別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 ・ X-1 ※ 製造所の仕様による ・ X-2 ※ 製造所の仕様による ・ Y-1 地下外壁防水 ・ Y-2 屋内防水 ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3) 種類 ※ 主材料の製造所の仕様 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 個 防水層の下地 (壁及び天井) (9.6.4) ・ コンクリート打放し仕上げ (標仕 表6.2.4のB種) 下地処理 (9.6.4) コンクリートの打継箇所の処理 ※ 標仕9.6.4(2)(7)による 標仕9.6.4(2)(イ)及び(ウ)以外の下地処理 ・ 図示による 材料 (9.7.2) 種類及び施工箇所 (9.7.2) ※下表以外は、標仕 表9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張りの目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 打継目地、誘発目地 ポリサルファイド系 (PS-2)、ポリウレタン系 (PU-2) 建具・金属取合い 変性シリコーン系 (MS-2) 仕上げを行わない施工箇所 () シーリング材の目地寸法 (9.7.3) ※ 標仕10.7.3(1)による 接着性試験 (9.7.5) ※ 簡易接着性試験 引張接着性試験 FRP系塗膜防水 ・ 適用する (メーカー仕様による) ※ 適用しない 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水 ・ 適用する (・ 高伸張形 高強度形) (メーカー仕様による) ※ 適用しない ※ 受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。 ・ アスファルト防水 保証期間 10年 ・ シート防水 保証期間 10年 ・ 塗膜防水 保証期間 10年 ・ 超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水 保証期間 15年 ・ FRP防水 保証期間 10年 ・ ステンレス防水 保証期間 10年	5 ケイ酸質系塗布防水	6 シーリング	7 標準仕様書以外の工法	8 保証書の提出	10 石工事	1 施工 (10.1.3) 2 石材等 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 天然石 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 表面仕上げの種類 バフ仕上げの有無 備考 テラズブロック (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上付面による区分 寸法 表面仕上げの種類 備考 テラズタイル (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法による区分 表面仕上りの種類 備考 取り付け用モルタル/既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 (10.2.3) ※ 専門工事業者の指定する製品 受金物 材質 ※ ステンレス (SUS304) 製 (10.2.2) 形状及び寸法 (10.2.2) ※ L-75×75×6(mm) (・ 長さ=100mm 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による ドレンパイプの材質 (10.2.3) ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ	4 内壁空積工法	受金物 材質 ※ ステンレス (SUS304) 製 (10.2.2) 形状及び寸法 (10.2.2) ※ L-75×75×6(mm) (・ 長さ=100mm 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による	5 外壁湿式工法	外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2) ※ 標仕10.2.4による 方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ ステンレス (SUS304) 製 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による	6 床及び階段の石張り	石材の厚さ (mm) 床 ()、階段 () (10.6.2)(10.6.3) 床石張り (10.6.2) 浸透性吸水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段張り (10.6.3) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 目地 一般目地 目地幅 (mm) ・ 図示による (10.6.2)(10.6.3) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 床面30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部 (10.5.3) ・ 図示による シーリング材の目地寸法 (10.6.2)(10.6.3) ※ 幅・深さ共 10mm以上 ・ 図示による	7 笠木、甲板等の石張り	取り付け方法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 (10.7.2)(10.2.2) 湿式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(1)による ・ 図示による 乾式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(2)による ・ 図示による 方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 特殊部位用金物 ・ 標仕10.2.2(3)による ・ 図示による ファスナー ・ 図示による アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 湿式工法の材質：※ ステンレス (SUS304) 製 寸法： 乾式工法の材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による 石材の厚さ (mm) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※ 標仕10.5.3(2)による 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない
		根根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3～表 9.2.6) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3～表 9.2.6) 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・ A-1 ※ 〆ワレレンフィッシュ厚さ0.15mm以上 ・ A-2 又はフラットペーン0.70g/㎡程度 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A I-1 (厚さ) ※ フラットペーン0.70g/㎡程度 ・ A I-2 ・ 25 mm ・ A I-3 ・ B I-1 ・ B I-2 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.5及び表9.2.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置 (表 9.2.4)(表 9.2.6) ・ 適用する ・ 適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 種 別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 (種類) 仕上塗料 (使用量) ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 (厚さ) ・ D I-1 mm ・ D I-2 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.7及び表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) 種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個 屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9) 種 別 施工箇所 種 別 施工箇所 ・ E-1 保護層 ・ 設ける (・ 図示) (9.2.3) ・ 設けない E-1の工程3を行う場合の部位 (表 9.2.9) ※ 貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位 施工 (9.2.4) 防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4) ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示) (9.2.4) ・ 適用しない 防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4) ※ 標準標仕 表6.2.4のB種 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4) ・ 図示による	2 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表 9.3.1～表9.3.3) 種 別 施工箇所 断熱材 防湿用シート 仕上塗料 種類 使用量 ・ A S-T 1 ・ A S-T 2 ・ A S-T 3 ・ A S-T 4 ・ A S-U 1 ・ A S I-T 1 ・ A S I-U 1 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による 押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.3) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) 種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個 防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表 9.4.1)(表 9.4.2) 種 別 施工箇所 可変剤移行防止シートの材質 断熱材 歩行の仕様 仕上塗料 種類 使用量 ・ S-F1 ※非歩行用 ・ 軽歩行用 ・ S-F2 ・ S-M1 ※非歩行用 ・ 軽歩行用 ・ S-M2 ・ SI-F1 (種類) ・ mm (厚さ) ・ SI-F2 ・ SI-M1 (種類) ・ mm (厚さ) ・ SI-M2 発砲ポリイソシレートシート 屋内防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表 9.4.3) 種 別 施工箇所 保護層 平場のモルタル塗り 立上り部の保護モルタル塗りの厚さ 塗厚 (mm) 工法 ・ S-C1 床塗り ※ 7mm以下 下地モルタル塗り ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2) ※ 標仕 表9.4.1から表9.4.3による 固定金具の材質及び形状 (9.4.2) 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0.4以上 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3) 種類 ※ ルーフィングシート製造所の指定 設置数量 ※ ルーフィングシート製造所の指定 個 断熱工法 (SI-M1、SI-M2の場合) の防湿用フィルム (表 9.4.2) ・ 設置する ・ 設置しない 接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない PCコンクリート下地の入隅部の増し張り (S-F1、SI-F1の場合) (9.4.4) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない 機械的固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	5 ケイ酸質系塗布防水	6 シーリング	7 標準仕様書以外の工法	8 保証書の提出	10 石工事	1 施工 (10.1.3) 2 石材等 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 天然石 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 表面仕上げの種類 バフ仕上げの有無 備考 テラズブロック (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上付面による区分 寸法 表面仕上げの種類 備考 テラズタイル (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法による区分 表面仕上りの種類 備考 取り付け用モルタル/既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 (10.2.3) ※ 専門工事業者の指定する製品 受金物 材質 ※ ステンレス (SUS304) 製 (10.2.2) 形状及び寸法 (10.2.2) ※ L-75×75×6(mm) (・ 長さ=100mm 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による ドレンパイプの材質 (10.2.3) ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ	4 内壁空積工法	受金物 材質 ※ ステンレス (SUS304) 製 (10.2.2) 形状及び寸法 (10.2.2) ※ L-75×75×6(mm) (・ 長さ=100mm 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による	5 外壁湿式工法	外壁乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2) ※ 標仕10.2.4による 方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 材質：※ ステンレス (SUS304) 製 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による	6 床及び階段の石張り	石材の厚さ (mm) 床 ()、階段 () (10.6.2)(10.6.3) 床石張り (10.6.2) 浸透性吸水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段張り (10.6.3) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 目地 一般目地 目地幅 (mm) ・ 図示による (10.6.2)(10.6.3) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 床面30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部 (10.5.3) ・ 図示による シーリング材の目地寸法 (10.6.2)(10.6.3) ※ 幅・深さ共 10mm以上 ・ 図示による	7 笠木、甲板等の石張り	取り付け方法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 (10.7.2)(10.2.2) 湿式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(1)による ・ 図示による 乾式工法の取付け金物 ・ 標仕10.2.2(2)による ・ 図示による 方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式 特殊部位用金物 ・ 標仕10.2.2(3)による ・ 図示による ファスナー ・ 図示による アンカーの材質及び寸法 (10.2.2) 湿式工法の材質：※ ステンレス (SUS304) 製 寸法： 乾式工法の材質：※ SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 図示による 石材の厚さ (mm) 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※ 標仕10.5.3(2)による 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない
		根根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3～表 9.2.6) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.3～表 9.2.6) 種 別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート ・ A-1 ※ 〆ワレレンフィッシュ厚さ0.15mm以上 ・ A-2 又はフラットペーン0.70g/㎡程度 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ A I-1 (厚さ) ※ フラットペーン0.70g/㎡程度 ・ A I-2 ・ 25 mm ・ A I-3 ・ B I-1 ・ B I-2 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.5及び表9.2.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 立上り部への断熱材及び絶縁シートの設置 (表 9.2.4)(表 9.2.6) ・ 適用する ・ 適用しない 屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8) 種 別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 (種類) 仕上塗料 (使用量) ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 (厚さ) ・ D I-1 mm ・ D I-2 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.3及び表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.2.2) ※ 標仕 表9.2.7及び表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9.2.2) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) 種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個 屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9) 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9) 種 別 施工箇所 種 別 施工箇所 ・ E-1 保護層 ・ 設ける (・ 図示) (9.2.3) ・ 設けない E-1の工程3を行う場合の部位 (表 9.2.9) ※ 貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位 施工 (9.2.4) 防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4) ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示) (9.2.4) ・ 適用しない 防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4) ※ 標準標仕 表6.2.4のB種 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4) ・ 図示による	2 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3)(表 9.3.1～表9.3.3) 種 別 施工箇所 断熱材 防湿用シート 仕上塗料 種類 使用量 ・ A S-T 1 ・ A S-T 2 ・ A S-T 3 ・ A S-T 4 ・ A S-U 1 ・ A S I-T 1 ・ A S I-U 1 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ (9.3.3) ※ 標仕 表9.3.2から表9.3.3による 押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.3) ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) 種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 個 防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表 9.4.1)(表 9.4.2) 種 別 施工箇所 可変剤移行防止シートの材質 断熱材 歩行の仕様 仕上塗料 種類 使用量 ・ S-F1 ※非歩行用 ・ 軽歩行用 ・ S-F2 ・ S-M1 ※非歩行用 ・ 軽歩行用 ・ S-M2 ・ SI-F1 (種類) ・ mm (厚さ) ・ SI-F2 ・ SI-M1 (種類) ・ mm (厚さ) ・ SI-M2 発砲ポリイソシレートシート 屋内防水層の種類 (9.4.2～9.4.4)(表 9.4.3) 種 別 施工箇所 保護層 平場のモルタル塗り 立上り部の保護モルタル塗りの厚さ 塗厚 (mm) 工法 ・ S-C1 床塗り ※ 7mm以下 下地モルタル塗り ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2) ※ 標仕 表9.4.1から表9.4.3による 固定金具の材質及び形状 (9.4.2) 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0.4以上 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3) 種類 ※ ルーフィングシート製造所の指定 設置数量 ※ ルーフィングシート製造所の指定 個 断熱工法 (SI-M1、SI-M2の場合) の防湿用フィルム (表 9.4.2) ・ 設置する ・ 設置しない 接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない PCコンクリート下地の入隅部の増し張り (S-F1、SI-F1の場合) (9.4.4) ・ 行う (・ 図示) ・ 行わない 機械的固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	5 ケイ酸質系塗布防水	6 シーリング	7 標準仕様書以外の工法	8 保証書の提出	10 石工事	1 施工 (10.1.3) 2 石材等 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 天然石 (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 表面仕上げの種類 バフ仕上げの有無 備考 テラズブロック (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上付面による区分 寸法 表面仕上げの種類 備考 テラズタイル (10.2.1)(表 10.2.1)(表 10.2.2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法								

[illegible]

14 金属工事	3 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 (14. 2. 2) (表 14. 2. 1) 屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形) ・ 屋外の場合の形式及び寸法 (14. 4. 3) 野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 工法 (14. 4. 4) ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・ 図示による ・ 天井のふところが3. 0mを超える場合 補強方法 ・ 図示による ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・ 図示による ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強箇所、補強方法 ・ 図示による	4 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナ等の種類 (14. 5. 3) ※ 標仕 表14. 5. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スタッドの高さが 5. 0m を超える場合 ・ 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14. 5. 4) ※ 標仕14. 5. 4 (イ) による ・ 図示による 表面処理 ・ 図示による	5 金属成形板張り	種類 ・ 図示による (14. 6. 2) 表面処理 ・ 図示による 取付け用下地 ※ 標仕14. 4 (イ) による ・ 図示による (14. 6. 3) 伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所 ・ 図示 ・) (14. 6. 3) ※ 設けない	6 アルミニウム製生木	部材の種類 (14. 7. 2) (表 14. 7. 1) ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 種類 () 種 (14. 7. 2) (表 14. 2. 1) 色合等 ・ 標準色 (シルバー) ・ 特注色 () 笠木の固定金具の工法等 (14. 7. 3) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による	15 左官工事	1 ラス系下地	下地の種類 (15. 2. 4) ・ 通気工法 (・ 二層下地 ・ 単層下地) ・ 直張り工法 (・ ラスマルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地) ・ 図示による (外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合) 材料 (15. 2. 4) ラス及び補強用プラス 材料記号 (※ K ・) 種類及び単位面積当りの質量 ・ 二層下地通気工法 ※ 波形ラス (W700) ・ こぶラス (K800) ・ 力骨付きラス (BP700) ・ 単層下地通気工法 ・ リプラスC (RC800) にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4 (耐力壁の場合) ステープルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上 (リプラスC (RC800) の場合) ・ 波形ラス ※ L1019JS以上 (波形ラス (W700) の場合) ・ 施工 (15. 2. 4) 二層下地通気工法 換気口部の措置 ※ 講ずる 直張り構法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による	2 セッコウボード	材料 (15. 2. 5) セッコウボード、セッコウラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ セッコウボード 種類 () 厚さ (mm) セッコウラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm)	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり (15. 2. 6)	4 木ずり下地	材料 (15. 2. 7) 木ずり用小幅板の樹種 ※ 杉 (心去り材) ・	5 モルタル塗り	モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料 (15. 3. 2) 既製目地材 (15. 3. 2) ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (・ 図示 ・) ・ 設けない 床の目地 (15. 3. 5) ・ 設ける 目地割 ※ 2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張りの下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 (15. 3. 5) ・ 行う ・ 行わない	⑥ 仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 材料 ・ 薄付け仕上塗材 <table> <tr> <th>呼び名</th><th>仕上げる形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 Si</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ 叩き塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 Si</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ 叩き塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>※ 外装塗材 E (見上げ面)</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 平たん状</td><td>・ 叩き塗り</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 着色骨材砂壁状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 平たん状</td><td>・ 叩き塗り</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td rowspan="2">/</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 防水形外装薄塗材 E</td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td>・ 叩き塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 S</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 C</td><td>・ 凹凸状</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 L</td><td>・ 平たん状</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ 叩き塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 Si</td><td>・ 砂壁状じゅらく</td><td>・ 吹付け</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 E</td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 平たん状</td><td>・ 叩き塗り</td><td rowspan="3">/</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ さざ波状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 W</td><td>・ 京壁状じゅらく</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ゆず肌状</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 平たん状</td><td></td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 厚付け仕上塗材</td><td>・ 仕上げる形状</td><td>・ 工 法</td><td>・ 吸放湿性</td><td>・ 防火材料</td></tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 C</td><td>・ 吹放し</td><td>・ 吹付け</td><td rowspan="3">/</td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凸部処理</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 平たん状</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 凹凸状</td><td></td><td rowspan="3">/</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ ひき起こし</td><td></td><td>・ 適用する</td></tr> <tr> <td></td><td>・ かき落とし</td><td></td><td>・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材 Si</td></tr></table>	呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・ 外装薄塗材 Si	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ ゆず肌状	・ 叩き塗り	・ 適用しない		・ さざ波状			・ 可とう形外装薄塗材 Si	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ ゆず肌状	・ 叩き塗り	・ 適用しない		・ さざ波状			※ 外装塗材 E (見上げ面)	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ ゆず肌状	・ こて塗り	・ 適用しない		・ 平たん状	・ 叩き塗り			・ 凹凸状		/			・ さざ波状				・ 着色骨材砂壁状			・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ ゆず肌状	・ こて塗り	・ 適用しない		・ 平たん状	・ 叩き塗り			・ 凹凸状		/			・ さざ波状			・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ さざ波状	・ 叩き塗り	・ 適用しない		・ 凹凸状			・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する				・ 適用しない					・ 内装薄塗材 C	・ 凹凸状	・ 吹付け	/	・ 適用する	・ 内装薄塗材 L	・ 平たん状	・ こて塗り	・ 適用しない		・ ゆず肌状	・ 叩き塗り	・ 適用しない		・ さざ波状		/		・ 内装薄塗材 Si	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け	・ 適用する	・ 内装薄塗材 E	・ ゆず肌状	・ こて塗り	・ 適用しない		・ 平たん状	・ 叩き塗り	/			・ 凹凸状				・ さざ波状			・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ ゆず肌状	・ こて塗り	・ 適用しない		・ 平たん状		・ 適用しない		・ 凹凸状		/										・ 厚付け仕上塗材	・ 仕上げる形状	・ 工 法	・ 吸放湿性	・ 防火材料	・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し	・ 吹付け	/	・ 適用する		・ 凸部処理	・ こて塗り	・ 適用しない		・ 平たん状				・ 凹凸状		/			・ ひき起こし		・ 適用する		・ かき落とし		・ 適用しない	・ 外装厚塗材 Si
呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																																																																																																																																											
・ 外装薄塗材 Si	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ 叩き塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																														
・ 可とう形外装薄塗材 Si	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ 叩き塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																														
※ 外装塗材 E (見上げ面)	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 平たん状	・ 叩き塗り																																																																																																																																																																																																																													
	・ 凹凸状		/																																																																																																																																																																																																																												
	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																														
	・ 着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																																														
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 平たん状	・ 叩き塗り																																																																																																																																																																																																																													
	・ 凹凸状		/																																																																																																																																																																																																																												
	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																														
・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ さざ波状	・ 叩き塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 凹凸状																																																																																																																																																																																																																														
・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
				・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
・ 内装薄塗材 C	・ 凹凸状	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
・ 内装薄塗材 L	・ 平たん状	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ 叩き塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ さざ波状		/																																																																																																																																																																																																																												
・ 内装薄塗材 Si	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け		・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
・ 内装薄塗材 E	・ ゆず肌状	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 平たん状	・ 叩き塗り	/																																																																																																																																																																																																																												
	・ 凹凸状																																																																																																																																																																																																																														
	・ さざ波状																																																																																																																																																																																																																														
・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ ゆず肌状	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 平たん状			・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 凹凸状		/																																																																																																																																																																																																																												
・ 厚付け仕上塗材	・ 仕上げる形状	・ 工 法	・ 吸放湿性	・ 防火材料																																																																																																																																																																																																																											
・ 外装厚塗材 C	・ 吹放し	・ 吹付け	/	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ 凸部処理	・ こて塗り		・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
	・ 平たん状																																																																																																																																																																																																																														
	・ 凹凸状		/																																																																																																																																																																																																																												
	・ ひき起こし			・ 適用する																																																																																																																																																																																																																											
	・ かき落とし			・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																											
・ 外装厚塗材 Si																																																																																																																																																																																																																															

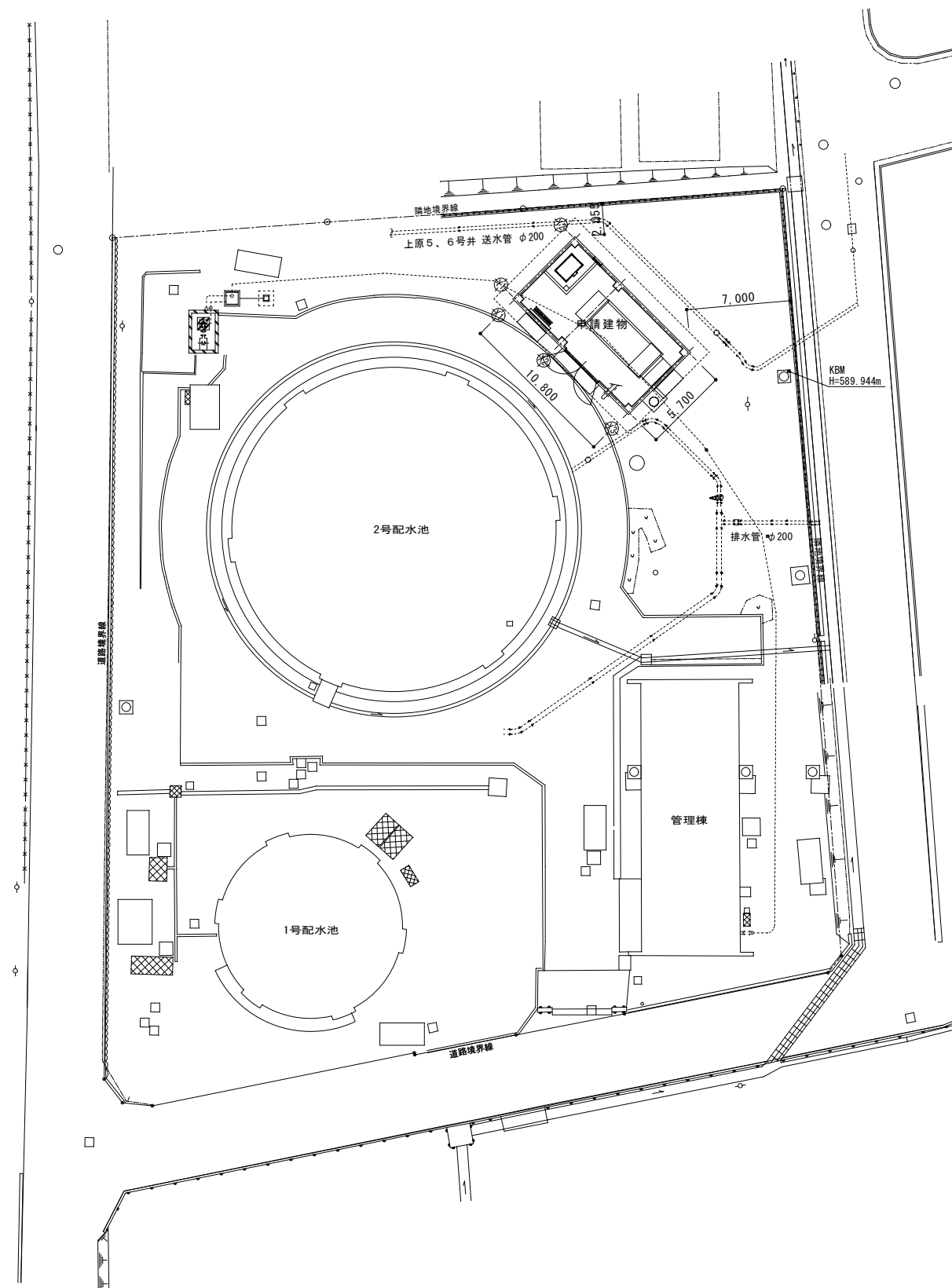
11	建具用金物	・戸ぶすま 表面材の種類、品質等（ ） 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による 金物の種類・見え掛り部の材質等 ※ 標仕 表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は、建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標仕 表16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標仕 表16.8.3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○ 建具表による 12 鍵 マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 鍵の製作本数等 ※ 各室3本1組 ・ （ ）本 鍵箱 ※ 必要 ・ 不要 13 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ・ 図示による 自動ドア開閉装置の性能 駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.1による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.2による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 検出装置の性能 ※ 引き戸用駆動装置の場合、標仕 表16.9.3による 防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 引き戸用検出装置の種類は、標仕 表16.9.4による 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ（・無線式 ・ 光電式）・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便所スイッチ（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止装置 ・ 適用する ・ 適用しない 14 自閉式上吊り引戸装置 性能 ※ 標仕 表16.10.1による ・ 図示による 15 重量シャッター シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防災シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 開閉方式の種類（標仕 表16.11.1） ※ 電動式（手動併用） ・ 手動式 安全装置の設置箇所 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・ 図示による 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による 危害防止機構の設置箇所 ・ 図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） ・ JIS G 3302（塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ Z12 又は F12 ステンレス銅板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ （16.11.3）（16.6.3） 16 軽量シャッター 開閉形式 ※ 電動式（手動併用） ・ 手動式 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・ 図示による スラットの材質の種類 ・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ Z06 又は F06 ・ JIS G 3322（塗装溶融5%アルミニウム一亜鉛めっき銅板及び銅帯） めっきの付着量 ※ AZ90 スラットの種類 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 17 オーバーヘッドドア 区分、材料 セクション材料 風圧力区分 (Pa) 開閉方式 収納形式 ガイドレール ・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ 125 ・ バランス式 ・ スタンダード形 ・ 溶融亜鉛めっき銅板 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ材 ・ 100 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ・ ステンレス銅板 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ材 ・ 75 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ （SUS 304） ・ 50 電動式の場合の障害物感知装置の設置場所 ・ 図示（ ） 18 ガラス 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による ・ フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ※ 図示（※ 建具表 ）による ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ※ 図示（※ 建具表 ）による ・ 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ※ 図示（※ 建具表 ）による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ※ 図示（※ 建具表 ）による ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ※ 図示（※ 建具表 ）による 19 ガラスブロック積み 材料 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) ○ 正方形 ・ 160×160 95 ・ ・ ※ 8～15 外側 ※ 6m以下 ごと ・ 200×200 95 ○ ・ ・ ※ 15～25 内側 ※ 10～25 ・ 長方形 ・ ・ ・ ・ ※ 6以上 ・ ・ ・ ・ 壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける（形状 ・ 図示 ） ・ 設けない 龙骨 材質 ※ ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（ 白色 ） シーリング材の種類（ 白色 ） 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ・ 図示による 形状 ・ 図示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ） 目地部の横方骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 20 ガラス用フィルム（内張り用） 用途による区分 記号 ・ ガラス飛散防止フィルム ※ GS-A・B ・ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム ・ SC-A/GS-A・B ・ SC-B/GS-A・B ・ ガラス貫通防止フィルム ※ SF-A ・ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム ・ SC-A/SF-A ・ SC-B/SF-A 品質 JIS A5759 による 21 カーテンウォール工事 1 取付方法、性能等 性能 耐風性能 耐震性能 水密性 気密性 耐火性 耐温度差性 (°C) 遮音性 断熱性 水平方向 (kN) 垂直方向 (kV) ・ 1.0 ・ 0.5 ・ W-4 ・ A-3 ・ 80 ・ T-3 ・ H-2 ・ ・ ・ W-5 ・ A-4 ・ 70 ・ T-4 ・ H-3 ・ ・ ・ ・ ・ 60 ・ T-5 ・ H-4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ H-5 性能の確認方法及び判定方法 ※ 性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 ・ 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 （アルミニウム材の場合） 規格等 標仕16.2.3による 種類 ・ 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 シーリング材（ガラスの取付けは除く） 下表以外は標仕 表9.7.1による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記 号 主成分による区分 ガラスの取付け材料 ・ シーリング（種類： ） ・ 構造ガスケット（材質、形状等 ・ 図示 ） 断熱材 種類（ ） 厚さ (mm)（ ） 施工箇所 ・ 図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※ 標仕 表17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ・ 22 塗装 種別 ・ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） ・ 木部（屋外） ※ A種 ・ B種 ・ 木部（屋内） ※ B種 ・ A種 ・ 鉄鋼面 ※ B種 ・ A種 ・ 亜鉛めっき鋼面 標仕 表18.4.3 ・ カリヤット塗り（CL） ※ B種 ・ A種 ・ カリヤ樹脂系非水分散形塗料（NAD） ※ B種 ・ A種 ○ 耐候性塗料塗り（DP） ・ 鉄鋼面 標仕 表18.7.1 ・ 亜鉛めっき鋼面 標仕 表18.7.2 ・ コクリト面 ・ A種 ・ 押出成形メッキ板面 ・ B種 ・ C種 ・ つや有合成樹脂エポキシペイント塗り（EP-G） ・ コクリト面、亜鉛面等 ※ B種 ・ A種 ・ 木部 標仕 表18.8.2 ・ 屋内鉄鋼面 ※ B種 ・ A種 ・ 亜鉛めっき鋼面 標仕 表18.8.4 ・ 合成樹脂エポキシペイント塗り（EP） ※ B種 ・ A種 ・ カリヤ樹脂系ペイント塗り（UC） ※ B種 ・ A種 ・ エポキシペイント塗り（ ） ・ カリヤペイント塗り（OS） ・ 木材保護塗料塗り（WP） 屋外 ※ B種 ・ A種 塗料の種類等（表 18.5.1） カリヤット塗り（CL） 種別がA種の場合における、標仕 表 18.5.1 の工程2 ・ 塗料の種類（ ） 耐候性塗料塗り（DP） 上塗り塗料の等級 鉄鋼面（ ）級（表 18.7.2） 亜鉛めっき鋼面（ ）級 ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） 種別がA種の場合における、改修標仕 表 7.11.1 の工程1の着色 ・ 適用する オイルステイン塗り（OS）の仕様（表 18.11.2） ・ 図示による 19 内装工事 ① 接着剤等 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ （19.2.2）（19.3.2）（19.5.4）（19.5.5）（19.7.2）（19.9.3） 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイル用接着剤の主成分による区分（19.2.2）（表 19.2.2） ・ 図示による 下地の施工 標仕19.2.3(1) (7) から (7) 以外の下地の工法（19.2.3） ・ 図示による 2 ビニル床シート ㊦ 材料 種 類 色 柄 厚さ (mm) 備 考 ※ F S（複層ビニル床シート） ※ 無地 ・ マーブル柄 ※ 2.0 ※ 柄物 ・ 無地 ・ 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け 3 ビニル床タイル ㊦ 材料 種 類 色 柄 寸 法 厚さ (mm) 備 考 ※ K T（コグジションビニル床タイル） ・ 無地 ・ 300×300 ※ 2.0 ・ T T（単層ビニル床タイル） ・ F T（複層ビニル床タイル） ・ 500×500 ・ F O A（重敷ビニル床タイル） ・ F O B（薄型重敷ビニル床タイル） 4 特殊機能床 ㊦ 材料 シート・タイルの種別 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 厚さ： ・ 帯電防止床タイル 寸法： ・ 視覚障害者用床タイル 形状： ・ 耐動荷重性床シート 厚さ： ・ 防滑性床シート 厚さ： ・ 防滑性床タイル 寸法： 厚さ： 5 ビニル幅木 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 70 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上 6 ゴム床タイル 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄（ ） 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm)（ ） 7 カーペット敷き ・ 織じゅうたん（19.3.2）（表19.3.1） 織り方 バイル形状 帯電性 備 考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル ・ 帯電性 ・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル ・ 適用する ・ アキスミンスターカーペット ・ カット、ループバイル併用 ・ 適用しない 色柄、バイル糸の種類等 ※ 無地（種別・A種 ・ B種 ・ C種） ・ 柄物（標準品） ・ 下敷き材 ※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種号 呼び厚さ8mm 見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、形状等 ・ 図示 ） ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法（19.3.3） ※ シートボンド工法 事業名 令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 図面名称 特記仕様書(5) 事業主 安曇野市 縮尺 Non 図面番号 A-05
----	-------	---

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



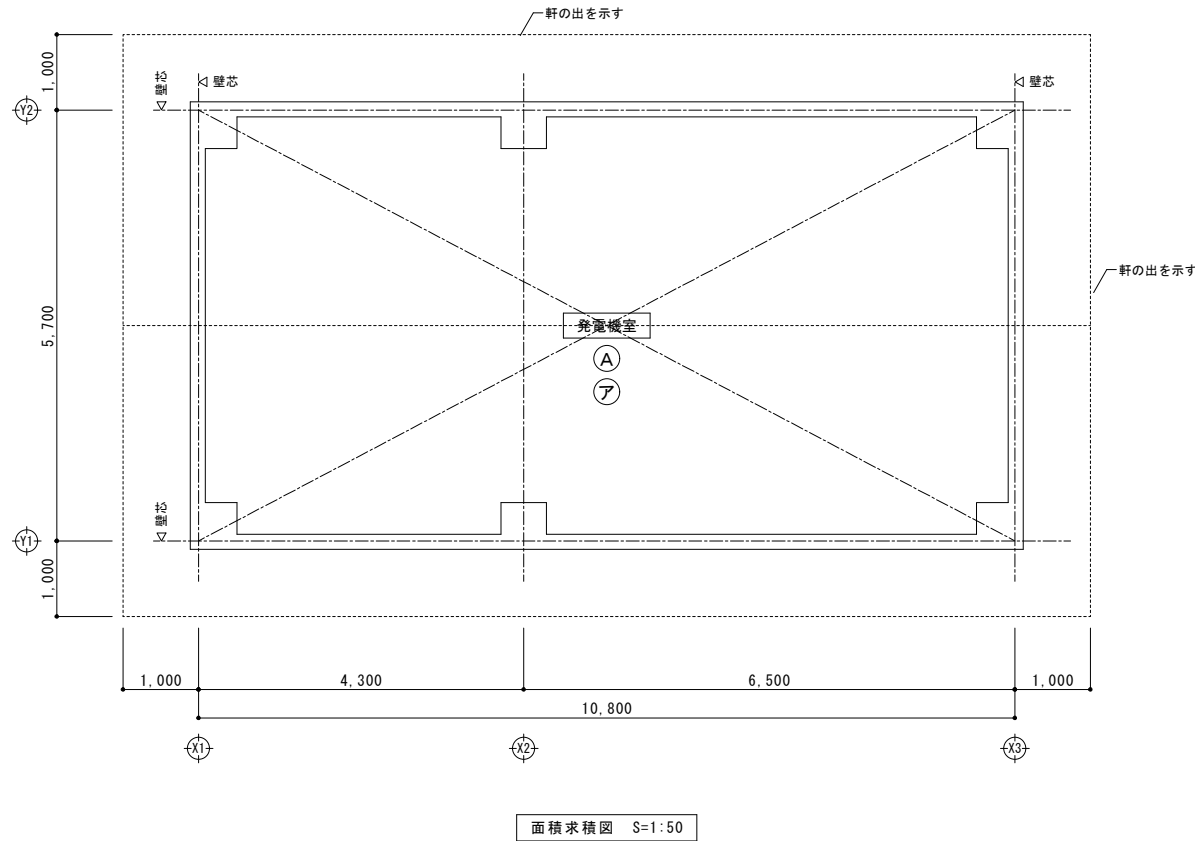
建設場所：安曇野市穂高8108-2

案内図



配置図 S=1:200

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	案内図・配置図		
縮尺	1:200 (A1)	図面番号	A-08
事業者	安曇野市		26



床面積求積表

記号	位置	計算式 (m×m)	面積 (㎡)
Ⓐ	1階	10.80 × 5.70	61.5600
延床面積			61.56

建築面積求積表

記号	位置	計算式	面積 (㎡)
Ⓐ	1階	10.80 × 5.70	61.5600
建築面積			61.56

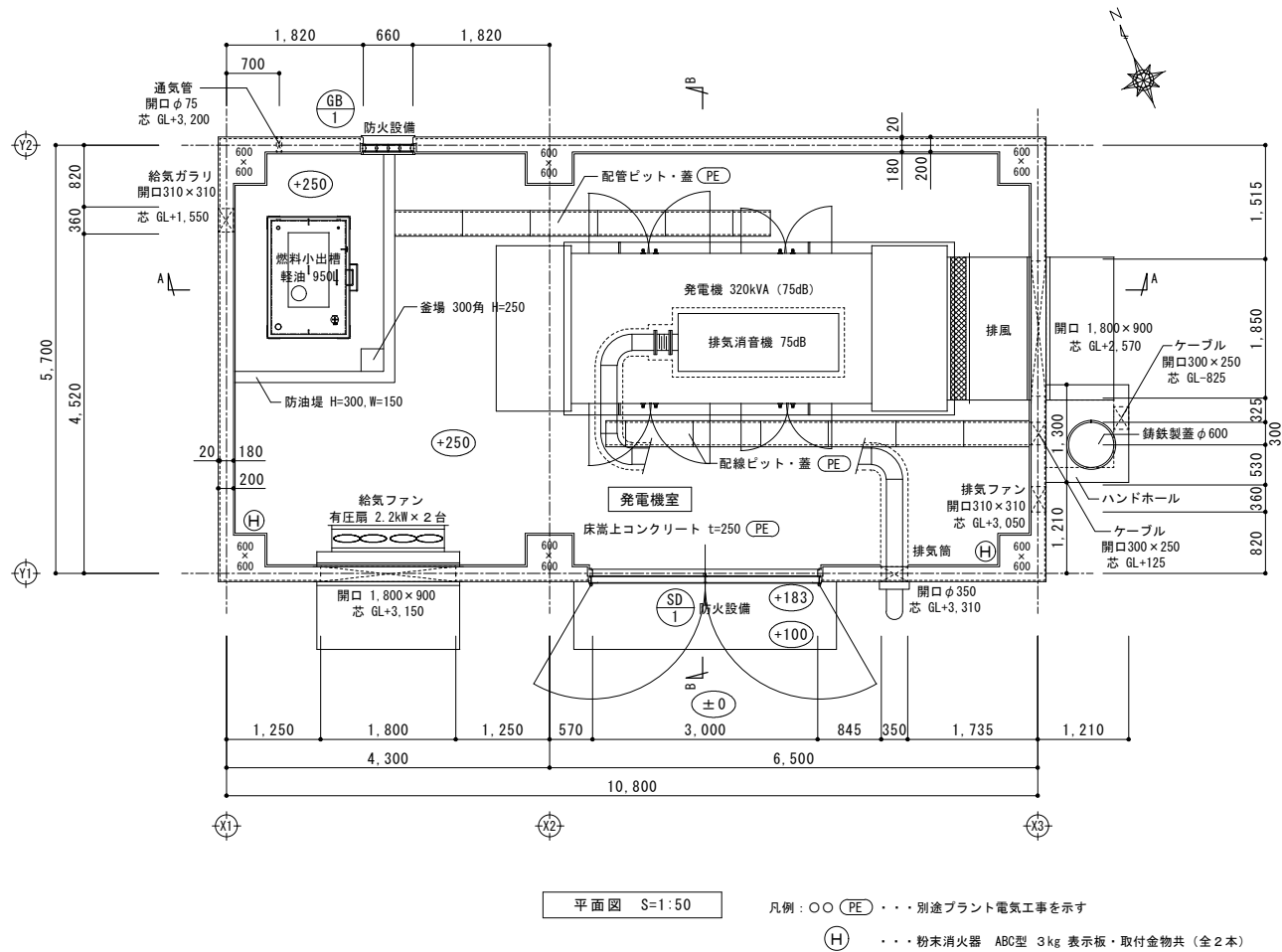
外部仕上表

部 位	仕 上
屋 根	ゴムアスファルト系ルーフィングシート フッ素樹脂塗装銅板横葺き t=0.4 雪止めアングル1段 L=50×50×4 垂鉛メッキ品 スラブコンクリートの上硬質木片セメント板 t=25下地
軒 天	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材RE
外 壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材RE
建 具	銅製フラッシュ戸、ステンレス製枠ガラスブロック窓
基 礎	コンクリート打放し仕上げ

内部仕上表

凡例：○ ○ (PE) ……別途プラント電気工事を示す

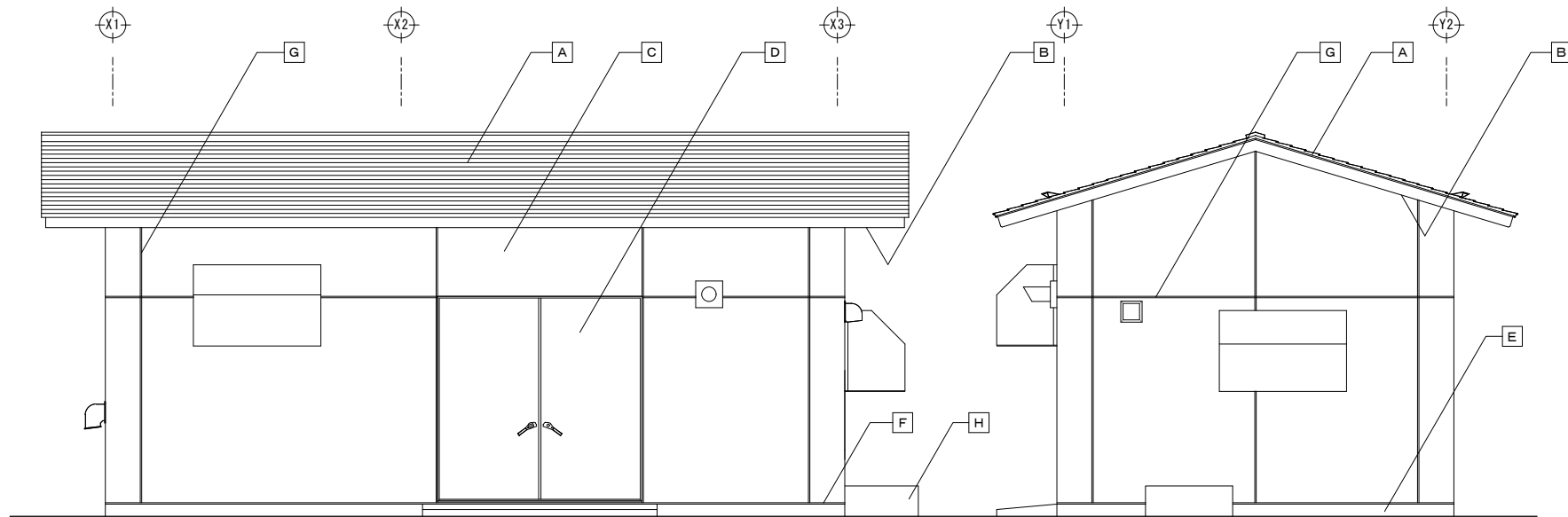
部 位	仕 上	備 考
床	嵩上げコンクリート t=250 金ゴテ押えの上エポキシ樹脂塗床 (PE) 溶接金網φ6 100×100 (PE)	配管・配線ビッド蓋 CPL-4.5 (PE)
防油堤内 (床・立上げ)	嵩上げコンクリート t=250 金ゴテ押えの上エポキシ樹脂塗床 (耐油性) (PE) 溶接金網φ6 100×100 (PE)	防油堤躯体 建築工事
巾木	壁立上りコンクリート打放し仕上げ H=300	
壁	グラスウール吸音材 t=25 ガラスクロス張り	柱型共
天井	グラスウール吸音材 t=25 ガラスクロス張り	梁型共



建具表 S=1:50

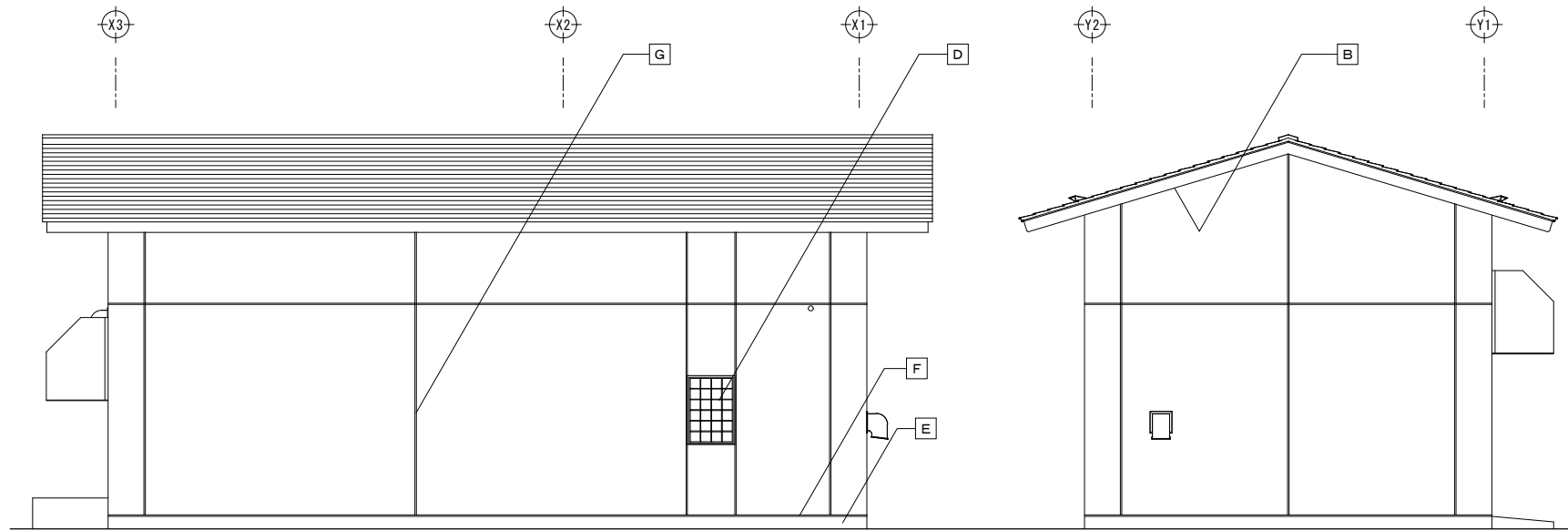
記号・数量	1ヶ所	1ヶ所
位 置	発電機室	発電機室
姿 図		
型 式	鋼製大型両開きフラッシュ戸 (防火設備)	ステンレス枠ガラスブロック窓 (防火設備)
見 込	扉 80 枠 190	100
材料・仕上	スチール垂鉛メッキ 耐候性塗料塗リDP1級	ステンレスHL
ガラス	—	ガラスブロック 145×145×95
付属金物	面付3点両面締りハンドル、シリンダー錠、大型戸当たり、丁番 (大型5管3枚)、DC (ストップなし)、順位調整器、上部SUS水切り、咨摺りSUS製	水切り
備 考	遮音等級 T-2 (扉内ロックウール充填150kg/m3)	目地：防水モルタル 外周目地：シーリング

事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事		
図 面 名 称	面積求積図、仕上表、平面図、建具表		
縮 尺	1:50 (A1)	図面番号	A-09
事業者	安 曇 野 市		26



南側立面図 S=1:50

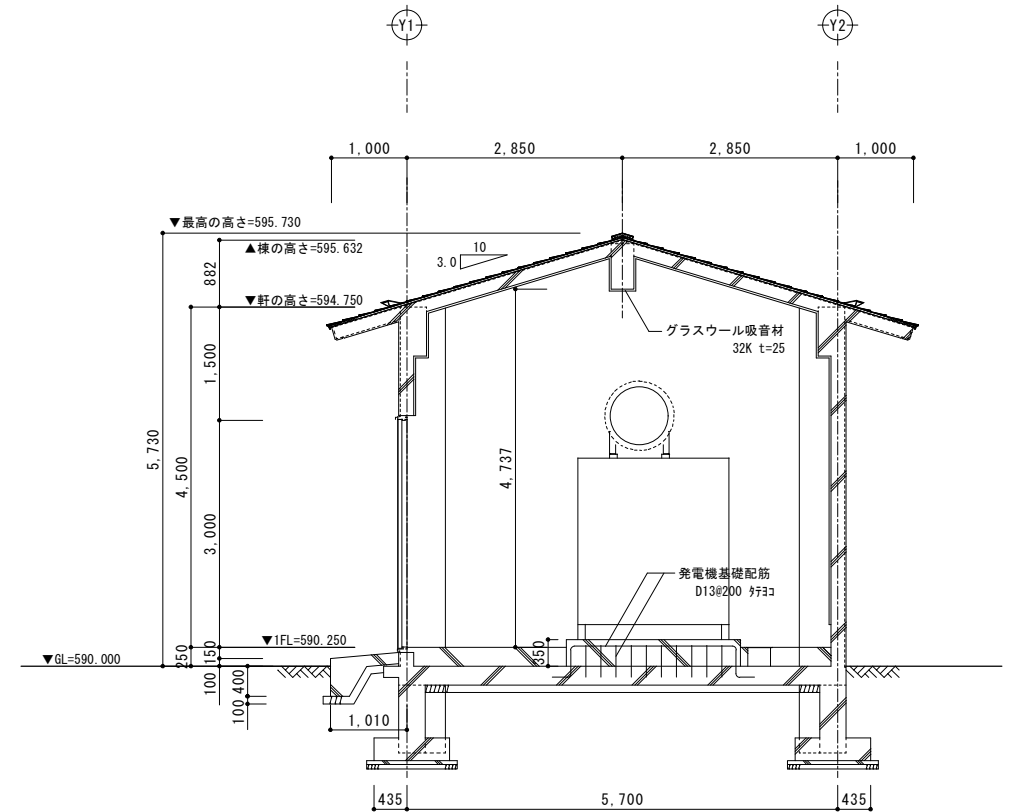
東側立面図 S=1:50



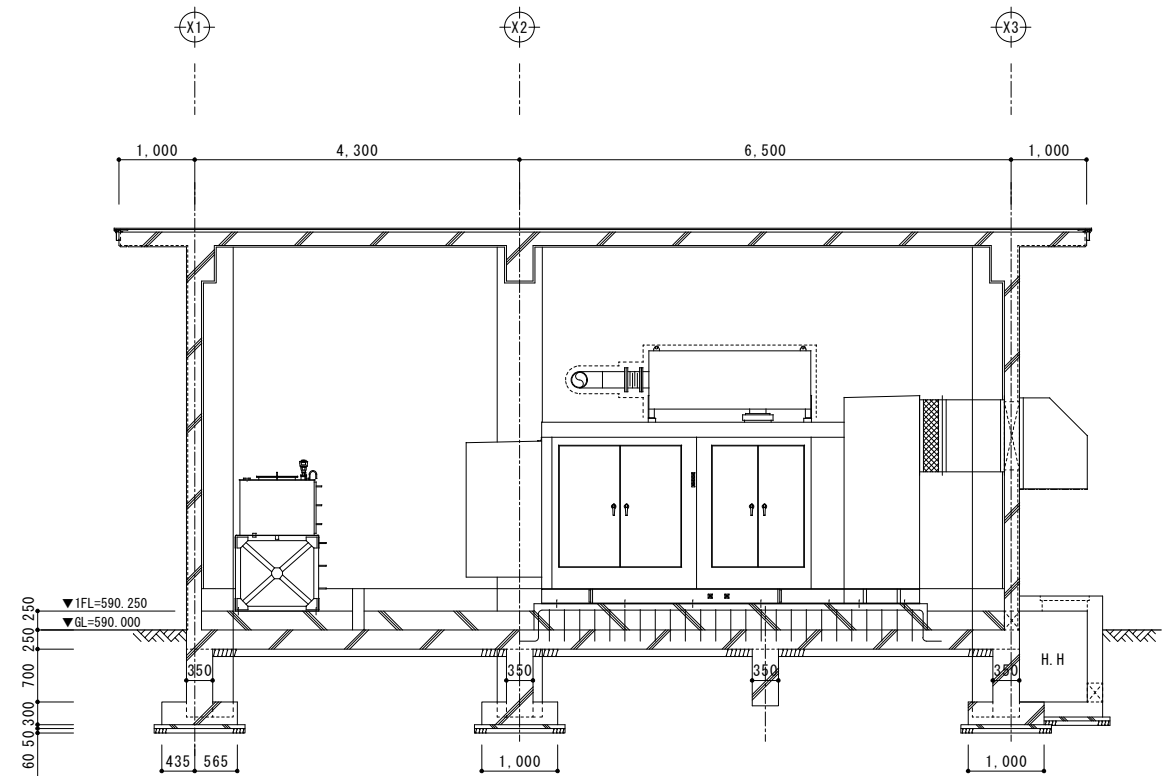
北側立面図 S=1:50

西側立面図 S=1:50

記号	部 位	外 部 仕 上
A	屋 根	フッ素樹脂塗装鋼板横葺き t=0.4 雪止めアングル1段
B	軒 天	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材RE
C	外 壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材RE
D	建 具	鋼製フラッシュ戸、ステンレス製枠ガラスブロック窓
E	基 礎	コンクリート打放し仕上げ
F	打継目地	20×15×D15 PS-2シーリング
G	誘発目地	20×15×D15 PU-2シーリング
H	ハンドホール	コンクリート打放し仕上げ

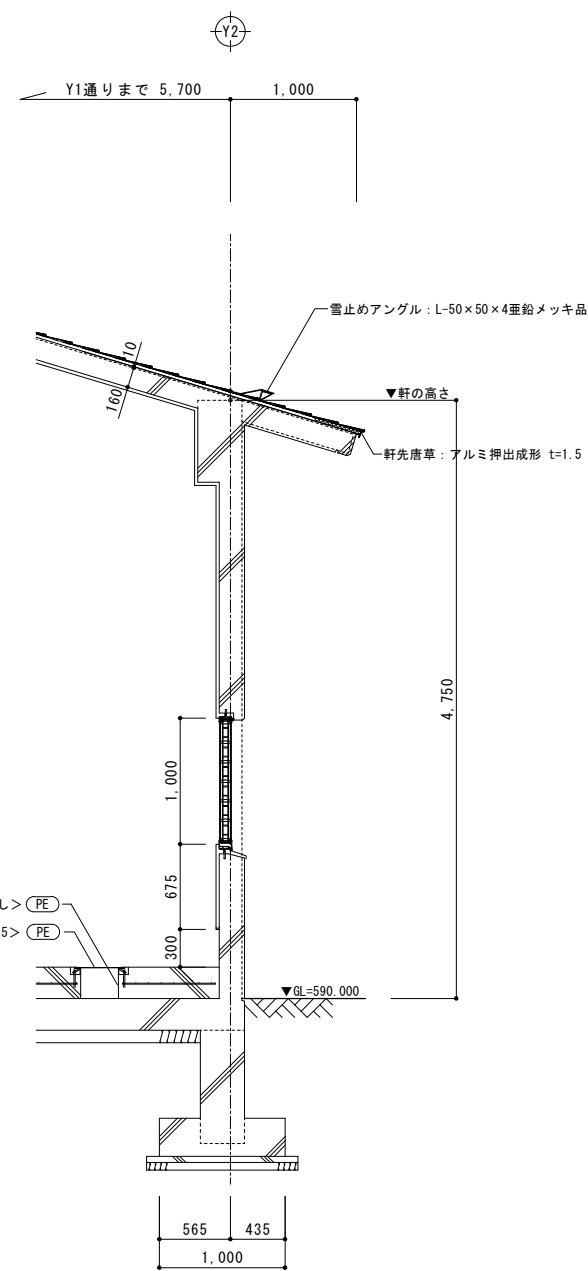
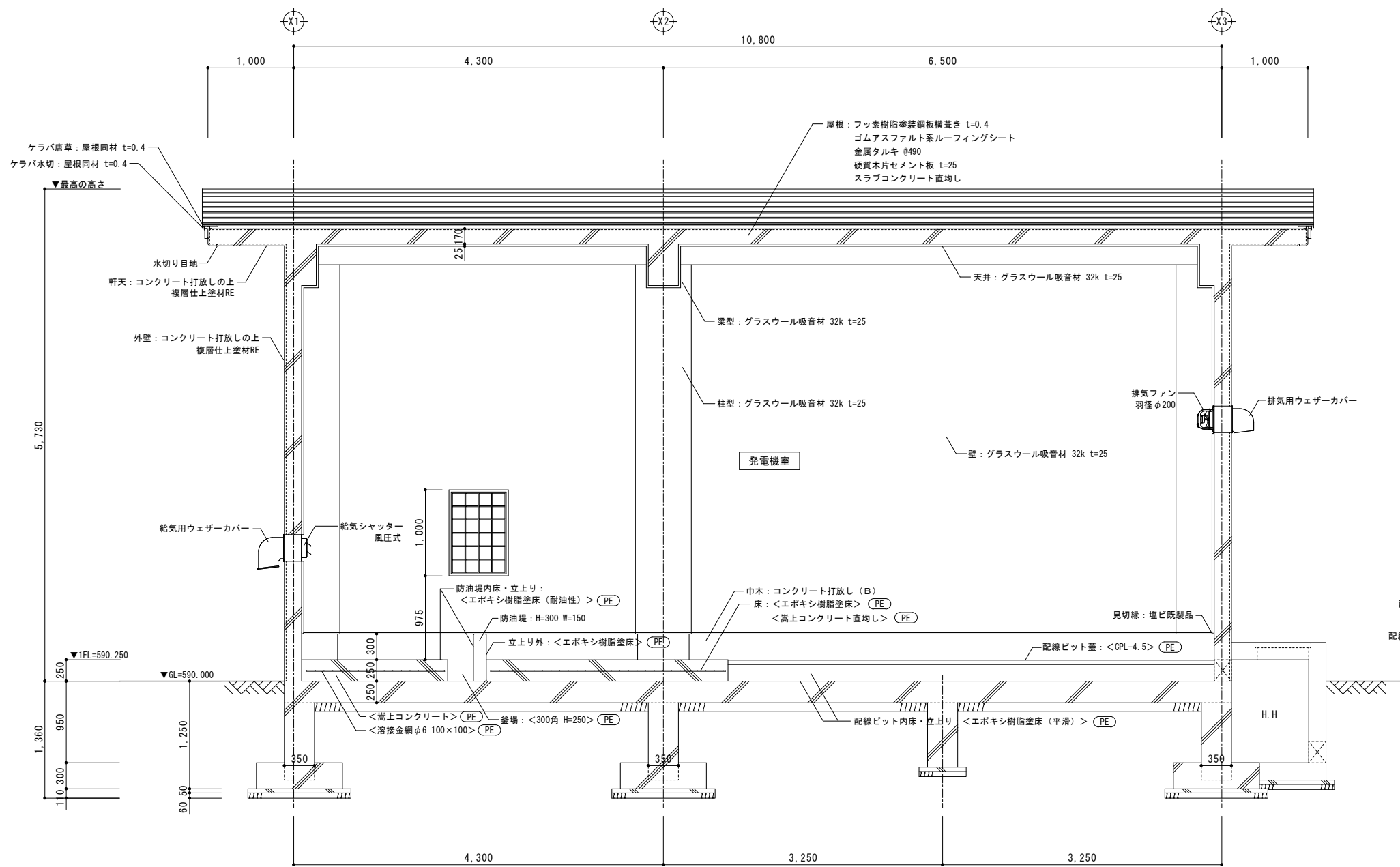


A-A断面図 S=1:50



B-B断面図 S=1:50

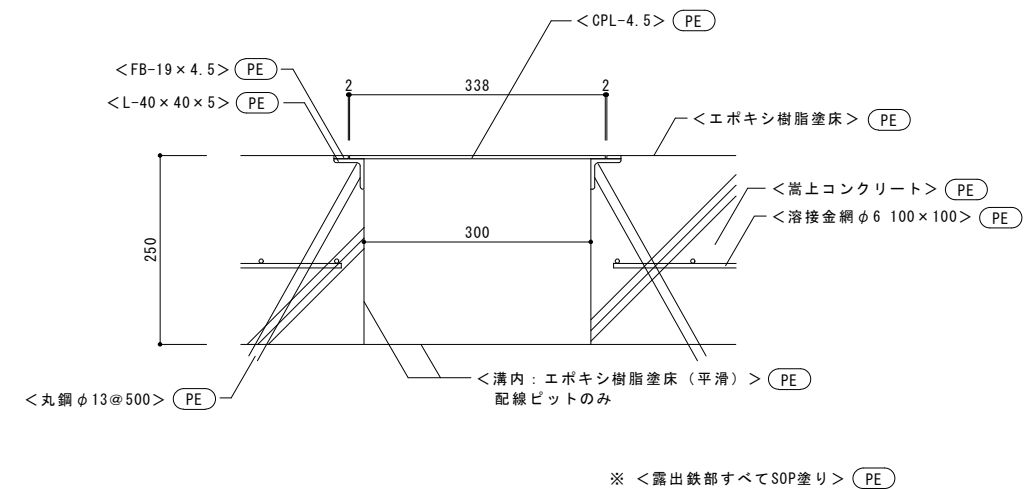
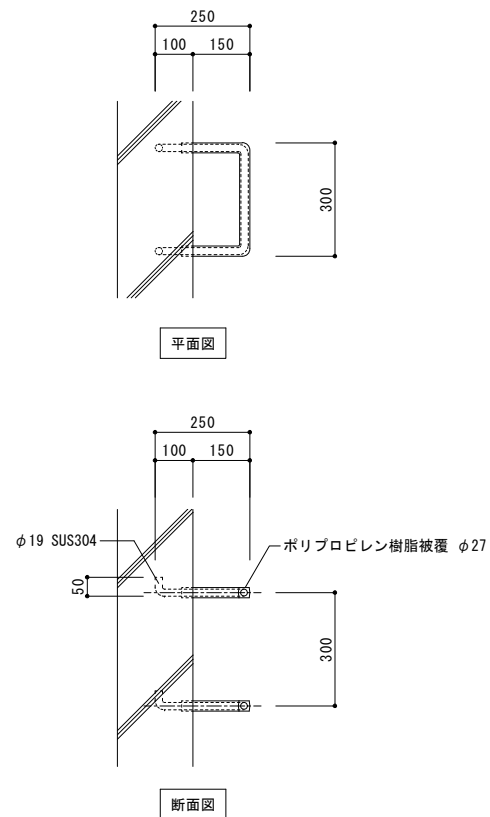
事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図 面 名 称	立面図、断面図		
縮 尺	1:50 (A1)	図面番号	A-10
事業者	安 曇 野 市		26



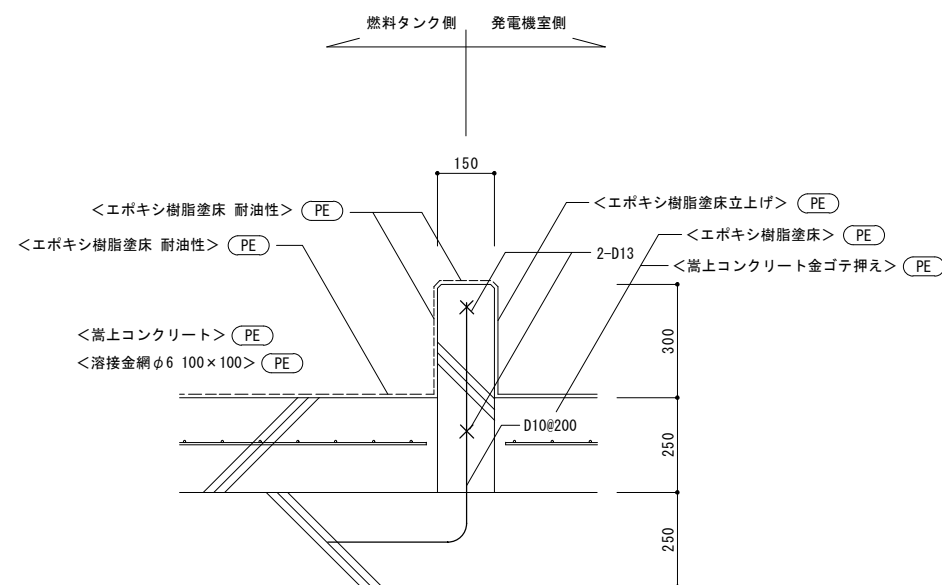
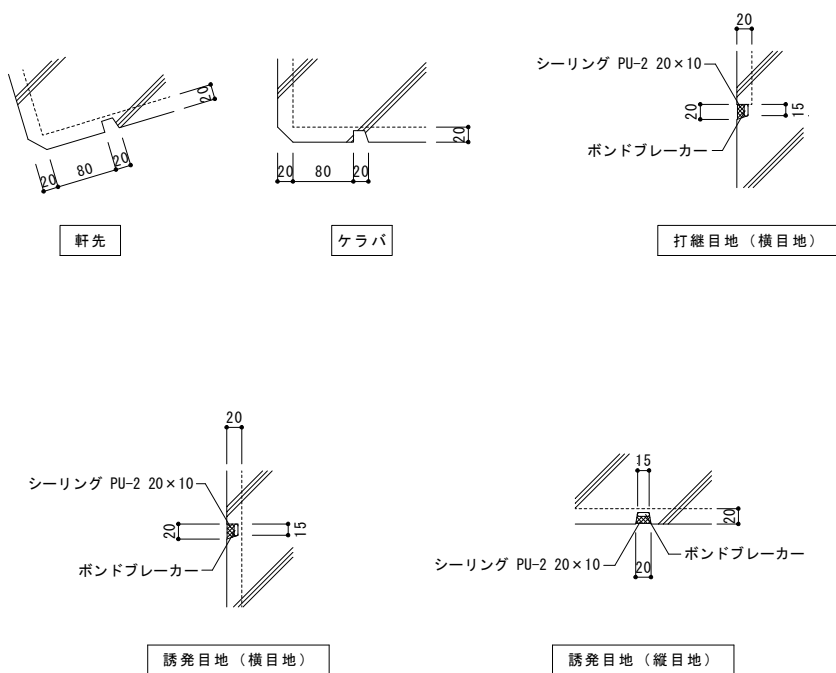
矩計図 S=1:30

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	矩計図		
縮尺	1:30 (A1)	図面番号	A-11
事業者	安曇野市		26

配管・配線ピット蓋 S = 1 : 5

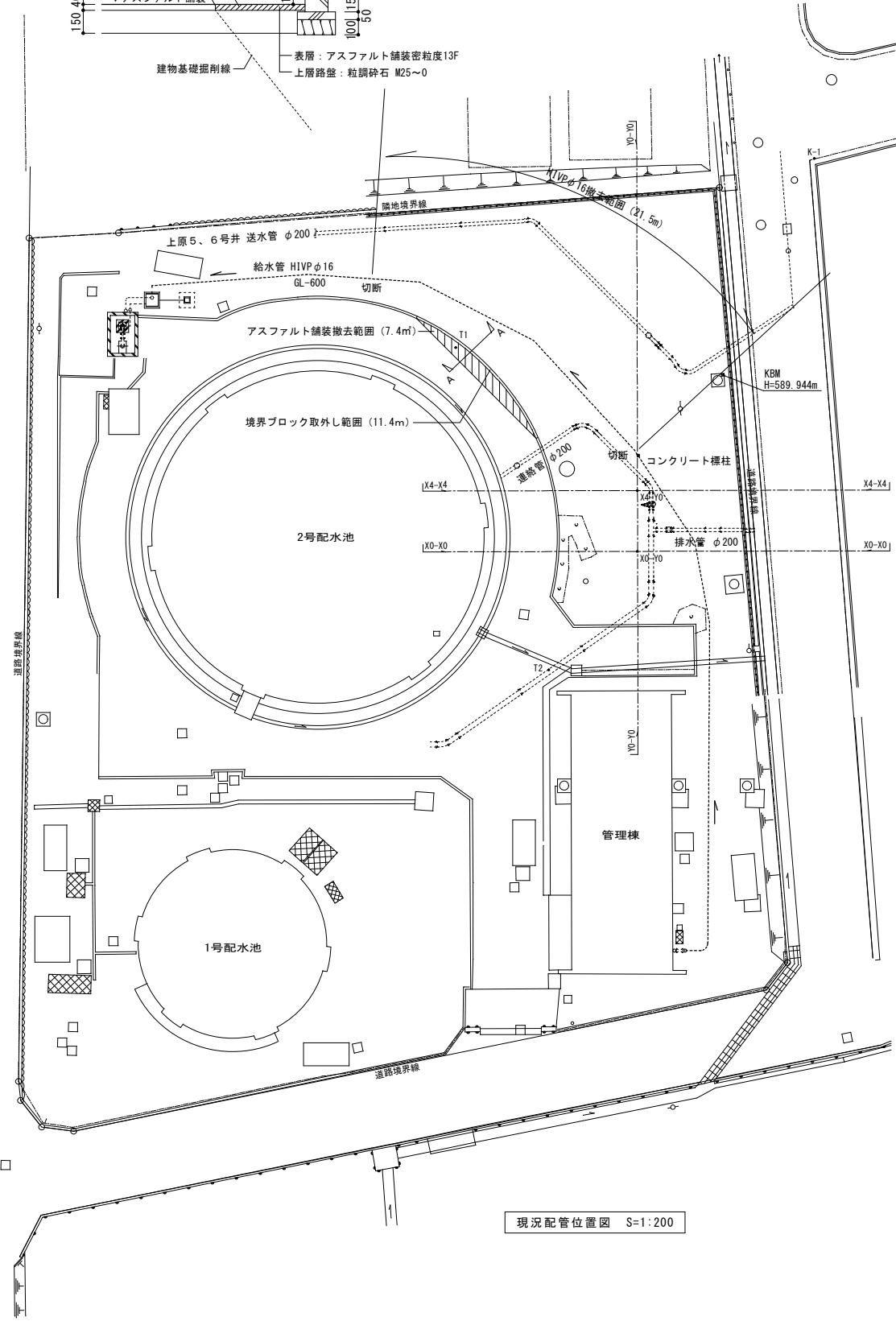
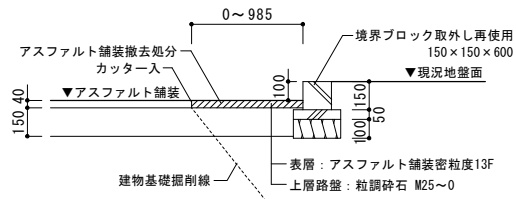


防油堤 $S = 1 : 1.0$



事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事		
図面名称	部分詳細図		
縮尺	1:5、10、20 (A1)	図面番号	A-12
事業者	安 曇 野 市		26

A-A断面図 S=1:20



現況配管位置図 S=1:200

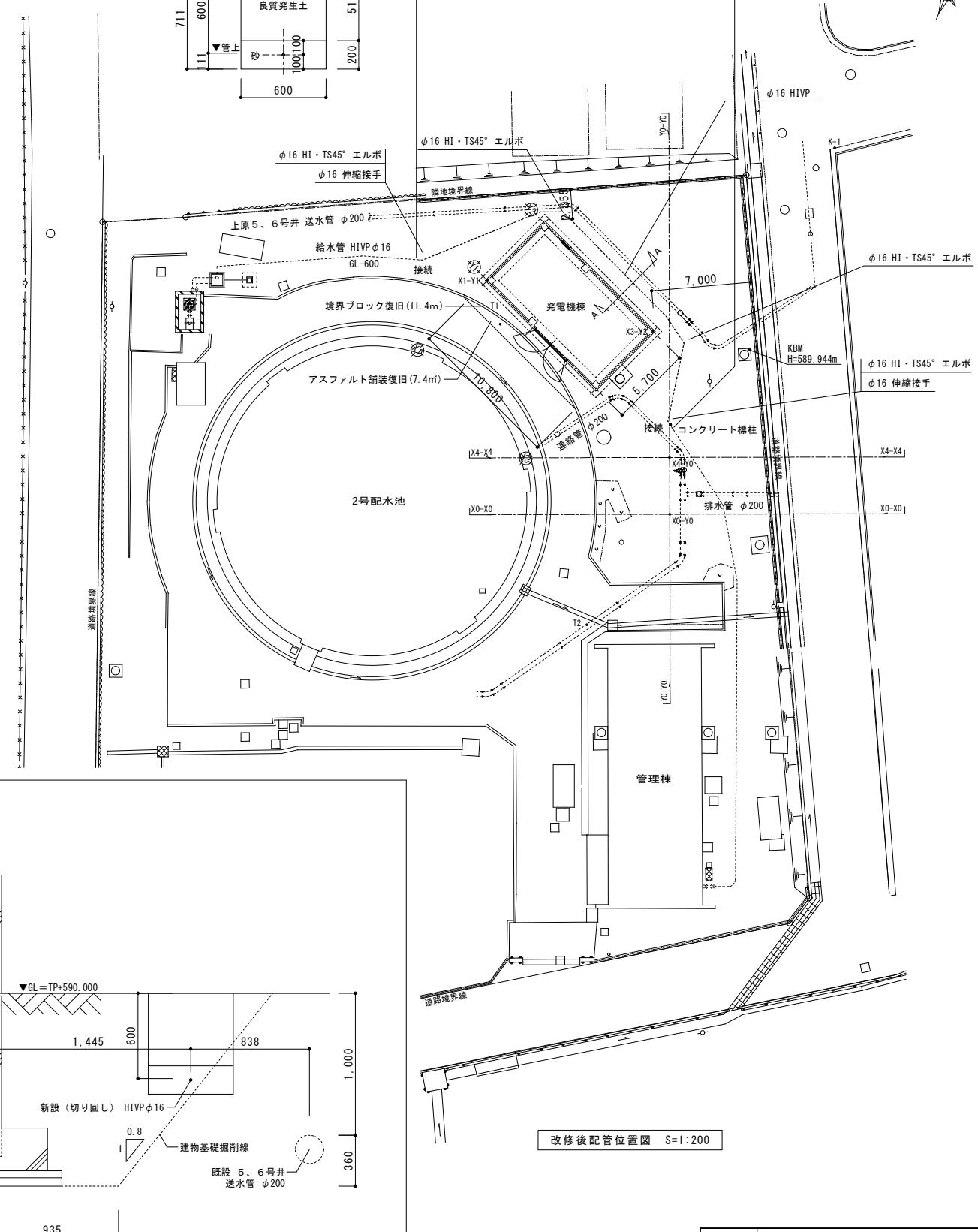
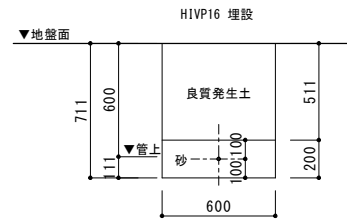
基準点座標一覧表		
測点名	X	Y
K-1	36893.773	-57457.137
T1	36873.356	-57474.279
T2	36856.052	-57460.619

世界測地系(測地成果2011)

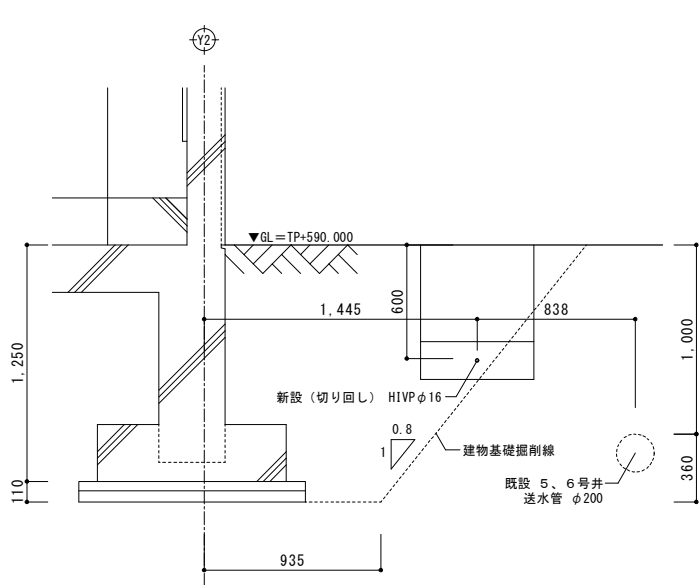
中心線座標一覧表		
測点名	X	Y
X0-Y0	36865.457	-57458.155
X4-Y0	36869.158	-57459.614

通り芯座標一覧表		
測点名	X	Y
X1-Y1	36875.877	-57476.275
X3-Y2	36876.943	-57464.110

標準断面図 S=1:20



改修後配管位置図 S=1:200



A-A断面図 S=1:20

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	配管切り直し図		
縮尺	1:20、200 (A1)	図面番号	A-13
事業者	安曇野市		26

構 造 特 記 仕 様 書				2 0 2 4 年 度 版																
§ 1 一般事項																				
選択項目は ○ 印を適用し、○ 印が無い場合は ※ 印を適用する。 ○ 印が複数ある場合は、共に適用する。																				
1-1	使用材料は原則としてJIS規格適合品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。																			
1-2	設計図書の優先順位は下記による。																			
1)本特記仕様書																				
2)設計図																				
3)標準図	○ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 鉄骨工作標準図 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図 高強度せん断補強施工仕様書 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図																			
4)仕様書	(○ 公共建築協会 ※日本建築学会)																			
5)日本建築学会標準仕様書	JASS5 2018年、 JASS6 (2018年)																			
1-3	各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。																			
1-4	構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。 第三者機関による検査・試験費用は工事費に (※含む ・ 含まない)																			
1-5	設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。																			
1-6	梁貫通位置、径、及び箇所数は (・ 意匠図 ・ 構造図 ※設備図) による。																			
1-7	その他																			
§ 2 構造計算ルート																				
2-1	<table><tr><th>方 向</th><th colspan="4">構造計算ルート</th></tr><tr><td>X</td><td>○ルート1</td><td>・ ルート2</td><td>・ ルート3</td><td>・</td></tr><tr><td>Y</td><td>○ルート1</td><td>・ ルート2</td><td>・ ルート3</td><td>・</td></tr></table>					方 向	構造計算ルート				X	○ルート1	・ ルート2	・ ルート3	・	Y	○ルート1	・ ルート2	・ ルート3	・
方 向	構造計算ルート																			
X	○ルート1	・ ルート2	・ ルート3	・																
Y	○ルート1	・ ルート2	・ ルート3	・																
2-2	鉄筋の継手(定着については設計図若しくは標準図による) 構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ ◎ 建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定 ◎ 日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2010) ◎ 日本建築学会 RC規準2018 XY両方向ルルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。																			
§ 3 仮設工事、土工事																				
3-1	山留め、根切り																			
3-2	埋戻し土、盛土、残土処分 埋戻し土 ◎ 根切り土の中の良土 ・ 搬入良土(埋戻し土は30cm毎に転圧締固めを行うこと) 盛土 ◎ 根切り土の中の良土 ・ 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと) 残土処分 ・ 場内地均し ◎ 場外搬出処分 ◎ 自由 ・ 指定場所)																			
§ 4 地業工事																				
4-1	基礎及びスラブ下地業 (単位mm)																			
場 所		注1)		厚 さ																
		捨てコンクリート厚さ	A : 砕 石 B : 割栗石																	
基 礎	独立、布	◎ 50 ・ 60 ・ 100	◎ A ・ B	◎ 60 ・ 100 ・ 150 ・																
	ベ タ	◎ 50 ・ 60 ・ 100	◎ A ・ B	◎ 60 ・ 100 ・ 150 ・																
基 礎 梁		◎ 50 ・ 60 ・ 100	◎ A ・ B	◎ 60 ・ 100 ・ 150 ・																
土間スラブ		◎ 50 ・ 60 ・ 100	◎ A ・ B	◎ 60 ・ 100 ・ 150 ・																
土間コンクリート	屋内	※ 50 ・ 60 ・ 100	※ A ・ B	※ 60 ・ 100 ・ 150 ・																
	屋外	◎ 50 ・ 60 ・ 100	◎ A ・ B	・ 60 ◎ 100 ・ 150 ・																
注1). アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。 注2). 端部aは100以上とする。 																				
4-2	設計地耐力	長期 120 kN/m ²	短期 240 kN/m ²	終局	kN/m ²															
地耐力載荷試験		○ 行 う (1箇所,長期設計耐力の3倍を確認する)		※ 行わない																
4-3 地盤改良 ・ 無筋コンクリート地業 絆固め工法 ・ ソイルセメント杭 ・ セメント系固化材攪拌 圧密排水工法 ・ [・ 載荷試験 ・ 一軸圧縮試験 ・ 行 う (箇所) ※ 行わない [・ 六価クロム溶出試験 ・ 行 う ※ 行わない																				
4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭																				
1)杭種																				
・ PHC杭		・ A種	・ B種	・ C種	・															
・ ST杭		・ A種	・ B種	・ C種	・															
・ SC杭 t mm		・	・	・	・															
・ PRC杭		・ I 種	・ II 種	・ III 種	・ IV 種															
・ 節杭		・ A種	・ B種	・ C種	・															
・ 鋼管杭																				
2)工法																				
・ 打撃工法		・ 油圧ハンマー	・ ディーゼルハンマー																	
・ 埋込み工法		・ プレボーリングセメントミルク注入工法																		
		・ プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)																		
		杭周固定液		※ あり	・ なし															
		・ 中掘拡大根固め工法(認定工法)																		
		・ 回転掘設根固め工法(認定工法)																		
		・ 回転杭工法																		
		先行掘削		※ あり	・ なし															

3)杭径、設計耐力、本数表

杭径(括底部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考
()					
()					
()					
()					

4)杭の構成は設計図による。

5)杭頭補強

・ かご筋

・ スタッド溶接

・ 杭外周溶接

~~4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭~~

1)工法

・ アースドリル工法

・ 掘底アースドリル工法

・ リバース工法

・ オールケーシング工法

(

・ ベント工法

・)

・ BH工法

・

2)杭径、設計耐力、本数表(括底部は施工径を示す)

杭径(括底部)mm	管厚 mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備 考
()						
()						
()						
()						
()						

3)杭先端深さ

・ GL- m

・ 杭リストによる

・ 杭伏図による

4)孔壁測定 (2方向)

※ 行 う (・ 全数 ・ %) ・ 行わない

5)使用材料

コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。

コンクリート

F_c (

・ 普通ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

)

鉄筋

・ D 以下 SD295

・ D 以上 SD345

・ D 以上 SD390

鋼管(リブ付)

・ SKK400

・ SKK490

~~4-6 杭打地業共通事項~~

1)[・ 試験杭 ・ 試験掘] ・ 行 う (本) ・ 行わない

2)載荷試験

行 う (箇所,長期設計耐力の3倍を確認する)

※ 行わない

3)SL塗布

・ 行 う

※ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1

材種

種 類	径	継 手
◎SD295	D 16 以下	◎重ね継手 ●スパイラル ●工場溶接
◎SD345	D 19 以上	●重ね継手 ◎ガス圧接 ●溶接継手
●SD390	D 以上	※ ガス圧接 ●溶接継手 ●機械継手(級)
●SD490	D 以上	●ガス圧接 ※ 溶接継手 ●機械継手(級)
◎溶接金網		◎重ね継手
●高強度せん断補強筋	●1275級 ●785級 ●685級	P K U ●フック加工 ●スパイラル ●工場溶接

5-2

ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)

○抜き取り検査

●引張り試験(JISZ3120)

1検査ロットにつき ※ 3本 ●原則 柱・梁の径毎に3本

○超音波探傷試験(JISZ3062)

1検査ロットにつき ●30箇所 ●熱間押抜き試験

○不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。

1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

5-3

溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他、日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。

JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)

JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)

5-4

梁貫通補強

補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5

その他

基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として

●①一般 ○②地反力を受ける

●③上載荷重が大きい場合 とする。

梁の余長ℓの採用 大梁・小梁 ●D' (梁有効効) ※ 端部上下筋15d 中央上下筋20d ●設計図による

基礎梁 ●min(D' , L) ※ 端部上下筋15d 中央上下筋20d ●設計図による

鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。

コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。

コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1	レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019) 1)セメント ◎ 普通ポルトランドセメントJISR5210 ・ 高炉セメントB種 ・ 低熱ポルトランドセメントJISR5210 2)粗骨材 ・ 砂利 ◎ 砕石 ・ 高炉スラグ骨材 ・ 人工軽量骨材 ・ 再生骨材 最大径(mm) ◎ 20 ・ 25 ・ 40 3)設計基準強度 (N/mm ²) (使用区分は設計図の軸組図に示す) ○ 普通コンクリート ・ Fc18 ・ Fc21 ○ Fc24 ・ Fc27 ・ Fc30 ・ Fc ・ 軽量コンクリート(※ 1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 ※ 18.5 ・) ・ LFc18 ・ LFc21 ・ LFc24 ・ LFc27 ・ LFc30 ・ LFc
-----	--

4)土間コンクリート

○ Fc24

(ただし柱、壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)

5)捨てコンクリート

○ Fc18

6)防水押さえコンクリート

○ Fc18

・ LFc (気乾単位容積質量 ※ 18.5 ・)

7)かさ上げコンクリート

・ Fc

・ LFc (気乾単位容積質量 ※ 18.5 ・)

6-2

混和材

※ AE減水剤

・ 高性能AE減水剤

・ 躯体防水材

・ 膨張材

注1). 混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

6-3

箇 所	基礎、基礎梁、土間スラブ	一 般		備 考
スランブ	cm 15	18		
水セメント比	% 65以下	65以下		
単位水量	kg/m ³ 185以下	185以下		
単位セメント量	kg/m ³ 270以上	270以上		
空気量	% 4.5	4.5		

注2). スランブは特記なき限り施工者が決め監理者に報告する。

6-4

試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)

1)骨材

[

○ 塩分含有量

○ アルカリシリカ反応性

]

◎ 行 う

・ 行わない

2)フレッシュコンクリート

[

○ スランブ

○ 空気量

]

◎ 行 う

・ 行わない

3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験

◎ 行 う

・ 行わない

4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験

・ 行 う

◎ 行わない

5)マスコングリートのひび割れ照査(温度応力解析)

・ 行 う

◎ 行わない

6)単位水量測定

・ 行 う

○ 行わない

6-5

調査 (補正値は工事費に含む)

計画供用期間の級()は耐久設計基準強度Fd

・ 短期(18)

○ 標準(24)

・ 長期(30)

・ 超長期(36)

JASS5

2018年版による

調査管理強度 $F_m = \text{Max} (F_c, F_d) + S$

$S = 3 \sim 6$

材齢28日の調査強度Fは下記の両式を満足するものとする。

$F \geq F_m + 1.73\sigma$

$F \geq 0.85F_m + 3\sigma$

6-6

せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

	基礎、梁、列、柱、壁	スラブ下	梁 下
コンクリートの材齢による場合	15℃以上	3 日	17 日
	5℃以上	5 日	25 日
	0℃以上	8 日	28 日
圧縮試験による場合	5N/mm ²	注)0.85Fcまたは12N/mm ²	注)設計基準強度

注) かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全が確認されるまで。

6-7

住宅性能表示

劣化等級

・ 等級2

・ 等級3

劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)-かぶり厚さが変わる為、かぶりを訂正又は、設計図に明示する

6-8

Fc38を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別部特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

7-1

材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼 材 名	柱	通し ダイヤ	内 ダイヤ	大梁	ブレース	小梁 他
一般構造用圧延鋼材	・ SS400 ・						
溶接構造用圧延鋼材	・ SM400A ・ SM490A						
	・ SN400A ・						
建築構造用圧延鋼材	・ SN400B ・ SN490B						
	・ SN400C ・ SN490C						
一般構造用角形鋼管	・ STKR400 ・ STKR490						
冷間成形角形鋼管	・ BCR295 ・						
	・ BCP235 ・ BCP325						
熱間成形角形鋼管	・ SHC400B ・ SHC400C						
	・ SHC490B ・ SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	・ STK400 ・ STK490						
	・ STKN400 ・ STKN490						
一般構造用軽量形鋼	・ SSC400 ・						
建築構造用圧延棒鋼	・ SNR400						

7-2

高力ボルト

高 力 ボ ル ト の 種 類		使 用 箇 所
トルシア形高力ボルト	※ S10T	全般
JIS形高力ボルト	・ F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	・ F8T	母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	・ S14T	屋内環境

7-3

普通ボルト、アンカーボルト

1)材質

- ・ SS400
- ・ SS490 (M 以上)
- ・ ABR400
- ・ ABR490
- ・ ABM400
- ・ ABM490 (ABMはM24以上)

2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による)

- ・ 使用する
- ・ 使用しない

7-4

頭付きスタッド

径	長 さ (mm)	使 用 箇 所
16 φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150 ・	
19 φ	・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150 ・	
22 φ	・ 100 ・ 120 ・ 150 ・	

7-8	溶接手法及び管理	
1)	使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。	
2)	完全溶け込み溶接はA種検定の有資格者が行うとする指定を	行う
3)	本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を	行う
	但し、代替タブのA種検定有資格者は技量検定付加試験を免除する。	行わない
7-9	デッキプレート (単位 mm)	
1)	床用	高さ
2)	合成スラブ用	高さ
3)	型枠用	高さ
4)	防錆処理	プライマー
		亜鉛メッキ
		Z12
		Z27
7-10	塗装(工場塗 ※ 2回	
1)	素地調整	※ ケレン
2)	下塗り用塗料	※ プラスト
	※ 1回、現場タッチアップ程度とする)	
	※ 1種 ※ 2種	
	※ 30 μm	
	※ 30 μm	
	※ 40 μm	
	※ 15 μm	
	※ 30 μm	
3)	熔融亜鉛メッキ	行う
4)	常温亜鉛メッキ	行う
5)	高耐食メッキ鋼板 (t3.2mm以下)	用いる
		用いない
7-11	溶接部の検査(受入検査) ※ 行う	
1)	受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。	
2)	第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるC種検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。	
3)	受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。	
4)	外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6 鉄骨精度検査基準」の限界許容値による。	
5)	超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2018により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。	
6)	溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。	
7)	受入検査の抜き取り方法及び抜き取り率は以下による。	
a)	工場溶接の場合	
i.	検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。	
ii.	抜き取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。	
iii.	大きく30箇所のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30箇所のサンプルを抜き検査する。総計60箇所のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。	
b)	現場溶接の場合	
i.	全数検査とする。	
8)	検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。	
9)	ずれ・食違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。	
7-12	鉄骨製作工場 下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと	
	国土交通省大臣認定(グレード)	
	S	H
	M	R
	J	
§8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事	
8-1	コンクリートブロック	
1)	種類	A 種
2)	厚さ mm	100
		120
		150
		190
8-2	ALC パネル	
1)	使用箇所	床
2)	厚さ mm	75(80)
		100
		120(125)
		150
		175
3)	外壁取り付け構法	
	方 向	構 法
	縦	ロッキング構法
	横	アンカー構法
8-3	押出成形セメント板	
	外壁取付構法及び厚さ mm	
	方 向	構 法
	縦	ロッキング構法
	横	スライド構法
8-4	PCa板	
1)	床及び屋根	床
		屋根
	PCa板単体 厚さ mm	
	合成板	
	PCa板厚さ mm	現場打厚さ mm
	合計厚さ mm	備 考
2)	外壁 厚さ mm	
2022年2月1日作成 (不許複製)		

事業名	令和7年度 上原水源地区非常用発電機室建設工事		
図 面 名 称	構造特記仕様書		
縮 尺	Non	図面番号	S-01
事業者	安 曇 野 市	26	

構造細目共通図（建築構造物）				
＜ 令和4年版 ＞				
※本図面は（一社）全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。 使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。 枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。				
1 特記事項				
1. 1 適用範囲				
(1) 本構造細目共通図は下水道施設における処理場、ポンプ場の建築構造物に適用する。 (2) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、 これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。				
1) 建築工事特記仕様書	(別紙による。)			
2) 建築改修工事特記仕様書	(別紙による。)			
3) 建築工事一般仕様書	(令和 4 年版)			
4) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）	国土交通省大臣官房官庁営繕部 (令和 4 年版)			
5) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）	国土交通省大臣官房官庁営繕部 (令和 4 年版)			
(3) 項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。				
1. 2 鉄筋の仕様				
鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。				
1. 1表 鉄筋の種類及び継手				
鉄筋の種類	種 別	径		
鉄筋の種類	SD 295	※D16以下		
	SD 345	※D19以上		
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外		
	ガス圧接	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋		
	機械式継手	※図示による。		
1. 3 コンクリートの仕様				
コンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。				
1. 2表 コンクリートの仕様				
分 類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	セメントの種類
鉄筋コンクリート	地上	※普通コンクリート	※18	※普通ポルトランドセメント
	地下 基礎、基礎梁	※普通コンクリート	※15	※普通ポルトランドセメント
無筋コンクリート	※普通コンクリート	※18	※15	※ 普通ポルトランドセメント
注1：無筋コンクリートには捨てコンクリートを含む。				
1. 4 砕石及び捨てコンクリート				
砕石及び捨てコンクリートの厚さは、特記がなければ1. 3表による。				
1. 3表 砕石及び捨てコンクリートの仕様				
種 別	厚さ (mm)			
砂利または砕石	※ 60			
捨てコンクリート	※ 50			

2 共通事項								
2. 1 記号及び符号								
設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1表及び2. 2表を標準とする。								
2. 1表 鉄筋の断面表示								
径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記 号	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊕
2. 2表 一般凡例								
記 号・符 号	内 容	※印の説明及び注意事項						
F※	フーチング断面種別	※ 番号						
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号						
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1、2、3 - - - Y方向A、B、C - - -						
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く						
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない						
※1W※2	壁配筋種別	※1 E：耐震壁、K：階段壁 D：土圧、水圧を受ける壁 ※2 階別区分はしない 壁厚 (cm)						
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別（英大文字） 階別区分はしない						
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A：片持床版形 B：二辺固定床版形 ※2 配筋種別（数字） 階別区分はしない						
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)						
	打ち増し範囲							
	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの十、一に応じた凡例により表示						
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m ²)						
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁						
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱						
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱						
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁						
組立筋	組立て筋	床版、底板						
2. 2 一般注意事項								
(1) 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。 変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。								

3 鉄筋の折曲げ加工				
鉄筋の折曲げ加工は、3. 1表を標準とする。				
(1) Dは、折曲げ内法直径を示す。				
(2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。				
3. 1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法（末端部）				
曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径（D）		使 用 箇 所
		SD295 SD345		
		D16以下	D19 ～D38	
180°		3d以上	4d以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	90° 幅止め筋
(注) 1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4d以上とする。 2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。				

4 異形鉄筋の末端部			
4. 1 フックを設ける位置			
異形鉄筋の末端部には、4. 1表によりフックを設ける。			
4. 1表 フックを設ける位置			
部 位	継手方式		備 考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	――	1) 最上階の柱頭部 4. 1図の●印 8. 1図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	――	1) 下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部 4. 1図の●印 8. 2図参照
	帯筋(HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 9. 1図参照
梁	あばら筋(STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 11. 1図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底盤筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 20. 1図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋	――	――	3. 1表参照
4. 1図 異形鉄筋の末端部			

5 鉄筋のかぶり及び間隔					
5. 1 かぶり厚さ					
かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋、組立筋を除く）の外面から躯体面までの距離（5. 1図）をいう。					
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。					
5. 2 最小かぶり厚さ					
最小かぶり厚さは、5. 1表による。					
(1) 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。					
(2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1. 5倍以上として最小かぶり厚さを定める。					
(3) 溶接金網にも適用する。					
5. 1表 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)					
塩害区分		※ 通常の施工の場合	・ 塩害対策を必要とする場合		
一 般	床、耐力壁以外の壁	30	40		
	柱、梁、耐力壁	40	50		
	底板	40	50		
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁 底板、基礎	40 60	50 70		
煙突等高熱を受ける部分		60	70		
1：打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。 2：杭基礎の場合の最小かぶり厚さは、杭天端からとし、「21 杭基礎の補強」を参照。 3：仕上なしの場合を標準とする。					
5. 3 鉄筋相互のあき及び間隔					
鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合のあきは図面による。					
(1) 粗骨材の最大寸法の1. 25倍					
(2) 最小のあき25mm					
(3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）の1. 5倍					
5. 2図 鉄筋相互のあき及び間隔					
5. 2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧					
鉄筋径 (mm)		鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋芯間隔
鉄筋径 d	最外径 D	(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	32mm 粗骨材最大径 25mm の場合	25mm	15mm	43mm
D13	14			20mm	46mm
D16	18			24mm	50mm
D19	21			29mm	53mm
D22	25			33mm	58mm
D25	28			38mm	66mm
D29	33			44mm	77mm

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事			
図 面 名 称	構造細目共通図（建築構造物）（1）			
縮 尺	Non	図面番号	S-02	
事業者	安 曇 野 市	26		

6 鉄筋の継手及び定着

6. 1 継手及び定着

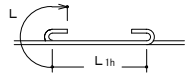
6. 1. 1 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、6. 1表による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6. 1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	24、27	35d	25d
	30	35d	25d
SD345	24、27	40d	30d
	30	35d	25d

- (注) 1. L₁、L_{1h}：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL_{1h}は、6. 1図に示すようにフック部分Lを含まない。



6. 1図

6. 1. 2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。

6. 1. 3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、6. 2表による。

6. 2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}	
				小梁	スラブ			小梁	スラブ
SD295	24、27	35d	30d	20d	10d かつ 150mm 以上	25d	20d	10d	—
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24、27	40d	35d			30d	25d		
	30	35d	30d			25d	20d		

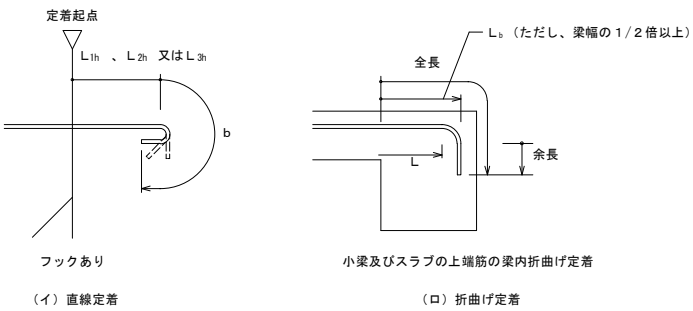
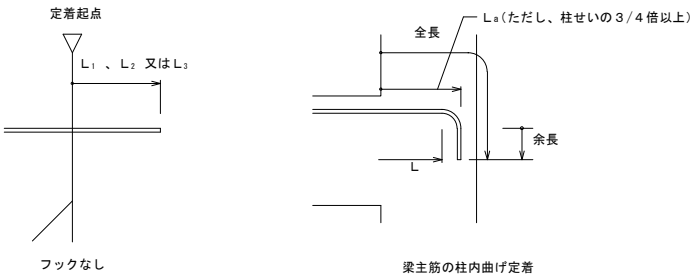
- (注) 1. L₁、L_{1h}：2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ
2. L₂、L_{2h}：割製破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L₃：小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ（基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く）
なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L_{3h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、6. 2図（イ）に示すようにフック部分bを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。

6. 1. 4 定着の方法

定着の方法は6. 2図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さLが、6. 2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6. 2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6. 3表に示す長さのみ込ませる。

- (注) 1. L_a、L_bは、6. 3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。
- ・梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上
 - ・小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅の1/2倍以上
 - ・スラブの梁内定着においては、原則として梁幅の1/2倍以上



6. 2図 定着の方法

6. 3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種 類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	24、27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24、27	20d	15d
	30	15d	15d

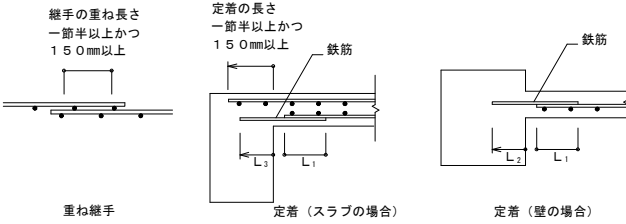
- (注) 1. L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ちスラブを含む。）
2. L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）

6. 2 隣り合う継手の位置及び定着

- (1) 隣り合う継ぎ手の位置は、6. 4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

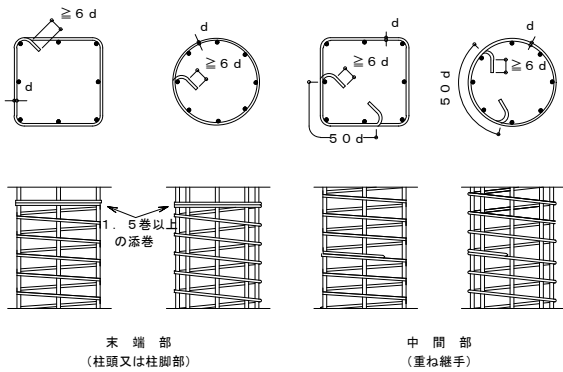
重 ね 継 手	フック有りの場合	6. 4表 隣り合う継手の位置	
		左側	右側
	フックなしの場合	左側	右側
		左側	右側
重 ね 継 手	フック有りの場合		
		a ≥ 0.5 L _{1h}	a ≥ 0.5 L _{1h}
重 ね 継 手	フックなしの場合		
		a ≥ 0.5 L ₁	a ≥ 0.5 L ₁
重 ね 継 手	フック有りの場合		
		a ≥ 400mm	a ≥ 400mm

- (2) 溶接金網の継手及び定着は、6. 3図による。



6. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3) スパイラル筋の継手及び定着



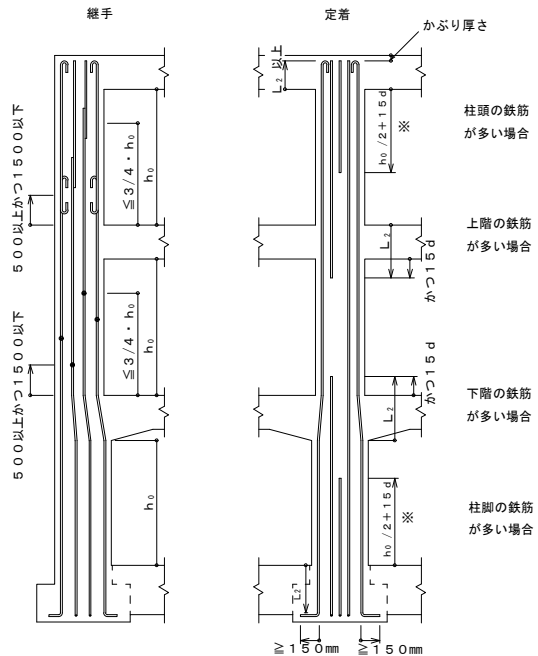
6. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 （欠番）

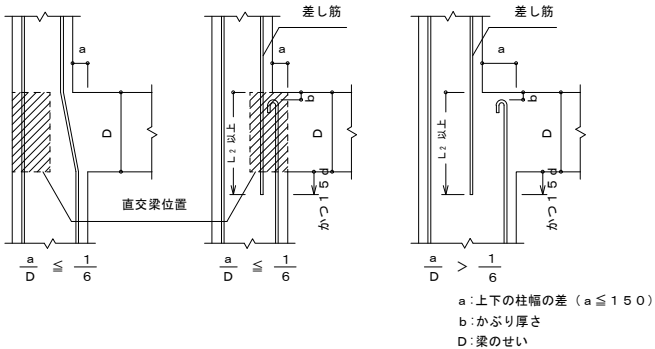
8 柱筋の継手及び定着

8. 1 一般事項

- (1) 継手長さはL₁とし、定着及び余長は、8. 1図による。
- (2) 柱頭定着長さL₂が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8. 2図による。
- (4) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ3/4h₀（h₀は柱の内法高さ）以下とする。
- (5) ※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



8. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

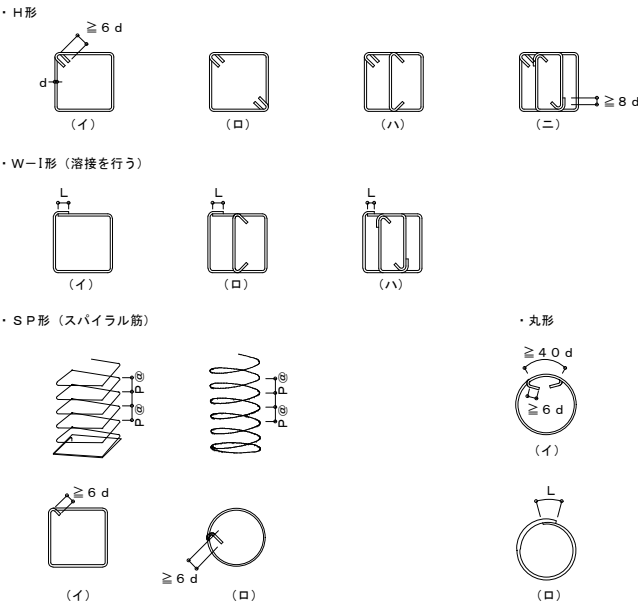


8. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9. 1 帯筋の形状

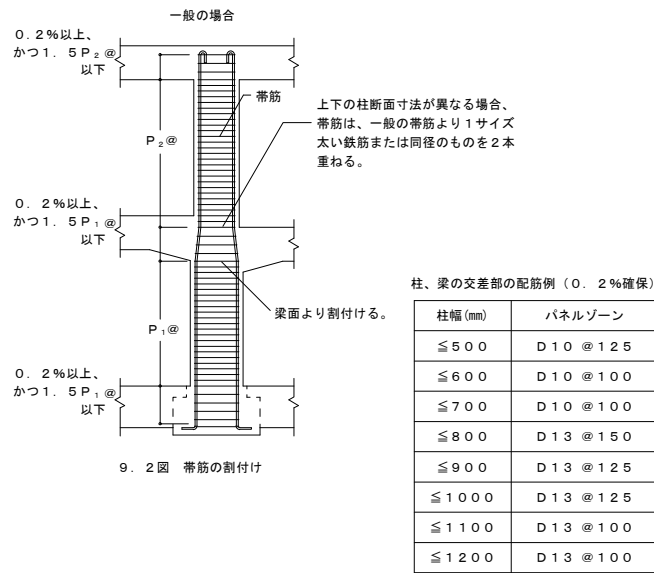
- (1) 帯筋の形状は、9. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
- (a) H形を標準とする。
- (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- (c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
- (d) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5巻以上の添巻きを行う。



9. 1図 帯筋組立の形

9. 2 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とする。
- (2) 帯筋の割付けは、9. 2図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- (3) 柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0. 2％以上を確保し、補強筋間隔 ≤ 1. 5 Pとする。

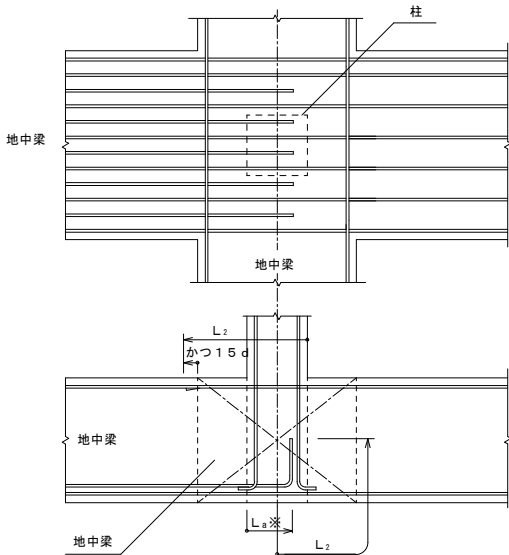


※ 1. 5 P₁、1. 5 P₂ のピッチは150mm以下とする。

事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事		
図 面 名 称	構造細目共通図（建築構造物）（2）		
縮 尺	Non	図面番号	S-03
事業者	安 雲 野 市		26

10 大梁筋の継手及び定着 10.1 大梁（基礎梁以外の大梁に限る）主筋の継手、定着及び余長 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。 ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、10.1図による。 10.1図 梁主筋の梁内定着 b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。 なお、定着の方法は、6.1.4による。 上端筋：曲げ下ろす。 下端筋：原則として曲げ上げる。 c. 段違い梁は10.2図による。 10.2図 段違い梁 吊上げ筋は、一般のあばら筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。	10.3 ハンチのある場合 (1) 最上階の場合 10.4図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階） (2) 一般階の場合 10.5図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階） (注) 1. 4. 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、==== のように引き通すことができる。 4. 破線は、梁内定着の場合を示す。 5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。 ※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。	11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋 11.1 一般事項 (1) 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。 (2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、L_2 とする。 (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。 (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10～1000mmピッチ程度とする。 11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置 (1) 形は、11.1図（イ）を標準とする。 ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。 a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ） b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ） (2) フックの位置 a. （イ）の場合は交互とする。 b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側。床版が両側に付く場合は交互。 c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。 d. （ホ）（ヘ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁） （イ） （ロ） （ハ） （ニ） 一般の場合（ホ） 重ね継手とする場合（ヘ） 11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置	12 基礎梁及び底版の継手及び定着 12.1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 (1) 一般事項 a. 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、12.1図による。 b. 梁筋を柱内に定着する場合は10.1（1）bによる。 12.1図 梁筋の基礎梁内への定着 (2) 独立基礎で基礎梁（スラブなどの上載荷重を受ける場合）の主筋の継手、定着及び余長 12.2図 主筋の継手、定着及び余長（その1） ガス圧接を例として示す は継手を設けてもよい位置を示す (3) 連続基礎及びべた基礎の基礎梁（基礎梁の下方より地反力（杭反力）を受ける場合）の主筋の継手、定着及び余長 12.3図 主筋の継手、定着及び余長（その2） ガス圧接を例として示す は継手を設けてもよい位置を示す <table><tr><td>事業名</td><td colspan="3">令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="3">構造細目共通図（建築構造物）（3）</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>Non</td><td>図面番号</td><td>S-04</td></tr><tr><td>事業者</td><td>安曇野市</td><td></td><td>26</td></tr></table>	事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事			図面名称	構造細目共通図（建築構造物）（3）			縮尺	Non	図面番号	S-04	事業者	安曇野市		26
事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事																		
図面名称	構造細目共通図（建築構造物）（3）																		
縮尺	Non	図面番号	S-04																
事業者	安曇野市		26																

- (4) 柱幅<梁幅の場合
- (a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。

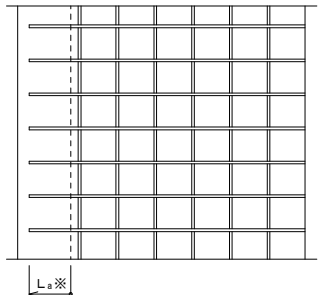


※ L₂の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいりの3/4倍以上とする。

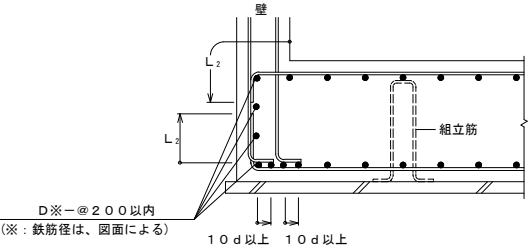
12.4図 主筋の継手、定着及び余長（その3）

12.4 梁形を設けない場合の基礎底版（オイルタンク等）

- (1) 定着の取り方は、壁の面からとする。
- (2) 途中で配筋が変わる場合の定着は、12.2図のように基礎底版筋を梁筋と読みかえる。

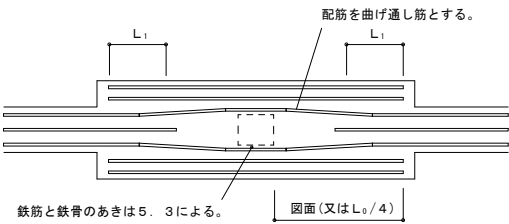


※ L₂の数値は、原則として、柱せいりの3/4倍以上とする。



12.5図 主筋の継手、定着及び余長（その4）

- (3) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



12.6図 主筋の継手、定着及び余長（その5）

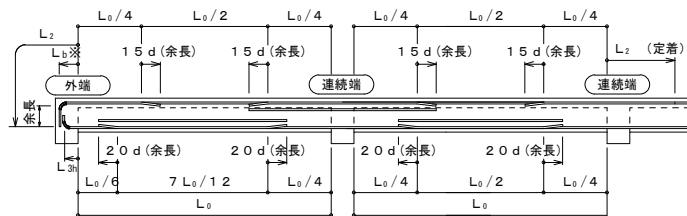
13 小梁及び片持梁の配筋要領

13.1 一般事項

- (1) 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- (2) 印は、継手及び余長を示す。

13.2 小梁

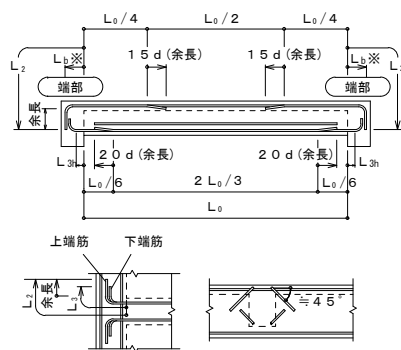
- (1) 連続小梁の場合



※ L₂の数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

- (2) 単独小梁の場合

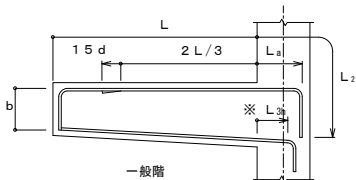


13.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
2. 梁内の定着筋において梁せいがか小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、10.1及び12.1に準ずる。
- ※ L₂の数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.3 片持梁筋の定着

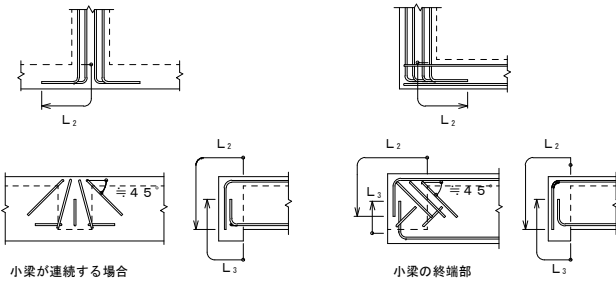
- (1) 先端に小梁のない場合
- a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



13.3図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

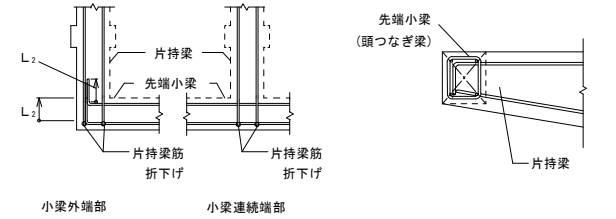
- (2) 先端に小梁がある場合

- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



小梁が連続する場合

小梁の終端部



小梁外端部

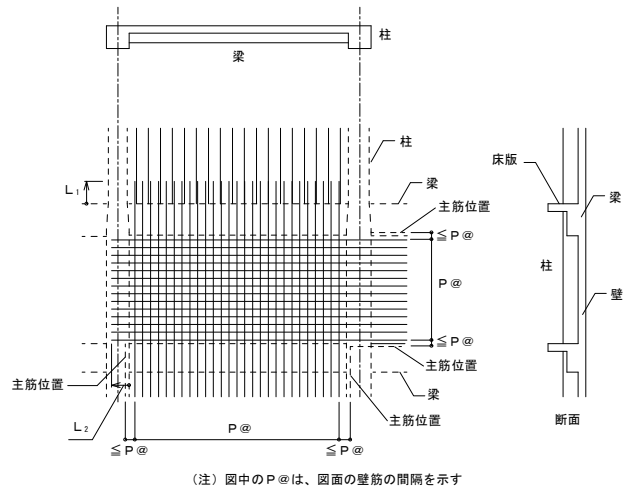
小梁連続端部

13.4図 片持梁主筋の定着

14 壁の配筋要領

14.1 一般事項

- (1) 一般壁配筋の重ね継手の長さはL₁とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。
- また、定着の長さは、L₂とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
- (2) 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- (3) 打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。
- (4) 土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



(注) 図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す

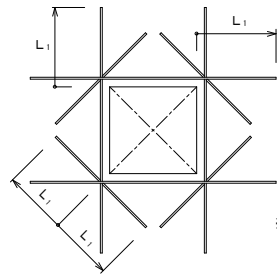
14.1図 壁の配筋

14.2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- (2) やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

14.3 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、14.3図を標準とする。



※：鉄筋径及び本数は、図面による

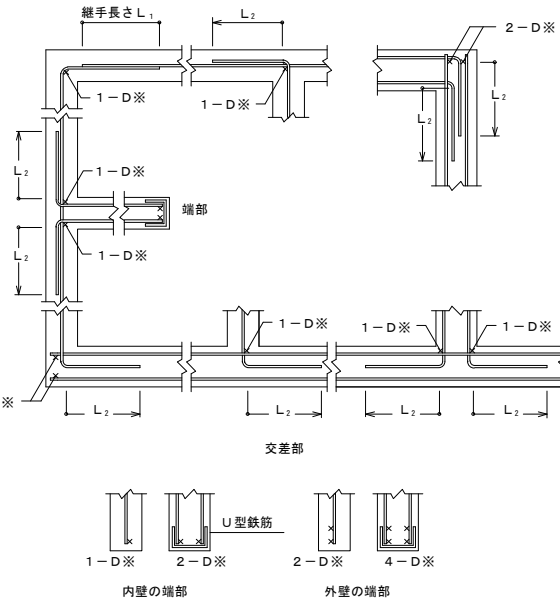
14.3図 壁開口部の補強の定着長さ

- (2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

14.4 壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、14.4図による。

- a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
- b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

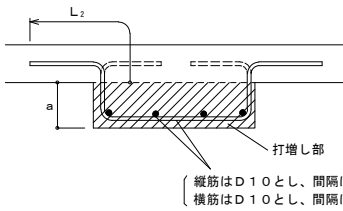


14.4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」（日本建築学会）に基づき図面による。

14.5 壁の打増し要領

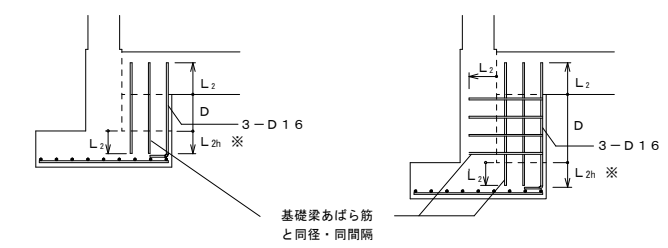
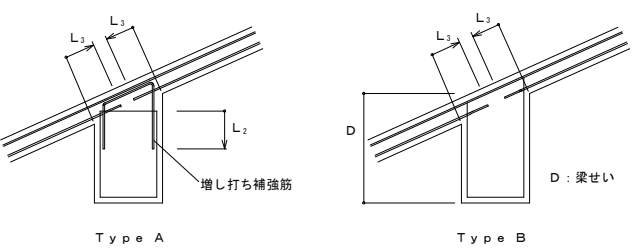
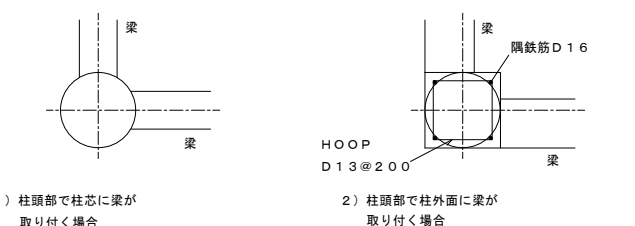
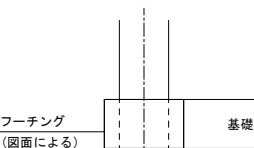
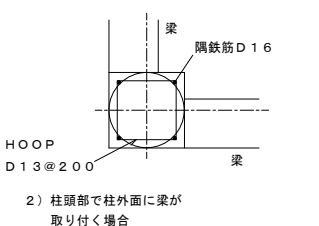
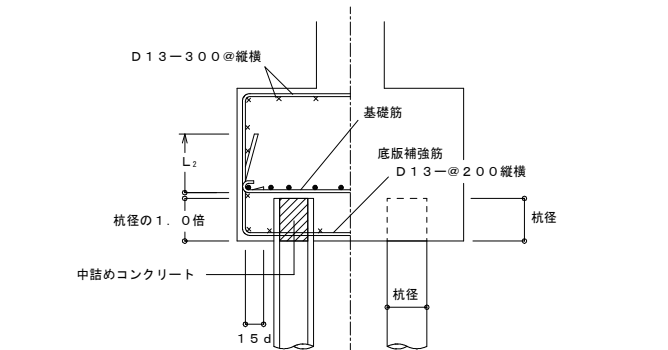
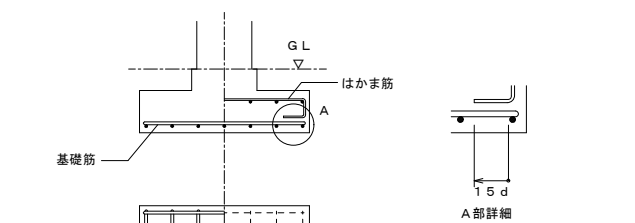
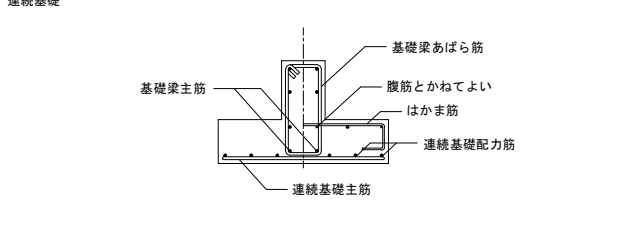
- コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14.5図による。
- 打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。
- 200mmを超える場合は、特記による。



14.5図 壁の打増し補強配筋

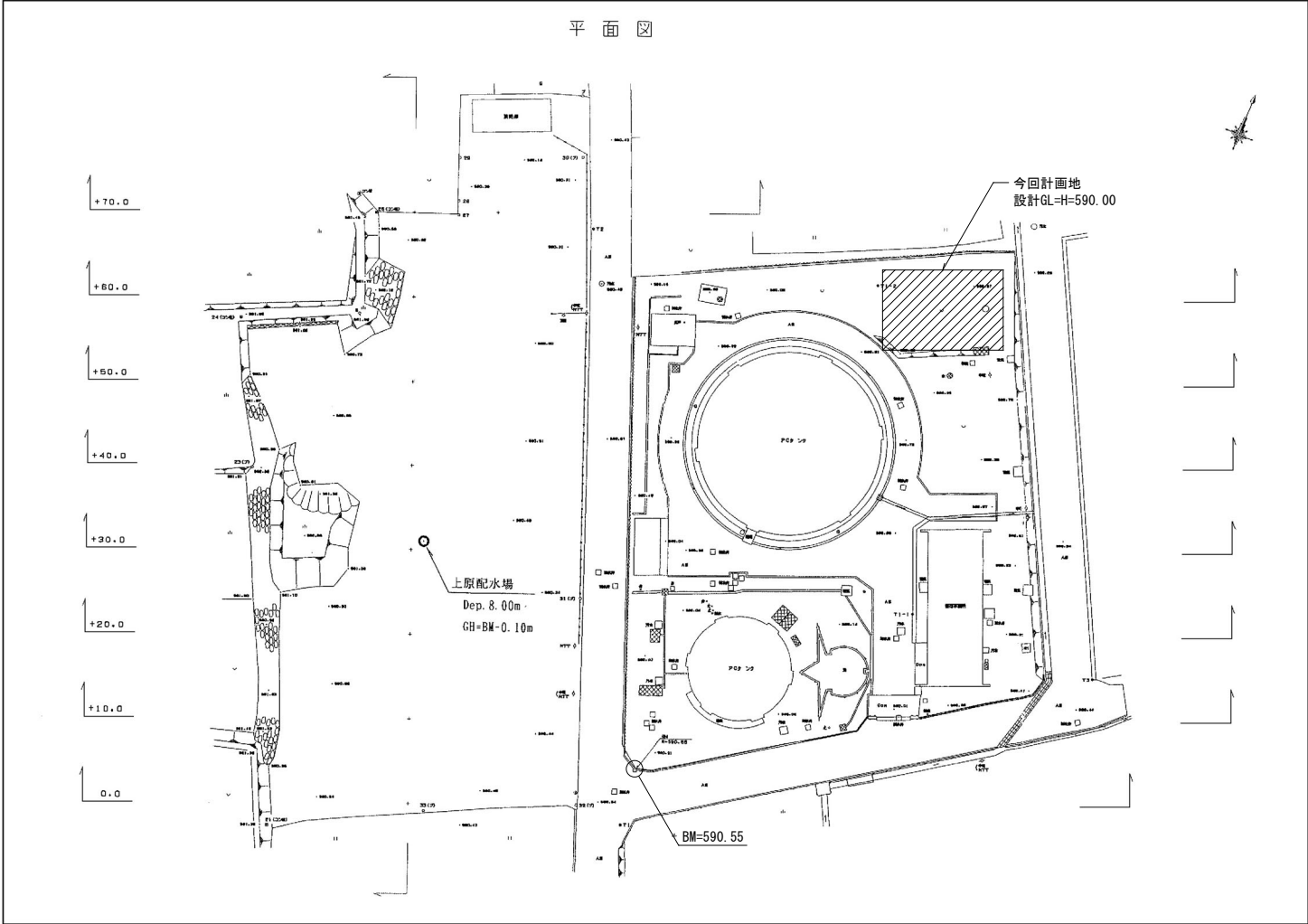
事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	構造細目共通図（建築構造物）（4）		
縮尺	Non	図面番号	S-05
事業者	安曇野市		26

15床の配筋要領 15.1一般事項 (1) 鉄筋の継手長さは、L_1とする。 (2) 定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により梁内に定着する。 (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしなくて、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。 15.1図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1) 15.2図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2) ※ L_bの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。 15.3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その3)	15.3片持ちスラブ出隅部の補強配筋 (1) 出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、15.6図による。 (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。 15.6図 片持ちスラブ出隅部の補強配筋 (左) 15.6図 片持ちスラブ出隅部の補強配筋 (右)	16柱及び梁の増し打ち要領 16.1柱 (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。 ただし、$a < 70\text{mm}$の場合、補強は行わない。$200\text{mm} < a$の場合は、図面による。 16.1図 柱の増し打ち補強配筋 (左) 16.1図 柱の増し打ち補強配筋 (右) ※1. 帯筋と同径・同材質・同ピッチとする。 16.1図 柱の増し打ち補強配筋 (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。 (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L_2以上とする。 (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。 16.2梁 (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。 $a < 70\text{mm}$の場合、補強は行わない。$200\text{mm} < a$の場合は、図面による。 16.2図 梁の増し打ち補強配筋 (左) 16.2図 梁の増し打ち補強配筋 (右) ※1. あばら筋と同径・同材質・同ピッチとする。 16.2図 梁の増し打ち補強配筋 (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。 (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L_2以上とする。 (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。 (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合	18階段の配筋要領 18.1階段の配筋要領 (1) 壁配筋は、図面による。 (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。 18.1図 片持スラブ形階段配筋の定着 ℄：壁芯																
15.2片持ちスラブ (1) 片持ちスラブの配筋 15.4図 片持ちスラブの配筋 (左) 15.4図 片持ちスラブの配筋 (右) ※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。 15.4図 片持ちスラブの配筋 (2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合 15.5図 先端に壁が付く場合の配筋 (左) 15.5図 先端に壁が付く場合の配筋 (右) 15.5図 先端に壁が付く場合の配筋	15.4地上部最上階の屋根床版 (1) 出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。 (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。 15.7図 出隅及び入隅部分の補強配筋 15.5段差床版の補強 同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、$H > 150$の場合は、小梁を設ける事を原則とする。 15.8図 段差のある床版の補強配筋 (左) 15.8図 段差のある床版の補強配筋 (右) 15.8図 段差のある床版の補強配筋 15.6床版開口部の補強 (1) 開口の最大径≤ 700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図) 開口の最大径> 700の場合は図面による。 15.9図 床版開口部の補強配筋 (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。	16.3梁の上下の増し打ち配筋補強 (途中で終わる場合) 16.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強 (途中で終わる場合) (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合 16.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋 (途中で終わる場合)	<table><tr><td>事業名</td><td colspan="3">令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="3">構造細目共通図 (建築物構造) (5)</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>Non</td><td>図面番号</td><td>S-06</td></tr><tr><td>事業者</td><td>安曇野市</td><td></td><td>26</td></tr></table>	事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事			図面名称	構造細目共通図 (建築物構造) (5)			縮尺	Non	図面番号	S-06	事業者	安曇野市		26
事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事																		
図面名称	構造細目共通図 (建築物構造) (5)																		
縮尺	Non	図面番号	S-06																
事業者	安曇野市		26																

19 勾配屋根の取り合い		19.2 梁と床版の取り合い		20.2 基礎接合部の補強配筋		21.2 基礎接合部の補強	
19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い		増し打ち補強要領は、16.2による。				基礎梁あばら筋 と同径・同間隔	
(1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。 (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。 (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。 a) 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一 b) 柱幅と斜材幅が異なる c) 柱脚で斜材となる d) 柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。 e) 梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。 f) 斜め大梁に小梁が接する場合 柱筋はa) , b) に倣う。 g) 大梁に斜め小梁が接する場合						0<D≦200	
19.2図 梁と床版の取り合い配筋		20.3 円柱の取り合い		※L2hを確保できない場合は、標仕（5.3.4（e）（2））によることができる。			
円柱と梁の取り合い				21.1 杭基礎の配筋			
1) 柱頭部で柱芯に梁が 取り付く場合		2) 柱頭部で柱外面に梁が 取り付く場合		(1) 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。			
				(2) 既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。			
フーチング (図面による)		基礎梁				杭径の1.0倍	
3) 柱脚部の円柱と基礎との 取合い		19.3図 円柱の取り合い配筋		中詰めコンクリート		杭径	
20 基礎及び基礎梁の配筋				21.1図 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法			
20.1 直接基礎の配筋		(1) 独立基礎					
		基礎筋					
20.1図 独立基礎の配筋		(2) 連続基礎					
		基礎筋					
20.2図 連続基礎の配筋		基礎梁主筋					
		基礎梁あばら筋					
		腹筋とかねてよい					
		はかま筋					
		連続基礎配力筋					
		連続基礎主筋					

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	構造細目共通図（建築構造物）（6）		
縮尺	Non	図面番号	S-07
事業者	安曇野市		26

ボーリング柱状図



調査名

平成10年度穂高町上水道施設整備事業(第5次拡張)実施設計委託(第2期分)地質調査

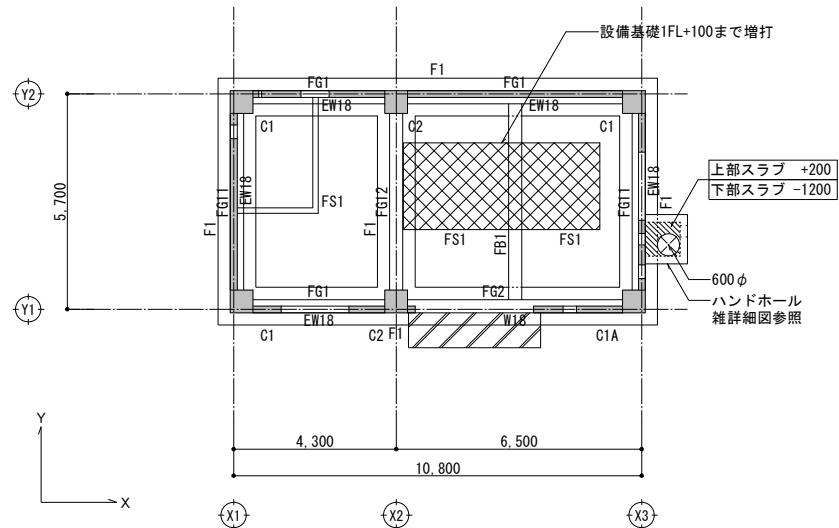
ボーリングNo. 9807HOTA2

事業・工事名

シートNo. 19980725HOTAKA2

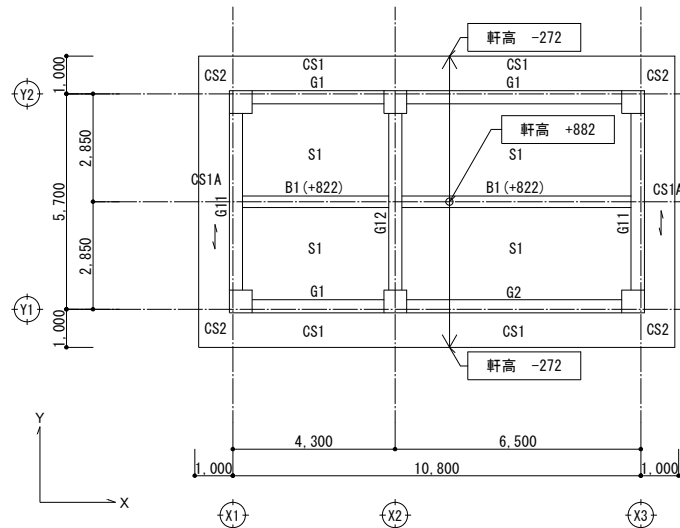
ボーリング名	上原配水場	調査位置	南安曇郡穂高町	北緯
発注機関	穂高町水道局	調査期間	平成10年 7月24日~10年 7月27日	東経
調査業者名	新日本設計株式会社 電話(026-259-1200)	主任技師	コ ア 鑑 定 者 三 原 芳 夫	ボーリング責任者 土 曜 誠
孔口標高	BM -0.10m	角 上 下 0°	方 北 0°	地盤勾配 水平0°
総掘進長	8.00m	度	向	使用機種 試錐機 エンジン
			KR-100-P3	ハンマー 落下用具 コンブ
			NFD-13	ポンプ V5-P

標 標 層 深 柱 土 色 相 相 記	原 位 置 試 験	試 料 採 取	室 内 試 験	掘 進
尺 高 厚 度 状 質 区 分 対 密 度 調 度 度 事	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日
	深 10cm 以上の 打撃回数 0 1 0 2 0 1 0 2 0 3 0	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日
	標準貫入試験 N 値 BM(H-590.55) 設計GL(H=590.00)	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日	深 度 (m) / 測定月日
1	1.15 4 7 8 18 1.45	2.15 12 16 14 42 2.45	3.15 14 13 15 42 3.45	4.15 50 4.24
2	2.15 12 16 14 42 2.45	3.15 14 13 15 42 3.45	4.15 50 4.24	5.30 17 33 5.45
3	3.15 14 13 15 42 3.45	4.15 50 4.24	5.30 17 33 5.45	6.15 1 1 1 3 6.45
4	4.15 50 4.24	5.30 17 33 5.45	6.15 1 1 1 3 6.45	7.15 17 21 21 50 7.45
5	5.30 17 33 5.45	6.15 1 1 1 3 6.45	7.15 17 21 21 50 7.45	8.05 50 8.15
6	6.15 1 1 1 3 6.45	7.15 17 21 21 50 7.45	8.05 50 8.15	
7	7.15 17 21 21 50 7.45	8.05 50 8.15		
8	8.05 50 8.15			
9				



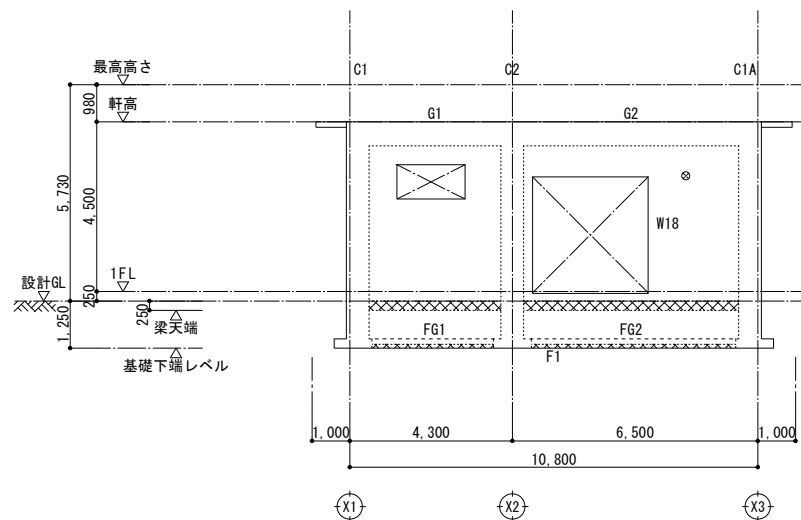
基礎・1階伏図 1:100

- 特記なき限り下記による。
- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 1FL＝設計GL+250とする。 | 7. 地盤の長期許容支持力120kN/m ² |
| 2. 梁天端レベル=1FL-500 | 基礎下端レベルで平板載荷試験（1ヶ所）を実施し、 |
| 3. スラブ天端レベル=1FL-250 | 上記支持力があることを確認する。 |
| 4. □内寸法は1FLよりのスラブ天端を示す。 | 8. 〰は土間コンクリートを示す。 |
| 5. ー印は主筋方向を示し、特記なきはー方向とする。 | 9. 無筋コンクリートはt=250とし、範囲は意匠図による。 |
| 6. 設備開口については軸組図参照とする。 | |

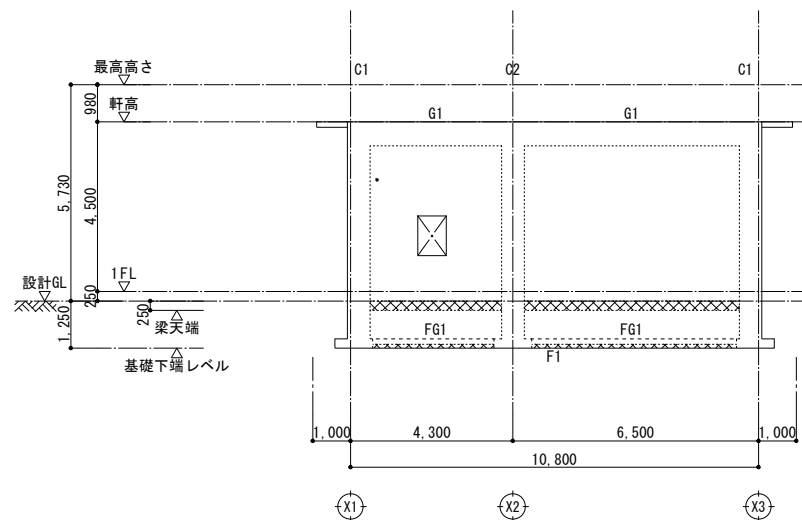


R階伏図 1:100

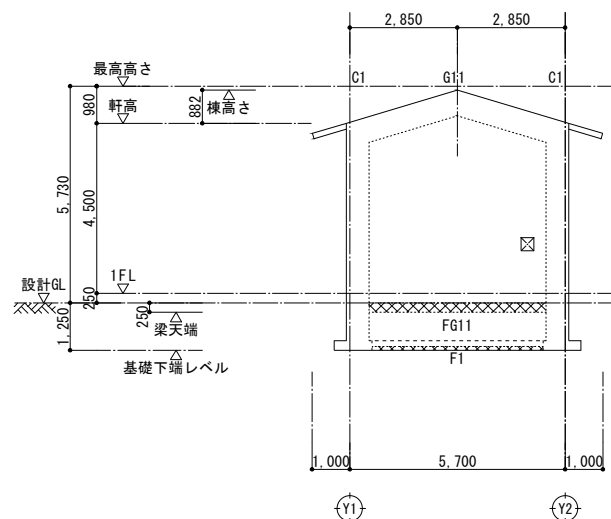
- 特記なき限り下記による。
- | |
|----------------------------|
| 1. 軒高レベル=1FL+4,500とする。 |
| 2. 梁天端レベル＝軒高±0 |
| 3. () 内数値は軒高からの梁天端レベルを示す。 |
| 4. □内寸法はスラブ天端レベルを示す。 |
| 5. ー印は主筋方向を示し、特記なきはー方向とする。 |



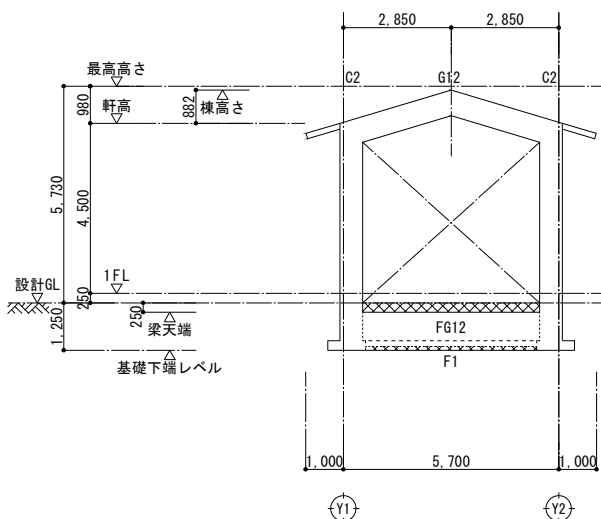
Y1通 軸組図 1:100



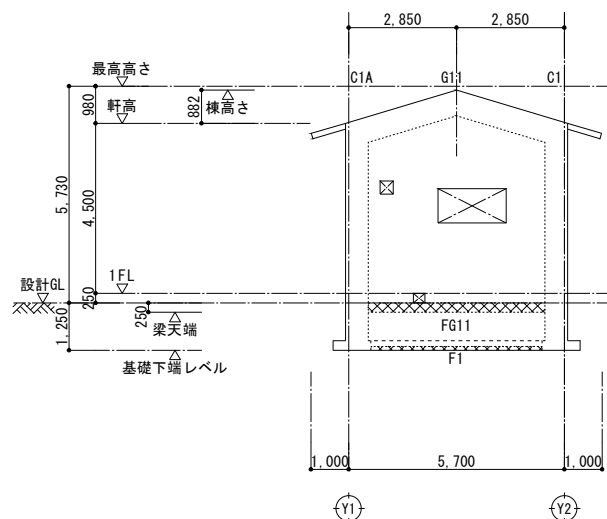
Y2通 軸組図 1:100



X1通 軸組図 1:100



X2通 軸組図 1:100

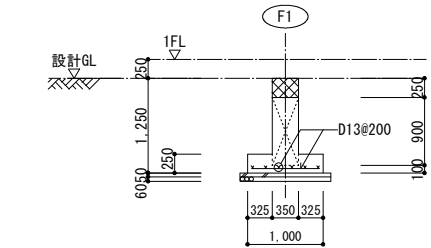


X3通 軸組図 1:100

- 特記なき限り下記による。
- | |
|-----------------|
| 1. 〰は増打を示す。 |
| 2. 壁符号はEW18とする。 |

事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事		
図面名称	伏図・軸組図		
縮尺	1:100 (A1)	図面番号	S-09
事業者	安曇野市		26

基礎リスト 1:50



基礎梁リスト 1:50

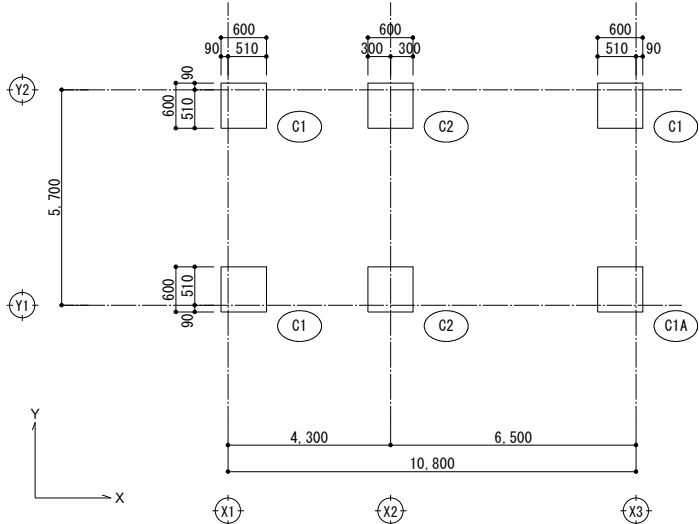
特記なき限り下記による
1. 腹筋は2-D13とする
2. 巾止筋はD10@1,000以内とする
3. FG1～FG12の主筋の定着・継手・余長は S04の12.1の(3) による
4. FB1の主筋の定着・継手・余長は S05の13.2の(2) による

符 号	FG 1	FG 2			FG 1 1	FG 1 2	FB 1	
位 置	全断面	X2通 端	中 央	X3通 端	全断面	全断面	端 部	中 央
設計GL 断面 Fc=24N/mm ²								
B x D	350x900	350x900			350x900	350x900	350x750	
上 端 筋	3-D19	3-D19	5-D19	5-D19	3-D19	5-D19	4-D19	4-D19
下 端 筋	3-D19	6-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	8-D19
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200			□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	
腹 筋								
備 考								

柱リスト 1:50

特記なき限り下記による
1. 柱頭部主筋は全数フック付きとする

符 号	C 1	C 1 A	C 2
パネルゾーンフープ	□-D13@150	□-D13@150	□-D13@150
Fc=24N/mm ² 1 階 Y X			
B x D	600x600	600x600	600x600
鉄 筋	12-D19	12-D19	12-D19
フ ー プ	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
備 考			
パネルゾーンフープ	□-D13@150	□-D13@150	□-D13@150



柱芯線図 1:50・100

大梁リスト 1:50

特記なき限り下記による
1. 腹筋は2-D10とする
2. 巾止筋はD10@1,000以内とする
3. 主筋の定着・継手・余長は S04の10 による

符 号	G 1	G 2		G 1 1	G 1 2
位 置	全断面	端 部	中 央	全断面	全断面
R 階 Fc=24N/mm ²					
B x D	350x650	350x650		350x650	350x650
上 端 筋	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19
下 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
スターラップ	□-D13@200	□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200
腹 筋					
備 考					

2段筋保持方法

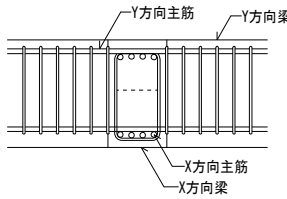
保持方法は既製品のS字金物又はD10とする
※dは鉄筋の呼び径、Dは最外径を示す

鉄筋間隔 A

主筋径 D19 A= 50mm



梁成(梁主筋レベル)が同じ場合の配筋要領



小梁リスト 1:50

特記なき限り下記による
1. 主筋の定着・継手・余長は S05の13.2の(1) による

符 号	B 1
位 置	全断面
断 面 Fc=24N/mm ²	
B x D	300x600
上 端 筋	3-D19
下 端 筋	3-D19
スターラップ	□-D10@200
腹 筋	2-D10
備 考	巾止筋はD10@1,000以内とする

壁リスト 1:30

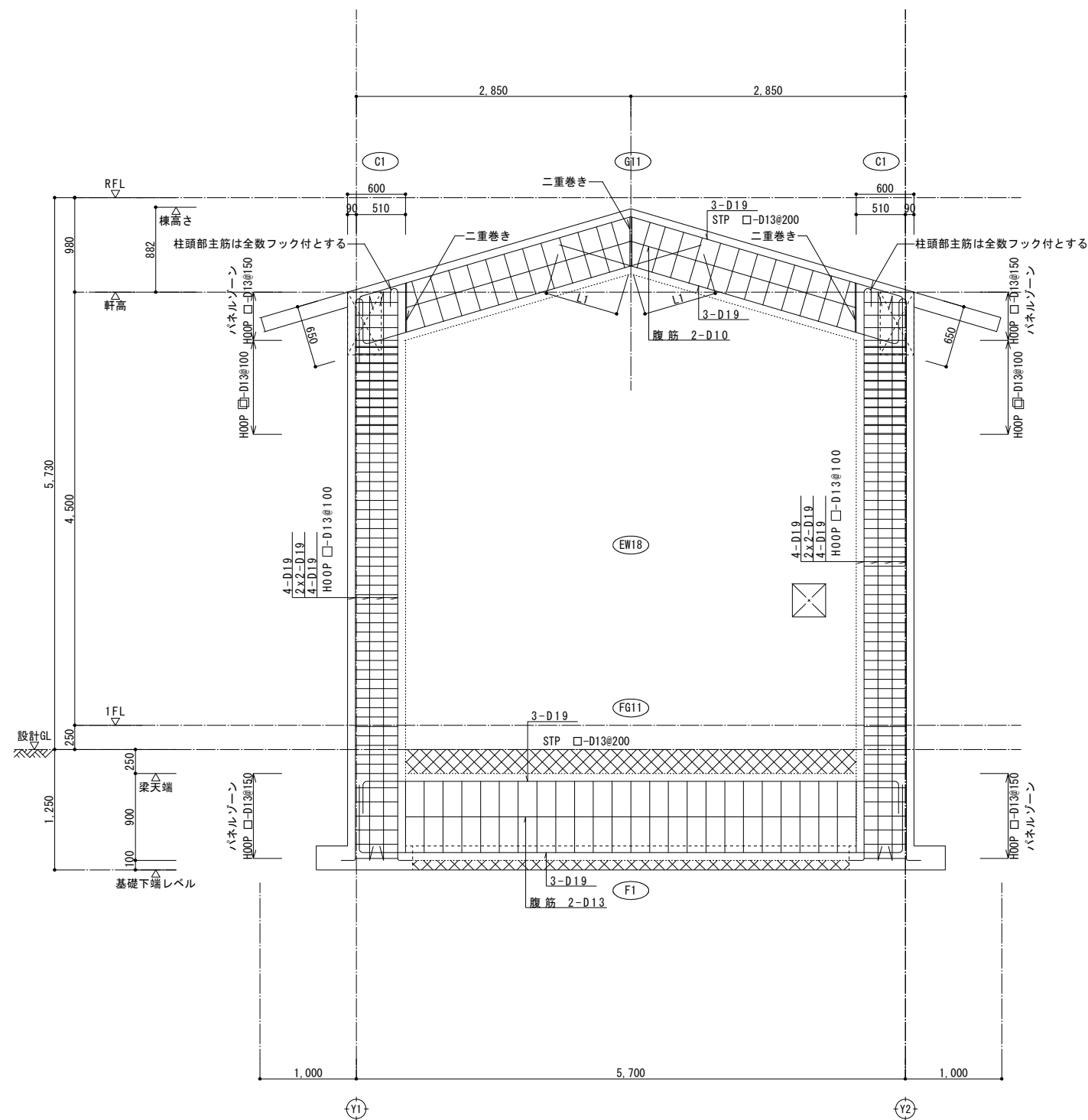
特記なき限り下記による
1. 巾止筋はD10@1,000とする(ダブル配筋のみ)

符 号	W 1 8・EW 1 8
版 厚	1 8 0
断 面 (立断面を示す)	
縦 筋	D10D13@200(ダブル)
横 筋	D10D13@200(ダブル)
開口補強	縦筋 2-D13 横筋 2-D13 斜筋 2-D13
備 考	

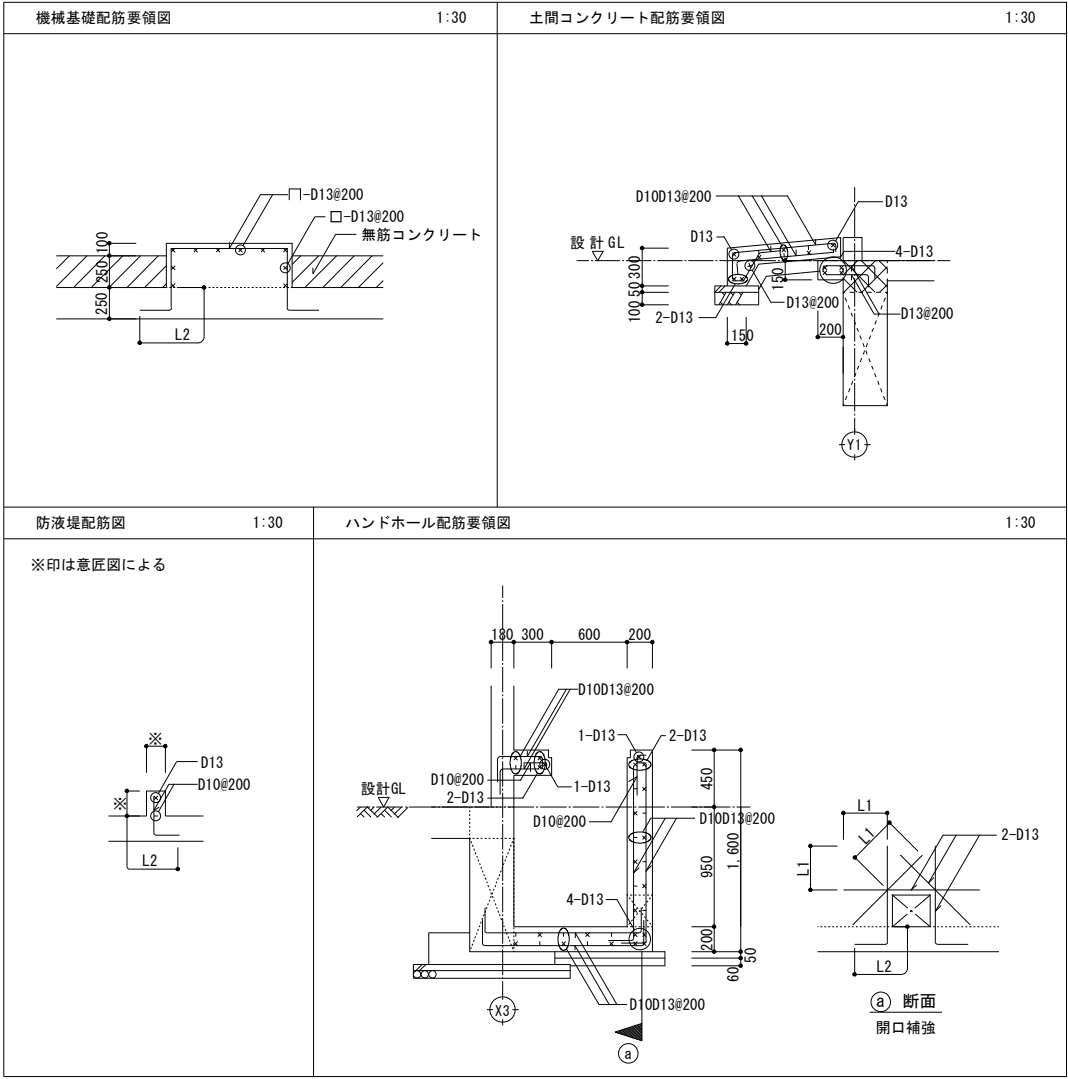
スラブリスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向配筋 (主筋方向)	長辺方向配筋 (配力筋方向)	備 考
F S 1	250	上端筋 下端筋	D13 @150 D13 @150	D13 @200 D13 @200	
S 1	160	上端筋 下端筋	D10 D13 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200	
C S 1	160	上端筋 下端筋	D10 D13 @200 D10 @200	D10 @200 D10 @200	
C S 1 A	160	上端筋 下端筋	D10 @200 D10 @200	D10 D13 @200 D10 @200	
C S 2	160	上端筋 下端筋	D10 D13 @200 D10 @200	D10 D13 @200 D10 @200	
土間コンクリート	150	上端筋 下端筋	D10 D13 @200 D10 D13 @200	D10 D13 @200 D10 D13 @200	
無筋コンクリート	250	溶接金網 6φ-100x100			位置は意匠図による

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
国 面 名 称	構造部材リスト		
縮 尺	1:30、50、100 (A1)	図面 番号	S-10
事業者	安 曇 野 市		26



(X1) 通り架構配筋詳細図 1:30



事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事		
図面名称	架構配筋詳細図・雑詳細図		
縮尺	1:30 (A1)	図面番号	S-11
事業者	安曇野市		26

令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事 建築電気設備特記仕様書

1 工事概要

1 工事場所 長野県安曇野市穂高8108-2

2 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
非常用発電機室	R C	1	61.56	15項	

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項 目	建物別及び屋外			
		自家発電			屋外
電灯設備	分岐	○			
動力設備	分岐				
電熱設備	幹線、分岐				
雷保護設備					
受変電設備					
電力貯蔵設備					
静止形電源設備	直流電源装置				
発電設備					
構内情報通信網設備	L A N用配管				
構内交換設備	電話設備				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡声設備					
語学支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備					
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇降機設備					

II 管理技術者等

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are approximately 20 lines visible. The paper has a slight shadow on its right side, suggesting it's resting on a surface.

Ⅲ 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大田県庁官庁事務部の「公共施設工事標準仕様書（電気設備工事仕様書）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共施設改修工事標準仕様書（電気設備工事仕様書）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事）（令和4年版）」（以下、「標準図」という。）による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事の本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事とはそれぞれの工事仕様書を用いる。
- （参考図書）長野県営繕工事の引き（以下、「手引き」という。）、「（令和4年版）長野県建設施設監修要

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項										
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。										
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ LED照明器具</td><td>・ 電気錠</td></tr> <tr> <td>○ 換気扇</td><td>・</td></tr> <tr> <td>・</td><td>○</td></tr> <tr> <td>・</td><td>○ その他、監督員の指示によるもの</td></tr> </tbody> </table> ○ (注)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材 - 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 - 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 - 安定的な供給が可能であること。 - 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 - 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 - 販売、保守等の整備体制が整えられていること。	材料・機材名	材料・機材名	○ LED照明器具	・ 電気錠	○ 換気扇	・	・	○	・	○ その他、監督員の指示によるもの
材料・機材名	材料・機材名										
○ LED照明器具	・ 電気錠										
○ 換気扇	・										
・	○										
・	○ その他、監督員の指示によるもの										
③ 化学物質を発散する 建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)・(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該 当 す る 建 築 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 制 対 象 外</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 - a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 - b 接着剤等不使用 - c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 - d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 - e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 - f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 </td></tr> <tr> <td>第 三 種</td><td> ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのE〇規格品 ④JISのF〇〇規格品 </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料	規 制 対 象 外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 - a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 - b 接着剤等不使用 - c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 - d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 - e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 - f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	第 三 種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのE〇規格品 ④JISのF〇〇規格品				
ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料										
規 制 対 象 外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 - a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 - b 接着剤等不使用 - c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 - d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 - e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 - f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用										
第 三 種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのE〇規格品 ④JISのF〇〇規格品										
④ 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事項)の「執務並行改修」										
⑤ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物（電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む）の保安業務を行うものとする。										
⑥ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工士により施工を行う。										
⑦ 実施工程表及び 施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。										
⑧ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督員の承諾を受ける。										
⑨ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有（ ） (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・有（P30使用機器・関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。） (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有（ ・廃棄物 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類） ・捨けない ・捨ける（規模： ） ・備品（ ）										
10 監督員事務所											
11 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作るものが ・できる ・できない										
⑫ 足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等（ ・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・ ） ・外部足場 （ ・A種【施工箇所面に枠組足場を設ける。】 ・B種【施工箇所面に単管本足場を設ける。】 ・C種【仮設ゴンドラを使用する。】 ・D種【移動式足場を使用する。】 ）										
⑬ 工事用電力・水 ・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び公害署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。										

項目

特記事項

18 工事写真

工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。

19 しゅん工時提出物

長野県管轄工事の手引きに基づき作成する。

16 再使用機器

取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。
ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。

17 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（監修：独）建築研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量〔kg〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。
設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	○ 特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。

◎ 重要機器の定義は次による。

・ 変電設備 ・ 発電設備 ・ 直流電源設備 ・ 交流無停電電源装置

・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置

◎ 上層階の定義は次による。

2 ～ 6 階建の場合は最上層、7 ～ 9 階建の場合は上層 2 階、

10 ～ 12 階建の場合は上層 3 階、13 階以上の場合は上層 4 階とする。

(2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の $1/2$ とし、水平地震力と同時に働くものとする。

18 あと施工アンカー

公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編2章12節による。

19 防火区画等の貫通処理

確認試験は、性能確認試験（本）・施工後確認試験（本）を確認強度 kNにて行う。
・ 施工上の適用（第1種、第2種）あと施工アンカー施工による。

20 電線・ケーブル

電線等は、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所両面から写真撮影し、工事写真として提出する。
(1) EM-EFF は窓外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「イグニッション EM-EFF」と表記されたものを使用する。
(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。

21 予備配管

埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器 4 個以下の場合は (25) を 1 本 5 個以上の場合は (25) を 2 本、天井まで立上げる。

22 呼び線

長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

23 金属製電線管の塗装

下記の露出配管は塗装を行う。
・ 屋外 ・ 屋内（ ）

24 埋め戻し土

・ A 種〔山砂の種類：水締め、機器による締固め〕
・ B 種〔掘切り土の中の良質土：機器による締固め〕
・ C 種〔他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め〕
・ D 種〔再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め〕
・ 管の下部は 50mm 以上砂を敷きならし、管の上部 100mm 以上砂を用いて締め固める

25 建設発生土の処理

・ 場外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し

26 ケーブル埋設票

(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製
(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設図面シートを敷設する。

27 ブルボックス

(3) 配管埋設幅が 750mm を超える場合は、地中線埋設図面シートは 2 案以上敷設する。
(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上には、メラミン焼付塗装とする。
(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化転ビスとする。

28 フラッシュプレート

図面に特記あるもの及び特殊なものを除き

29 プレートの用途表示

・ 金剛鋼製 ・ 樹脂製
図面に特記あるもの及びブルボックス及び機器を安装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。

30 配線器具

トランススイッチは選定形とする。
壁付けコンセント (2P15A) は原則として選定形とする。ただし、2 口の場合は横式を使用して良い。また (2P15A) 以外はすべてキャップ付とする。

31 機器への接続

本工事の動力制御並びに別途電動機等への配線の接続は本工事とする。

32 照度測定

測定場所： ・ 各室（測定箇所数 箇所） ・ 廊下 ・ 階段
用 途： ・ 非常用照明 ・ 一般照明
学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黒板面： 箇所）
※ 教室の照度は、1 教室当たり机上面 900 ルクス、黒板黒板面 900ルクスで測定する

33 壁 類

(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。
(2) 端子壁には、線番表・結線表を備え付ける。

34 グリーン購入の推進

長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目
<資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ ()
<建設機器> ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器

35 他工事又は他工種との取合い

工事区分表（令和 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。

36 その他及び電子納品

保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。
（長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される。当該入札公告の添付図書）

37 その他

・ 施工制約条件

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

- ・ブロックハンドホール（寸法は内法を示す。底部はハンドホール内側底部をいう。）
 - ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
 - ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に乗るものとする。
 - ・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。
 - ・配管通過部分は、原則として横置きコナリ（F=100mm以上）とし、差し筋D10タイヨコ#200で補強する。
 - ・補強方法としては、あらかじめ監理員よりトポメータ図を出して承認を受け実施する。

・	ハンドホール No. -	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	1、000×1、000×900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×1、100D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No. -	900×900×900D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1、060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No. -	600×600×680D 蓋 WPM-60A (エマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No. -	450×450×680D 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※縦裁断等車道の通行の妨げがない場所、 収容ケールが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

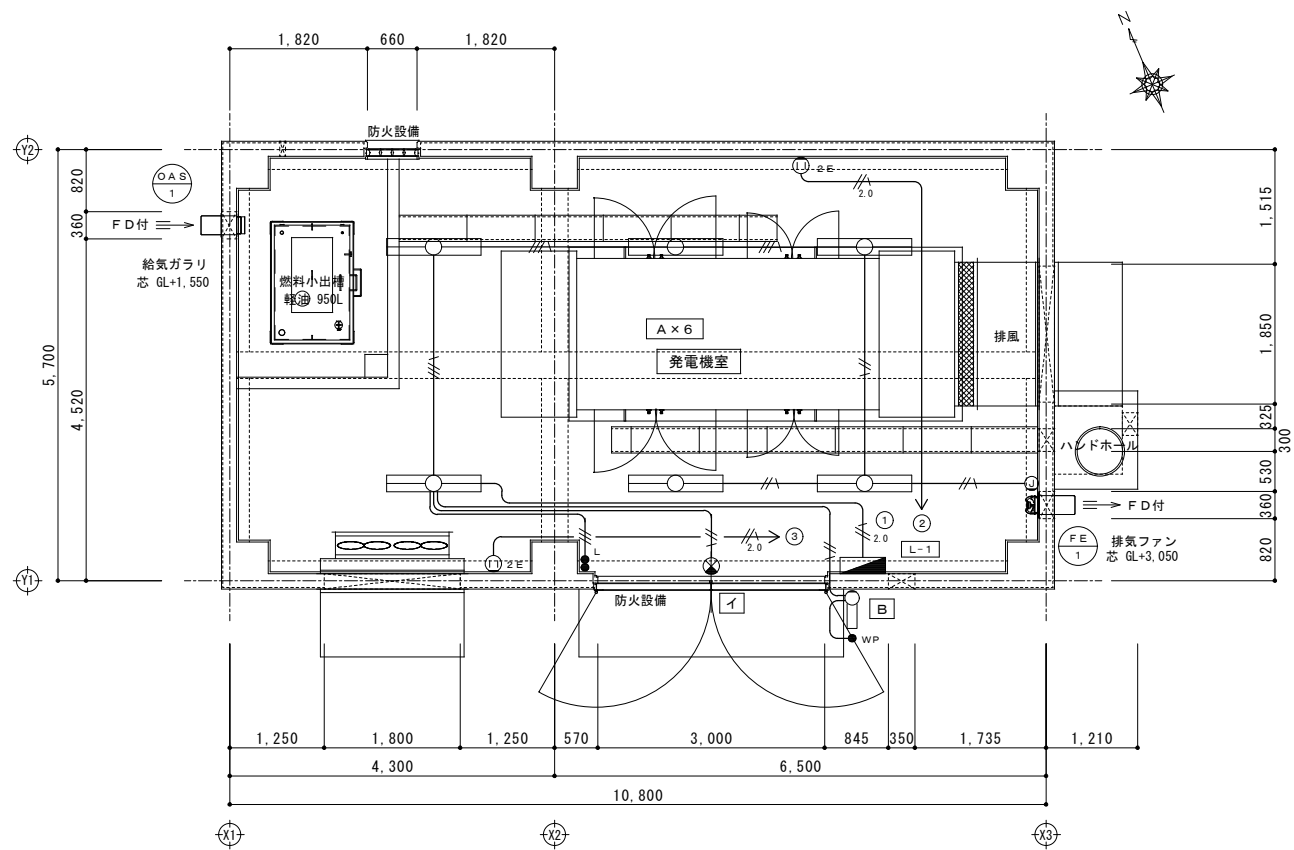
・	A種接地	銅板 1.5×1000×900 リード端子付 堀形埋置中心深さ 2m	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	B種接地	銅板 1.5×600×600 リード端子付 堀形埋置中心深さ 2m	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	C種接地	銅板 1.5×1000×300 リード端子付 堀形埋置中心深さ 1.5m	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500) 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)
・	D種接地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
共	取引用計器	地上～上端	2,000	時	壁時計形時計	床～中心	1,500 (上端、900以下)
通	引込開閉器	地上～上端	1,800	計	・子時計	"	(天井高)×0.9
	警報笛	床～中心	1,500	拡	壁形スピーカー	"	(天井高)×0.9
	分電盤	床～中心	1,500 (上端1,900以下)	声	アツチネーター	"	1,300
電	タンブラスイッチ	"	1,300	表	表示窓	床～中心	(天井高)×0.9
	"(倉庫用)	"	1,100		壁状受信器	"	1,300
	コンセント(一般)	"	300		ベル	"	(天井高)×0.9
	"(配室)	"	150		ブザー	"	(天井高)×0.9
	"(便所等)	"	500		押ボタン	"	1,300
	"(台以上)	"	150		"(倉庫用押按钮)	"	900
灯	ブラケット(一般)	台上～中心	2,100	示	名称用表示灯	"	2,000
	"(橋脚)	床～中心	2,500		復帰ボタン	"	1,800
	"(柱上)	"	150				
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	受	壁付インターホン	床～中心	1,500
	廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下	付	"(倉庫用)	"	1,100
				置	壁付位置ボックス		
				い	(壁付インターホンを除く)		
動	壁形形制間壁	床～中心	1,500 (上端1,900以下)	ホ	"(一般)	"	300
力	手元開閉器	"	1,500	ン	"(配室)	"	150
	操作スイッチ	"	1,300				
	押ボタン			ナ	機器收容箱	床～中心	(天井高)×0.9
				レ	アラートレド	"	300
				共	"(一般)	"	100
				受	"(配室)	"	150
電	室内端子盒	床～下端	300 (座下・室内)	信	受信機	床～操作部	8001,500
	中間端子盒	床～中心	1,500	火	受信機	"	8001,500
	"(P.F.電気室)			災	機器收容箱	床～中心	8001,500
	集合体受信装置	"	(天井高)×0.9	報	受信機	"	8001,500
話	壁付アラートレド	"	300	知	ベル	"	(天井高)×0.9
	ボックス(一般)	"	150		消火発表表示灯	"	(天井高)×0.8
	"(配室)						

事業名	令和7年度 上原水源地非常用発電機室建設工事		
図面名称	建築電気設備特記仕様書		
縮尺	Non	図面番号	AE-01
事業者	安 曇 野 市		26



平面図 S=1:50

[注記]

1. 図中記入なき配線は下記による。

	EM-IE 1.6 x 2	(PF 16)
	EM-IE 1.6 x 3	(PF 16)
	EM-IE 1.6 x 2、E 1.6	(PF 16)
	EM-IE 1.6 x 3、E 1.6	(PF 16)
	EM-IE 2.0 x 2、E 2.0	(PF 16)

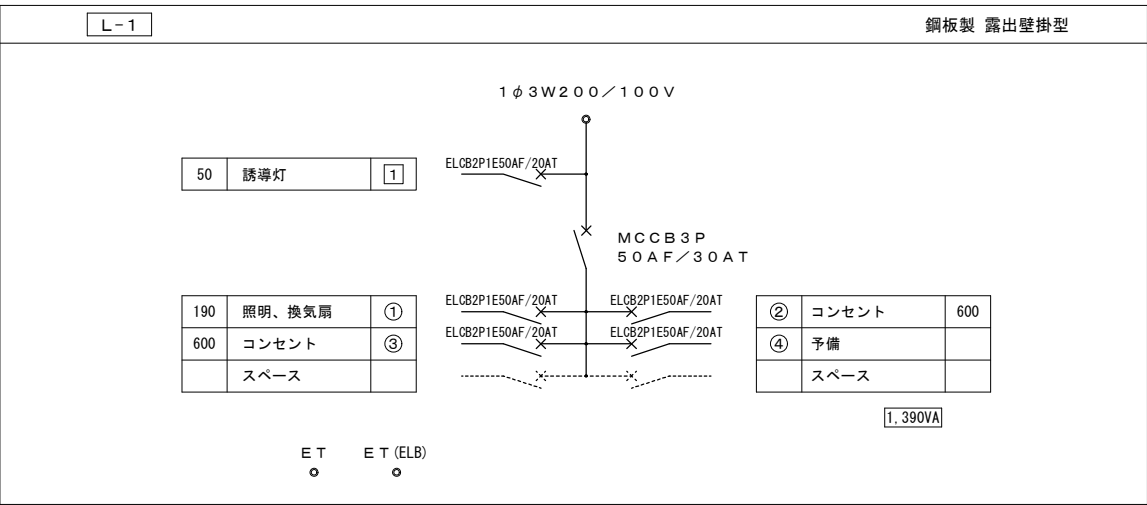
(嵩上げコンクリート内の床配管は不可)

[凡例]

●	埋込スイッチ	
● L	埋込スイッチ	1 P 1 5 A
● WP	埋込防水スイッチ	1 P 1 5 A
⊖ 2 E	埋込接地端子付接地コンセント	2 P 1 5 A (E付) x 2 + E T
①	ジャンクションボックス	壁付 機器接続用 (ノズルプレート付)

照明器具参考姿図

直付型 40形		ウォールライト 20形		避難口誘導灯	
A	LSS9MP/RP-4-64	B	LBF3MP/RP-2-13	イ	SH1-FBF20C
保護ガード付 (ステンレス製)					
				【参考仕様】 型式認定番号：1AS111-3207	



機番	名 称	機 器 仕 様	消費電力	数量	備 考
FE-1	壁付換気扇	有圧換気扇 (低騒音形・排気タイプ) 風圧式シャッター付 羽根径：200φ 風量 (m³/h)：780 静圧 (Pa)：18 排気形ウェザーカバー (SUS製 防火タイプ 防虫網付)	28w (1φ100v)	1	EWf-20YSA2
OAS-1	風圧式シャッター	枠・シャッター：鋼板製 給気形ウェザーカバー (SUS製 防火タイプ 防虫網付)		1	PS-20SHA3

事業名	令和7年度 上原水源池非常用発電機室建設工事			
図 面 名 称	建築設備図			
縮 尺	1:50 (A1)	図面番号	AE-02	26
事業者	安 曇 野 市			